
「アジアにおけるソーシャル・ウェルビーイング
研究コンソーシアムの構築」

平成 26 年度～平成 30 年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

研 究 成 果 報 告 書

平成 31 年 3 月

学校法人名 学校法人専修大学

大 学 名 専修大学

研究組織名 専修大学社会知性開発研究センター

ソーシャル・ウェルビーイング研究センター

研究代表者 原田 博夫（専修大学経済学部教授）

はじめに

各国・地域の政治・経済・社会問題は、それぞれの地理的条件・歴史的背景に基づいて、固有の展開を見せるとともに、グローバルな時代の流れに左右される。人々の日常生活にかかわる実践的な課題に答えることを学問的な使命にしている社会科学では、諸条件を完全にコントロールした実験は困難ではあるが、従来からすでに社会的に収集・蓄積されている様々な統計・情報データを活用することで、社会構造を推定して要素間の因果関係・影響度を分析すると同時に、それに基づいた政策的な処方箋を提示して、社会的要請に応えようとしている。

本来個人の主観的な価値観であるウェルビーイング（幸福）を、個々人の認識のレベルを止めるのではなく、社会のレベルに俯瞰することによって、社会・コミュニティ・国家のレベルでの考察や、その対応策が策定できることになる。そのためには、量的把握のための客観的な裏付けが必要であり、その質的なコンテクストをきちんと位置付けなくてはならない。本研究プロジェクトでは、独自の観点から、アジア各国・地域で共通に実施した国際比較社会調査（アンケート）を共通のプラットフォームにした。その際の前提には、本研究プロジェクトに先立つ研究プロジェクトである「社会関係資本（ソーシャル・キャピタル）研究センター」（平成 21 年度～平成 25 年度、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業）での蓄積・成果が含まれている。つまり、社会関係資本は、ソーシャル・ウェルビーイングの前提あるいは重要な要素だ、との認識である。その意味では、本研究センターの実施した国際比較社会調査（アンケート）の設問のほぼ三分の一は、社会関係資本に関わるものである。つまり、社会関係資本の研究プロジェクトでの経験が、本研究プロジェクトの知的財産・ネットワークに引き継がれている。

とはいえ、本研究センターでは、各国・地域固有の設問も適宜組み込むことで、それぞれの国・地域の固有の問題を浮かび上がらせる余地を組み込んだ。つまり、各国・地域でこれまでに実施してきた質的調査のバックグラウンドや拘りを尊重したわけである。こうしたスラック（ゆとり）が、アジア各国・地域のコンソーシアムメンバーには、本研究プロジェクトに参加する意欲と意義を高めたものと推察する。

また、本研究プロジェクトで毎年発刊してきた英文論集 *The Senshu Social Well-being Review* と和文論集『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』は、関係者にとって、一つの記録であると同時に、一種のメルクマールとなる効果も発揮した。特に英文論集 *The Senshu Social Well-being Review* では、平成 29 年度以降、国際学術誌として通用するべく、査読体制を厳密にし、それを明確に公表したことで、外部（海外）からの投稿も増え、

着実に評価をあげていると自負している。こうした学問的な誠実さが、数次のコンファレンスへの積極的な参加意欲を高めている海外のコンソーシアムメンバーおよび若手にも、受け入れられることに繋がっているものと実感する。

本研究プロジェクトは、現時点（平成 30 年度末）では外部資金を今後受け入れる目途はまだ立っていないが、幸いに、専修大学内部の資金助成が（やや小規模ではあるが）継続可能であり、かつ、国内あるいは海外のコンソーシアムメンバーからは、それぞれの国・機関からの資金捻出を模索する意欲が寄せられている。これも、本研究コンソーシアムで形成された研究環境・知的刺激の機会が魅力的なために、これからも継続することを切望していることの表れと自負している。本研究プロジェクトとしても、このように構築されたネットワークの意義を断ち切らないように、これからも、学術的な魅力に加えて、組織体制・資金面など様々な側面でチャレンジし続ける覚悟である。

平成 31 年 1 月 25 日

専修大学社会知性開発研究センター
ソーシャル・ウェルビーイング研究センター代表
経済学部教授
原 田 博 夫

目次

第1部 研究の経緯.....	0
1. 研究プロジェクトの目的と当初の計画	1
2. 「ソーシャル・ウェルビーイング研究コンソーシアム」の構築.....	3
3. 「ソーシャル・ウェルビーイング・アジア調査 (SoWSA)」の実施.....	5
4. シンポジウム・コンファレンス・セミナーの開催.....	9
5. 論集の刊行	11
第2部 研究成果	12
1. ソーシャル・ウェルビーイングの学術的・社会的意義.....	13
2. 各国でのソーシャル・ウェルビーイング	14
3. ソーシャル・ウェルビーイングとその規定要因についての国際比較分析	16
3.1 主観的ウェルビーイングの分布	16
3.2 主観的ウェルビーイングのミクロ・レベルの規定要因.....	16
3.3 主観的ウェルビーイングのメゾ・レベルの規定要因.....	17
3.4 マクロ・レベルのソーシャル・ウェルビーイング.....	17
4. 今後の課題	18
5. 文献.....	20
第3部 資料	21
A. 「ソーシャル・ウェルビーイング・アジア調査 (SoWSA)」	22
A.1. 共通調査票.....	22
A.2. 主な設問の基礎集計.....	41
B. シンポジウム・コンファレンス・セミナーのプログラム	48
C. 論集の目次.....	73
C.1 英文論集 <i>The Senshu Social Well-being Review</i>	73
C.2 和文論集『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』	77
D. 研究業績一覧.....	81
D.1. 雑誌論文.....	81
D.2. 図書	88
D.3. 学会発表.....	91

第 1 部 研究の経緯

1. 研究プロジェクトの目的と当初の計画

ウェルビーイング（幸福あるいは生活の質）は、アリストテレス以来の社会科学における中心的なテーマのひとつである。ウェルビーイングは、単に個々人の人口学的属性や社会経済的地位（ミクロ・レベル）にのみ関係するものではなく、家族や近所づきあいなどの社会関係（メゾ・レベル）、政治や文化や宗教などの社会制度（マクロ・レベル）によっても影響される。したがって、この研究プロジェクトでは、これまでの先行研究が考察してきた単なる個人的なウェルビーイング（主観的ウェルビーイング subjective well-being）ではなく、ミクロ、メゾ、マクロ・レベルを包括的に考慮した社会的なウェルビーイング（ソーシャル・ウェルビーイング social well-being）を研究対象とし、経済学や社会学などの社会諸科学の学際的なアプローチによって、理論と実証の両面からその姿を明らかにする。

この目的を達成するために、本研究プロジェクトでは東アジアおよび東南アジア地域を分析の対象とする。それは、この地域がソーシャル・ウェルビーイングというテーマを研究するための有益な足がかりとなりうるからである。その理由は以下の3点にまとめられる。第1に、この地域は経済水準、政治体制、民族、文化、宗教などにおいてきわめて多様である（マクロ・レベルの社会制度の多様性）。第2に、この地域は西欧由来の近代化に歩み出す時期が遅かったため、21世紀初頭の現在でも、伝統的な生活スタイル・価値観を色濃く残している（メゾ・レベルの社会関係資本の重要性）。第3に、にもかかわらずこの地域は、20世紀後半以降急速な経済発展・都市化を遂げ、経済のグローバル化の牽引役であるとともに、少子高齢化という先進国に共通する課題が、最も先鋭な形で現実のものになりつつある（社会変動の激しさ、「圧縮された近代」）。

従来のウェルビーイング研究の大半は、主に欧米社会を念頭において進められてきた。したがって、東アジアおよび東南アジア地域を対象にソーシャル・ウェルビーイング研究を進めることは、普遍性と個別性を識別・抽出するという意味で学術的にユニークであるだけでなく、この成果を各国・地域やグローバル社会に提示できれば、各種政策面での貢献も大きいだろう。

以上の目的を達成するために、本研究プロジェクトでは5年間の研究期間内で、主に以下の4つの活動をおこなう。

- 1) ソーシャル・ウェルビーイング研究に関心をもつ東アジアおよび東南アジア各国の研究機関との間で「ソーシャル・ウェルビーイング研究コンソーシアム」を構築し、国際比較調査や国際コンファレンスの開催などの研究活動を協働しておこなう。
- 2) 東アジアおよび東南アジア各国におけるソーシャル・ウェルビーイングの現状と規定要因を明らかにするために、共通の調査票に基づく国際比較調査をおこない、結

果を計量的に分析する。

- 3) 研究成果の共有と、研究者・実務家・一般聴衆への発信のために、シンポジウム（日本で開催する場合の呼称）、コンファレンス（海外で開催する場合の呼称）、およびセミナーを、年に1～2回のペースで開催する。
- 4) 研究成果の発信と、ソーシャル・ウェルビーイング研究のための国際的なプラットフォームを提供するために、英語および日本語の論集を年に1回刊行する。

2. 「ソーシャル・ウェルビーイング研究コンソーシアム」の構築

本研究プロジェクトの開始時点ですでに本学と提携関係にあった研究機関・研究者は、ソウル国立大学アジア研究所（韓国）、ベトナム社会科学院（ベトナム）とチュラロンコン大学（タイ）の3つであった。これら3機関とは、本研究プロジェクトの前身にあたる、平成21年度～25年度文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「持続的発展に向けての社会関係資本の多様な構築：東アジアのコミュニティ、セキュリティ、市民文化の観点から」（研究代表・原田博夫・経済学部教授）における現地調査の実施などで協働した実績があった。

本研究プロジェクトの開始以降、これら3機関の関係者の紹介を初めとする各種のネットワークを通じて、これら3ヶ国以外の国の研究機関との交渉を順次進めた結果、最終的にアジア7ヶ国の研究機関、および日本国内では情報・システム研究機構／データサイエンス共同利用基盤施設／社会データ構造化センターとの間で、多極的提携関係すなわち「ソーシャル・ウェルビーイング研究コンソーシアム」を構築することができた（表1）。

表1 「ソーシャル・ウェルビーイング研究コンソーシアム」参加機関

国	主たる参加機関	代表者
日本	専修大学 社会知性開発研究センター／ソーシャル・ウェルビーイング研究センター 情報・システム研究機構（*） データサイエンス共同利用基盤施設／社会データ構造化センター	原田博夫 吉野諒三
韓国	ソウル国立大学（*） アジア研究所／社会科学資料院	Jaeyeol Yee
台湾	中央研究院（アカデミア・シニカ） 人文社会科学研究所	Ming-Chang Tsai
モンゴル	独立モンゴル研究所	Batsugar Tsedendamba
ベトナム	ベトナム社会科学院（*） 社会学研究所	Dang Nguyen Anh
タイ	チュラロンコン大学（*） 社会調査研究所	Surichai Wun'gao
フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学 社会科学部／社会学・人類学科	Emma E. Porio
インドネシア	インドネシア大学 社会政治科学部／社会学研究室	Paulus Wirutomo

（*）専修大学ソーシャル・ウェルビーイング研究センターとの間で、二者間の国際交流組織間協定または学術交流・協力に関する覚書を締結済み（2019年2月現在）。

これらの研究機関はいずれも各国を代表する大学や研究所であり、世界的な大学ランキングでも上位に位置している。それぞれの組織には、国際的な学術コミュニティで重要な位置を占める卓越した研究者から新進気鋭の若手研究者や大学院生まで、主に社会学を専攻する重厚な人材がそろっている。

3. 「ソーシャル・ウェルビーイング・アジア調査 (SoWSA)」の実施

本研究プロジェクトの学術面での大きな成果は、ソーシャル・ウェルビーイングをテーマとする国際比較調査、すなわち「ソーシャル・ウェルビーイング・アジア調査」**Social Well-Being Survey in Asia (SoWSA)**¹を、モンゴル²を除くコンソーシアム参加7ヶ国で実施したことである。プロジェクト初年度の2015年2月に実施した日本調査を皮切りに、(予算の制約等の事情により)年度ごとに2ヶ国のペースで各国での調査を順次実施し、プロジェクト4年度目の台湾とインドネシアでの調査で完結した。

表2 「ソーシャル・ウェルビーイング・アジア調査 (SoWSA)」の概要 (東アジア)

	日本	韓国	台湾
実施時期	2015年 2月18日～24日	2015年 7月14日～22日	2017年 7月1日～31日
担当研究機関	専修大学	ソウル国立大学	中央研究院
実査委託先	(株)日経リサーチ	Hyundai Research Institute	(株)日経リサーチ
対象者年齢	20-70歳	20-69歳	20-69歳
対象地域	全国	全国	全国
標本抽出方法	調査会社モニターから、性・年齢・都市度・地域に比例割当	調査会社モニターから、性・年齢・地域に比例割当	調査会社モニターから、性・年齢・地域に比例割当
実査モード	ウェブ	ウェブ(一部電話)	ウェブ
計画標本サイズ	10,000	2,000	2,530
回収ケース数	11,786	2,000	2,303

¹ この調査は、企画・実施時には「ライフスタイルと価値観に関する国際比較調査」**International Comparative Survey on Lifestyle and Values (ICSLV)** という名称であった。しかし、後述する KOSSDA での一般公開時に、調査の実質的テーマをより適切に表現する名称とする方が望ましいと判断したため、名称を変更した。以下本報告書ではこの変更後の名称を正式名称として用いる。

² モンゴルでのコンソーシアム参加機関である独立モンゴル研究所では、本研究プロジェクトとは独立にウェルビーイングを主たるテーマとする全国調査を実施しており、本研究プロジェクトでの調査と共通する設問が多数あるため、8ヶ国間での比較分析が可能である。

表3 「ソーシャル・ウェルビーイング・アジア調査 (SoWSA)」の概要 (東南アジア)

	ベトナム	タイ	フィリピン	インドネシア
実施時期	2015年 7月～12月	2016年 10月1日～ 12月25日	2016年 6月21日～ 12月21日	2017年 8月第2週
担当研究機関	ベトナム社会 科学院	チュラロンコ ン大学	アテネオ・デ・ マニラ大学	インドネシア大 学
実査委託先				Litbang Kompas
対象者年齢	18歳以上	17歳以上	18歳以上	20歳以上
対象地域	全国	全国	全国	ジャワ島・バリ 島
標本抽出方法	層化(地域・ 都市/村落) 3段(行政区 画・世帯) 無作為	層化(地域・ 都市/村落) 3段(行政区 画・世帯) 有意(世帯内で 応じられる人)	層化(地域) 3段(行政区 画・世帯) 無作為(性別割 当あり)	層化(地域・ 都市/村落) 3段(行政区画・ 世帯・宗派) 無作為
実査モード	訪問面接	訪問面接	訪問面接	訪問面接
計画標本サイズ	1,200	1,114	1,200	1,250
回収ケース数	1,202	1,126	1,200	1,250

各国での標本設計や実施方法など調査の概要は、表2と表3の通り。実査モードは、東アジア諸国(日本・韓国・台湾)ではウェブ調査、東南アジア諸国(ベトナム・タイ・フィリピン・インドネシア)では訪問面接調査とした。これは、各年度の限られた予算の枠内で(日本以外の各国での実査予算はほぼ同額とした)、各国での調査コストや社会経済的条件、学術的社会調査における一般的慣行などを総合的に勘案した結果である。標本抽出方法は、ウェブ調査を採用した東アジア3ヶ国では調査会社の登録モニターからの人口比例割当、訪問面接調査を採用した東南アジア4ヶ国では層化3段無作為抽出(エリアサンプリング)とした。対象地域は、コストの観点から全国での実施が困難だったインドネシアを除くすべての国で、全国とした。標本サイズは、パイロット調査を兼ねて比較的多額の予算を投入した日本では約12,000ケース、ウェブ調査で実施した韓国と台湾ではそれぞれ約2,000ケースと約2,300ケース、訪問面接調査で実施した東南アジア4ヶ国では約1,200ケースとした。

調査票は、すべての国で共通に尋ねる共通モジュールと、各国の研究チームの裁量で独自に追加する個別モジュールとを組み合わせた。共通モジュールは、大きく分けて以下の4つの設問群で構成した。(1)「ソーシャル・ウェルビーイング」の設問群はソーシャル・ウェルビーイングの規定要因を分析する際の従属変数に相当するものである。まず主観的ウェルビーイングの測度として既存の調査で用いられてきた主観的幸福度、生活満足度、コントロール

の人生の階梯尺度の3つを、0から10までの11点尺度で盛り込んだ。これら3つを同じ尺度で同時に尋ねた国際比較調査はこれまで存在せず、SoWSAの重要な貢献のひとつである。また、社会に対する評価の指標として、領域別不公平感や格差意識なども尋ねている。(2)「社会関係資本」設問群はソーシャル・ウェルビーイングのメゾ・レベルの規定要因に相当するものであり、一般的信頼をはじめとするさまざまな人への信頼、個人・地域レベルでの人間関係の様態、組織や地域の活動への参加などを尋ねた。(3)「リスクと社会的安全網」も同じくメゾ・レベルの規定要因に相当するものであり、個人・地域レベルでの災害などのリスクの度合いと、各種の組織に対する制度信頼を測定している。最後の(4)フェイス項目は回答者の人口学的属性や社会経済的地位、生活時間の使い方などのライフスタイルなどを尋ねるものであり、ソーシャル・ウェルビーイングのマイクロ・レベルの規定要因に相当する。

調査実施後の**データの整理と統合**の作業は、日本・韓国・台湾のコンソーシアムメンバー有志が中心となって実施した。この作業は、日本におけるコンソーシアム参加機関の1つである情報・システム研究機構／データサイエンス共同利用基盤施設の公募型共同研究「ROIS-DS-JOINT」として、2017年度と2018年度の2年間にわたる資金援助を得ておこなわれた。同施設社会データ構造化センターは、統計数理研究所の社会調査部門のスタッフを中心に構成されており、同研究所が「日本人の国民性調査」や「アジア・太平洋価値観国際比較調査（APVS）」の実施を通じて培ってきた豊富な知識や貴重な経験を活かすことができた。吉野諒三教授や前田忠彦准教授を初めとする社会データ構造化センターのスタッフに、厚くお礼を申し上げる。

そして、統合したデータと関連ドキュメントは、コンソーシアム参加機関であり、上記のデータ整備プロジェクトでも中心的な役割を果たした、韓国のソウル国立大学／アジア研究所／社会科学資料院（Korea Social Science Data Archive; KOSSDA）において、全世界の研究者向けに、二次分析用に**一般公開**される。スケジュールは、2019年4月に東アジア3ヶ国分、2020年1月に東南アジア4ヶ国分を追加した全7ヶ国分の公開を予定している。所長のJaeyool Yee教授やデータ整備プロジェクトの中心として活躍したHearan Koo教授を初め、KOSSDAのスタッフの貢献にも心よりお礼を申し上げる。

「ソーシャル・ウェルビーイング・アジア調査（SoWSA）」の共通調査票は本報告書第3部資料A.1、主要な設問の基礎集計表は資料A.2を参照。また、各国での調査の経緯や主要な知見については、本研究センターの英文論集*The Senshu Social Well-being Review*に掲載された、以下の諸論文を参照。

- 日本 Yazaki, Keitaro. 2016. "Basic Descriptive Statistics of Japan Social Well-Being Survey." *The Senshu Social Well-being Review* 2:99-109.
<http://id.nii.ac.jp/1015/00010168/>
- 韓国 Yee, Jae Yeol, Hyun Chin Lim, Eun Young Nam, Do Kyun Kim and Ee Sun Kim. 2016. "Survey Design and Descriptive Outcomes of Korean Survey." *The Senshu Social Well-being Review* 3:59-74.
<http://id.nii.ac.jp/1015/00010752/>
- 台湾 Tsai, Ming-Chang, Yow-Suen Sen, Yi-fu Chen, Tsui-o Tai, Hsiu-Jen Yeh, and Chin-Hui Liao. 2017. "International Comparative Survey on Lifestyle and Values: A Report on the Taiwan Survey." *The Senshu Social Well-being Review* 5: 105-16.
- ベトナム Anh, Dang Nguyen. 2017. "Social Well-Being in Vietnam: Designing and Preliminary Results from a Sampling Survey." *The Senshu Social Well-being Review* 4:117-23.
<http://id.nii.ac.jp/1015/00011850/>
- タイ Wun'gao, Surichai, Surangrut Jumnianpol, Nithi Nuangjamnong, Pinwadee Srisupan and Montakarn Chimmameea. 2017. "Social Well-Being in Thailand 2016: Survey Report." *The Senshu Social Well-being Review* 4:75-93.
<http://id.nii.ac.jp/1015/00011848/>
- フィリピン Porio, Emma and Justin See. 2017. "Social Well-Being in the Philippines: Indicators and Patterns." *The Senshu Social Well-being Review* 4:95-116.
<http://id.nii.ac.jp/1015/00011849/>
- インドネシア Wirutomo, Paulus, Iwan Gardono Sudjtmiko, Francisia SSE Seda, Lugina Setyawati, Evelyn Suleeman, Daisy Indira Yasmine, Yosef Hilarius Timu Pera, and Roy Ferdy Gunawan. 2017. "The Social Well-Being Survey in Indonesia." *The Senshu Social Well-being Review* 5: 117-35.

4. シンポジウム・コンファレンス・セミナーの開催

本研究プロジェクトでは、各年度に1~2回のペースで、シンポジウム（国内で開催する場合）やコンファレンス（海外で開催する場合）、セミナーを開催した（表4）。

プロジェクト発足当初に日本で開催した2回のシンポジウムは、外部から講師を招いてソーシャル・ウェルビーイングに関連する論点を討議する、一般聴衆向けの公開シンポジウムとした。第1回シンポジウムには Friedrich Schneider 教授（オーストリア・リンツ大学）、第2回シンポジウムには小塩隆士教授（一橋大学）と白石小百合教授（横浜市立大学）を、それぞれ招聘した。

その後、コンソーシアムへの参加機関が増え、SoWSA 調査も軌道に乗り始めると、コンソーシアムメンバー同士での研究報告やディスカッションの場として、コンファレンスを開催することが基本となった。2016年2月に専修大学富士山中湖セミナーハウスで2泊3日の合宿形式でおこなったプロジェクトセミナーでは、各国の主要なコンソーシアムメンバーが一堂に会し、プロジェクトの意義と研究の方向性についての意見交換をおこなった。また同年6月に開催した第3回シンポジウムは、メンバーのみのクローズドな会議とし、その時点で実施済みであった SoWSA のうち日本・韓国・ベトナムの調査結果の報告と議論をおこなった。

そして2017年以降は、海外のコンソーシアム参加機関が交代で会議を担当した。具体的にはタイ、ベトナム、インドネシア、韓国で、第1回から第4回までのコンファレンスがそれぞれ開催された。コンファレンスのテーマも、持続可能な開発目標（SDGs）、ASEAN 地域統合、社会変動と社会政策、比較計量分析など、各国での学術的・社会的争点や問題関心の多様性を反映したバラエティに富むものが設定された。また、多くのコンファレンスで、メンバー同士の研究報告だけでなく、実務家や現地の研究者・学生、あるいは一般聴衆を対象とした公開シンポジウム形式のセッションも開催された。

以上の活動の集大成として2018年11月に専修大学でおこなわれた第5回コンファレンスでは、Balancing the Outcomes of Globalization: Roles of Social Well-Being というテーマのもとで、2日間の学術会議と、最終日の公開シンポジウムを開催した。特に公開シンポジウムでは、大竹文雄教授（大阪大学大学院）と細田満和子教授（星槎大学）を基調講演者としてお招きした上で、日本以外のコンソーシアム参加7ヶ国の代表者が、それぞれの国におけるソーシャル・ウェルビーイング研究の達成と課題を、日本の一般聴衆向けに同時通訳付きで報告した。

すべてのシンポジウム、コンファレンスおよびセミナーのプログラムは、本報告書第3部資料Bを参照。

表4 シンポジウム、コンファレンス、およびセミナーの開催

会議	日時	場所	テーマ
第1回 シンポジウム	2014年 12月6日	専修大学神田校舎	ソーシャル・ウェルビーイングと経済発展
第2回 シンポジウム	2015年 11月28日	専修大学神田校舎	「幸福」をつくる政策
プロジェクト セミナー	2016年 2月17～19日	専修大学富士山中 湖セミナーハウス	
第3回 シンポジウム	2016年 6月25日	専修大学サテライ トキャンパス	Social Well-being in Asia: Empirical Evidences and Theoretical Perspectives
第1回 コンファレンス	2017年 3月9～10日	タイ・チュラロン コン大学	Social Well-being and Sustainable Development Goals in Asia
第2回 コンファレンス	2017年 10月12～13日	ベトナム・ベトナ ム社会科学院	Social Well-being in the Context of Regional Integration: Searching for a Joint ASEAN Model
第3回 コンファレンス	2018年 3月4～6日	インドネシア・マ グラン	Social Well-Being, Social Policy, and Social Transformation
第4回 コンファレンス	2018年 6月29～30日	韓国・ソウル国立 大学	Social Well-Being in the Asian Context: From a Comparative Perspective
第5回 コンファレンス	2018年 11月23～25日	専修大学生田校 舎・神田校舎	Balancing the Outcomes of Globalization: Roles of Social Well- Being

5. 論集の刊行

本研究プロジェクトでは、ソーシャル・ウェルビーイングに関連する研究成果を国内外に発信することを目的とした英文および和文の論集を、それぞれ年に1回ずつ刊行してきた。いずれも専修大学社会知性開発研究センター／ソーシャル・ウェルビーイング研究センターが発行主体である。

英文論集 *The Senshu Social Well-being Review* は、国内外のコンソーシアムメンバーだけでなく、世界中の研究者からの投稿を受け付ける査読誌であり、実証的・方法的・理論的な研究論文を掲載してきた。投稿論文の査読は2名の匿名の査読者によっておこなわれ、最終的に編集長が掲載の可否を判断する。毎号掲載されるこうした一般投稿論文の他に、2017年12月に刊行された第4号では、同年4月に台湾・中央研究院で開催された国際社会学会社会指標部会(RC55)の中間コンファレンスでの報告者から公募した査読論文を掲載する特集が生まれ、RC55の会長・副会長と本誌の編集委員から構成される特集編集委員会が編集を担当した。この特集では欧州の研究者たちによる論文3本が掲載され、*The Senshu Social Well-being Review* を世界のウェルビーイング研究におけるプラットフォームとするための実績を作ることができた。なお、この英文論集は、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業が終了した後の2019年以降も、専修大学の学内研究資金の補助を得て、引き続き刊行されることが決まっている。

一方、和文論集『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』では、国内のコンソーシアムメンバーによる日本語の研究論文を掲載するとともに、各年度のプロジェクトの活動記録を収録してきた。英文論集が世界の研究者向けであるのに対し、この和文論集は国内の実務家や一般人および大学院生や学生を重要な読者層として想定してきた。このため、「ソーシャル・ウェルビーイング研究の現場から」と題した非専門家向けのわかりやすい解説論文を、第3号と第4号で掲載した。和文論集の刊行は2018年度の第5号をもって終了する。

英文および和文論集の各号の目次は、本報告書第3部資料Cを参照。

第 2 部 研究成果

1. ソーシャル・ウェルビーイングの学術的・社会的意義

第1部「1. 研究プロジェクトの目的と当初の計画」で触れたとおり、本研究プロジェクトにおけるソーシャル・ウェルビーイングという概念は、ウェルビーイングの水準と規定要因をマイクロ（個人の人口学的属性と社会経済的地位）、メゾ（社会関係資本）、マクロ（社会制度）という3つのレベルから多角的・包括的に考察するための足がかりとして設定したものである。個人の自分自身の境遇に対する自己評価である主観的ウェルビーイングの測定とその心理的・社会的規定要因の探求を進めてきた心理学や社会学を中心とする研究潮流と、政策目標の設定と評価の基準となりうる社会のあり方の指標として GDP に代わるより包括的でバランスのとれた客観指標を求めてきた経済学を中心とする実践的な問題関心をリンクさせることにより、学術的・社会的に新たな展開を生み出すことが念頭におかれていた。なお、ソーシャル・ウェルビーイングという用語自体は（Keyes 1998）に使用例があり、同時期に提唱された社会の質（Beck et al. 1997）という概念からも影響は受けているが、それらをそのまま用いたものではない。本研究プロジェクトにおけるソーシャル・ウェルビーイングという概念の学術的定義と先行研究との関係の詳細は（Koo et al. 2016）を参照。

ソーシャル・ウェルビーイングという概念をこのように定義したことの利点は、社会経済的状况とそれにとまなう学術的・社会的問題関心の所在が大きく異なるアジア諸社会の研究者が、それぞれの問題関心に沿った多様な解釈をこの概念に付与していくことにより、互いの問題関心や社会状況を理解し共有するのに役立ったことである。言い換えると、ソーシャル・ウェルビーイングという概念でどのような学術的・社会的課題を思い浮かべるかということ自体がそれぞれの社会の文脈の下で多様でありうるのであり、そうした違いに互いに気づくことでよりバランスのとれた共通の研究課題や仮説の探索的設定が可能になったことは、今後の研究の展開にとって重要な足がかりとなった。

そしてこのことは、近代化 *modernization* もしくは発展 *development* といった社会の変化と「よい社会」（Bellah 1991）との関係をどう捉えるかについての、本研究プロジェクトの立場とも関係している（Yee 2018）。近代化論や従属理論といった、経済成長を社会の発展のもっとも重要な指標とみなす従来の議論のもう1つの特徴は、発展の道筋を特定のものに限定していたことである。しかし、アジアの特徴は、欧米由来の外生的な影響と内発的な発展の契機とのバランスの取り方が、社会ごとに多様なことである。こうした「複線的近代化 *multiple modernization*」という観点から、アジア社会の多様性と共通性を調査データの比較分析を通じて明らかにすることが本研究プロジェクトの目標であり、その成果は Springer 社から 2020 年を目途に刊行される予定の *Social Well-Being, Development, and Multiple Modernities in Asia* および *Diverse Mechanisms of Social Well-Being in Asia* という 2 冊の編著書にまとめられることになっている。

2. 各国でのソーシャル・ウェルビーイング

本研究プロジェクトの実質的な研究成果の多くは、2015年から2017年にかけてアジア7ヶ国でおこなった「ソーシャル・ウェルビーイング・アジア調査 Social Well-Being Survey in Asia (SoWSA)」の分析を通じて得られたものである。SoWSAが実施されたのは、東アジアから日本・韓国・台湾の3ヶ国、東南アジアからベトナム、タイ、フィリピン、インドネシアの4ヶ国の、計7ヶ国である。そこで、本節ではまず各国の調査データから得られたそれぞれの国の状況についての知見を紹介し、次節ではソーシャル・ウェルビーイングを規定するいくつかの要因についての比較分析の知見を紹介する。

日本では、所得、健康、結婚、家族への信頼、一般的信頼が主観的ウェルビーイングを向上させるといった先行研究と整合的な結果が確認されたほか、SoWSA調査で独自に盛り込んだ先祖崇拝がウェルビーイングを向上させることや、労働時間の長さが男性ではウェルビーイングに正の効果をもつが女性では負の効果をもつことなど、いくつかの興味深い知見も得られた（Yazaki 2016）。

韓国では、社会の質（Beck et al. 1997）を規定する4つの要素である社会統合、社会経済的安全保障、社会的包摂、エンパワーメントのいずれについても、これまでの人生の過程でそうした恩恵に恵まれていない、あるいはより疎外されている個人ほど、主観的ウェルビーイングが低いことが確認された。また、学歴、仕事、所得や社会的ネットワークといった資源に恵まれていない人びとほど主観的ウェルビーイングが低いことも改めて確認された。以上の知見は、社会の中で弱い立場にある人びとのウェルビーイングを向上させるためには、経済的資源だけではなく、心理的・社会的資源も提供することが重要という政策的含意をもつ（Koo et al. 2016）。

台湾では、家族・友人・職場の同僚に対する信頼が高いこと、近所の人びととの付き合いの頻度が低いこと、そして多くの回答者がさまざまな側面における社会的不平等を感じていることなどが報告されている（Tsai 2018）。

ベトナムでは、主観的ウェルビーイングの水準が高いことが確認され、文化的規範や価値、伝統といった非経済的な要因がその理由として示唆されている（Anh 2017）。

タイでは1990年代以降、経済のみではない成長のあり方を追求する方向に政策的軌道修正がおこなわれてきたものの、政治的抑圧や二極化と低成長の下でその是非が問われ直されつつある。こうした中で、主観的ウェルビーイングの水準が（家計と政治に対する満足度を除いて）全般的に高いことが確認されたが、都市部と村落部を比較すると、後者の方がウェルビーイングが高いこともわかった。このことは、経済的發展よりも社会関係資本や社会的平等の方がソーシャル・ウェルビーイングの向上に効果があることを示唆する、と現地の研究チームは解釈している（Wun'gao et al. 2017）。

フィリピンでは、やはり主観的ウェルビーイングの水準は全般的に高い。就業状態や雇用の安定性、および所得への満足度はやや低いものの、家族や近所の人びとや友人との関係性や、娯楽や趣味に費やす時間への満足度は極めて高い。都市部と村落部とを比較すると、マニラ首都圏の居住者はそれ以外の地域の居住者と比べてウェルビーイングが全体的に低い。住宅事情や趣味に費やす時間、そして健康への満足度が特に低い。また、さまざまな社会的集団が公平に扱われていると思うかどうかについても、マニラ首都圏に近づくほど、公平に扱われていないと感じる人が増えていく。社会関係資本については、家族や親戚に対する信頼度は高いが、近所の人や職場の同僚、地方政府や警察への信頼度は低い。ただし、病院や地方政府といった公式制度への信頼は、大規模な災害をよく経験する人ほど高くなる傾向がみられた。つまり、フィリピン社会においては、第一次紐帯に対する結束型社会関係資本が日常生活において大きな役割を果たす一方で、公式制度に対する橋渡し型社会関係資本は災害時に大きな役割を果たすことが示唆される (Porio and See 2017)。

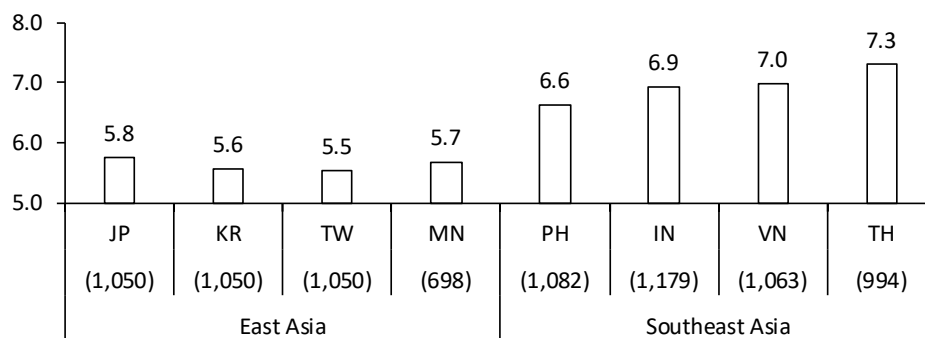
インドネシアでは、ミクロ、メゾ、マクロそれぞれのレベルのソーシャル・ウェルビーイングの規定要因が詳細に検討されたほか、宗教が主観的ウェルビーイングに大きな影響を及ぼすことが確認された (Wirutomo et al. 2018)。

3. ソーシャル・ウェルビーイングとその規定要因についての国際比較分析

本節では、ソーシャル・ウェルビーイングとその規定要因についての、SoWSA データを用いた比較分析の知見を紹介する。このうち、規定要因は（本研究プロジェクトにおけるソーシャル・ウェルビーイングの定義に沿って）マイクロ・メゾ・マクロの3つの水準のものを想定しているため、この順で主な知見を紹介する。

3.1 主観的ウェルビーイングの分布

まず、ソーシャル・ウェルビーイングの最も重要な指標である主観的ウェルビーイングの分布については、（モンゴルを含む）東アジア4ヶ国では平均値が低く分散が大きいものに対して、東南アジア4ヶ国では平均値が高く分散も小さいことがわかった（Kobayashi and Aldar 2018）。これは、経済的に豊かな社会において主観的ウェルビーイングがかえって低下するという「豊かさのパラドックス」（Yee 2018）の存在を経験的に裏付けるデータのひとつである。



8ヶ国の主観的ウェルビーイングの平均

注：括弧内はケース数（日本・韓国・台湾ではリサンプル後）。
主観的ウェルビーイングはカントリルの人生の階梯尺度を使用。

（Kobayashi and Aldar 2018）Figure 3 を転載。

3.2 主観的ウェルビーイングのマイクロ・レベルの規定要因

つぎに、主観的ウェルビーイングの規定要因のうちマイクロ・レベルの要因、すなわち人口学的・社会経済的属性の効果を、モンゴルを含む8ヶ国で多変量解析を用いて比較したところ、東アジアでは結婚していることや所得の高さといったすべての国に共通する促進要因が見られたのに対して、東南アジアではすべての国に共通する促進要因は見られなかった（Kobayashi and Aldar 2018）。

以上の2つの知見から、主観的ウェルビーイングの分布とそのマイクロ・レベルの規定要因について、東アジアと東南アジアとの間でまず大きな違いが存在し、その上で、東アジア諸国は相互に類似性が高いのに対し、東南アジア諸国はグループ内での多様性も大きいことがわかる。

3.3 主観的ウェルビーイングのメゾ・レベルの規定要因

ソーシャル・ウェルビーイングのメゾ・レベルの要素とは、家族や地域社会や友人などとの関係性や信頼といった、いわゆる社会関係資本にかかわることがらのことである。

このうちまず、**社会関係資本自体の分布**については、前節で紹介した各国からの報告からも断片的にうかがえることではあったものの、東・東南アジア7ヶ国を体系的に比較した結果、経済的に豊かな国ほどこうしたメゾ・レベルのソーシャル・ウェルビーイング（人間関係上のウェルビーイング）に恵まれていないというパラドックスが見られることがわかった（Seda et al. 2018）。

つぎに、日常生活における**サポート・ネットワーク**のパターンと規定要因について、潜在クラス分析等の多変量解析を用いて日本と韓国とを比較した研究では、家族や親戚や親しい友人からのサポートが多く、政党や政治家からのサポートが少ないという点は両国で共通するものの、地縁団体からのサポートが日本では家族や友人と同程度に高いのに対して、韓国ではきわめて低いという相違が見られた（Kim and Lim 2017）。

さらに、**信頼**が主観的ウェルビーイングに与える効果を検討した研究では、日本において結束型信頼と橋渡し型信頼との間に負の交互作用効果があることが確認された（Kanai 2016）。また、主観的相対所得（最後に卒業した学校の同級生の現在の平均所得の推定値と回答者の実際の所得との差）が主観的ウェルビーイングに与える効果の因果メカニズムを精査した研究では、主観的相対所得が主観的ウェルビーイングの与える効果の一部を信頼が媒介している可能性が指摘されている（Osaki 2018）。

3.4 マクロ・レベルのソーシャル・ウェルビーイング

マクロ・レベルのソーシャル・ウェルビーイングについては、それを構造・文化・手続きの3つの次元からなるものと定義し、SoWSA データから得られる操作指標をインドネシアと韓国との間で比較した研究において、平均スコアはいずれの次元においてもインドネシアは韓国よりも高いこと、インドネシアでは文化的次元のスコアが他の2つの次元のスコアと比べて高いこと、韓国では3つの次元のスコアの差が小さいこと、が報告されている（Wirutomo et al. 2018）。

また、日本・韓国・タイ・インドネシアにおける自殺率とマクロ・レベルのソーシャル・ウェルビーイングとの関連を分析した研究では、宗教の重要性が指摘されている（Sudjatmiko et al. 2018）。

4. 今後の課題

以上のように、本研究プロジェクトではアジア7ヶ国での国際比較調査（SoWSA）データの分析を通じて、ソーシャル・ウェルビーイングの状況と規定要因の共通性と異質性を明らかにしてきた。7ヶ国すべてのデータがそろったのがプロジェクト4年目の終わりであったため、多くの国々を対象とした本格的な計量的比較分析はまだ緒に就いたばかりではあるが、5年目に開催された2つのコンファレンスや英文論集第5号において、興味深い成果がつつぎに公表されつつある。2020年を目標にSpringer社から刊行を予定している2冊の本においても、各国におけるソーシャル・ウェルビーイングの問題状況（第1巻）とソーシャル・ウェルビーイングの規定要因についてのSoWSAデータを用いた比較計量分析（第2巻）とにわけて、研究成果をまとめた形で発信する予定である。

一方、5年間の研究活動とコンソーシアムメンバーとのディスカッションを通じて、以下のような課題も見えてきた。

第一に、本研究プロジェクトで実施したSoWSAは、各国での提携先を探しながら順次実施していくという悪条件の下では十分な成果を挙げたとは言えるものの、事後的に振り返るともっと改善できたと思われる点も少なくない。たとえば、調査票の内容や標本設計等は、日本チームだけで決めるのではなく、すべての国の研究者が参加する議論を通じて設計できれば、各国の問題関心をより反映するものになっていただろう。また、標本サイズや実査モードも、予算の制約により、理想的とは言えない状態で実施せざるを得なかった部分も多々あった。本研究プロジェクトが生み出した資産とも言えるコンソーシアムという組織とメンバー間の相互信頼を活かしつつ、各国のチームがそれぞれの国で獲得した競争的研究資金を持ち寄ることにより、より本格的で学術的信頼性の高い国際比較調査を近い将来実施することが望まれる。

第二に、SoWSAデータの計量的比較分析を通じて、各国の制度的多様性と計量分析とをどのようにリンクさせるかという方法論的課題が浮き彫りになってきた。本研究プロジェクトで明らかにしたように、アジアの大きな特徴はその歴史的・文化的・制度的多様性にある。欧米社会やOECD諸国を対象とした数十ヶ国を対象とする国際比較調査データの場合は、制度的多様性を誤差として確率論的に処理するマルチレベル分析などの手法が応用できる。また、2ヶ国や3ヶ国を相互に比較する場合は、それぞれの国の歴史的・制度的文脈を丁寧に見ていくことで、計量分析結果を説得的に解釈することも可能であろう。しかし、本研究プロジェクトが扱ったような7つないし8つくらいの社会を対象とする計量比較分析において、各社会の文脈的多様性をマイクロ・レベルの因果分析とうまくリンクさせるための確立された手法はまだ存在しない。

第三に、上の点とも関連するが、ソーシャル・ウェルビーイングの実態と規定要因を比較

分析するに際して、マイクロ・レベルの量的データだけに頼ることには限界がある。ウェルビーイングは人びとの心理や意味にかかわる概念であるため、なぜそのような回答をするのかという理由を体系的に深掘りすることは、データに適切な解釈を与える上で不可欠な科学的手続きである。つまり、インタビューや参与観察といった質的な調査を併用すること（混合研究法）が必要になる。このような質的調査の必要性については、特に東南アジア諸国のコンソーシアムメンバーからもたびたび提案されているため、今後の研究活動の重要な柱のひとつとなるだろう。

5. 文献

- Anh, Dang Nguyen. 2017. "Social Well-Being in Vietnam: Designing and Preliminary Results from a Sampling Survey." *The Senshu Social Well-being Review* 4:117-23.
- Beck, Wolfgang, Laurent van der Maesen and Alan Walker. 1997. *The Social Quality of Europe*, Vol. v. 1. Boston: Kluwer Law International.
- Bellah, Robert Neelly. 1991. *The Good Society*. New York: Knopf: Distributed by Random House.
- Kanai, Masayuki. 2016. "Contextual Effects of Bridging Social Capital on Subjective Well-Being." *The Senshu Social Well-being Review* 2:41-50.
- Keyes, Corey Lee M. 1998. "Social Well-Being." *Social Psychology Quarterly* 61(2):121-40.
- Kim, Seokho and Jaeun Lim. 2017. "Patterns of Social Support Networks in Japan and Korea." *The Senshu Social Well-being Review* 4:3-19.
- Kobayashi, Jun and Dolgion Aldar. 2018. "Inequality of Well-Being in Asia: A Comparative Analysis of Happiness in Eight Countries." *The Senshu Social Well-being Review* 5:75-82.
- Koo, Hearan, Jaeyeol Yee, Eun Young Nam and Ee Sun Kim. 2016. "Dimensions of Social Well-Being and Determinants in Korea: Personal, Relational, and Societal Aspects." *The Senshu Social Well-being Review* 3:37 - 58.
- Osaki, Hiroko. 2018. "Does Trust Moderate the Effect of Relative Income on Happiness?". *The Senshu Social Well-being Review* 5:51-61.
- Porio, Emma and Justin See. 2017. "Social Well-Being in the Philippines: Indicators and Patterns." *The Senshu Social Well-being Review* 4:95-116.
- Seda, Francisia SSE, Lugina Setyawati Setiono, Yosef Hilarius Timu Pera, Rika Febriani, Muhammad R. Damm and Kevin Nobel Kurniawan. 2018. "The Paradox of Relational Well-Being: A Comparative Study of South-East and East Asian Countries." *The Senshu Social Well-being Review* 5:83-91.
- Sudjatmiko, Iwan Gardono, Lidya Triana Aly, Roy Ferdy Gunawan, Tiara Wahyunintyas and Rangga Ardan Rahim. 2018. "Social Well-Being, Religion, and Suicide: A Comparison of Japan and Korea with Thailand and Indonesia." *The Senshu Social Well-being Review* 5:93-103.
- Tsai, Ming-Chang, Yow-Suen Sen, Yi-fu Chen, Tsui-o Tai, Hsiu-Jen Yeh and Chin-Hui Liao. 2018. "International Comparative Survey on Lifestyle and Values: A Report on the Taiwan Survey." *The Senshu Social Well-being Review* 5:105-16.
- Wirutomo, Paulus, Iwan Gardono Sudjatmiko, Francisia SSE Seda, Lugina Setyawati, Evelyn Suleeman, Daisy Indira Yasmine, Yosef Hilarius Timu Pera and Roy Ferdy Gunawan. 2018a. "Social Well-Being Survey in Indonesia." *The Senshu Social Well-being Review* 5:117-35.
- Wirutomo, Paulus, Evelyn Suleeman, Daisy Indira Yasmine and Riena J. Surayuda. 2018b. "The Condition of Societal Well-Being: A Comparison of Indonesia and South Korea." *The Senshu Social Well-being Review* 5:37-49.
- Yazaki, Keitaro. 2016. "Basic Descriptive Statistics of Japan Social Well-Being Survey." *The Senshu Social Well-being Review* 2:99-109.

第 3 部 資料

A. 「ソーシャル・ウェルビーイング・アジア調査 (SoWSA) 」

A.1. 共通調査票

Social Well-Being Survey in Asia (SoWSA), 2015-2017
Standard English Questionnaire

Recompiled on February 28, 2019

F: Demographic and Socio-Economic Backgrounds

F01 Are you currently married? [SA]

- 1 Currently married or cohabitating (incl. those remarried)
- 2 Widowed (from most recent spouse) and currently single
- 3 Divorced (from most recent spouse) and currently single
- 4 Single (no previous marriages)

F02 How many years have passed since your last marriage, bereavement, or divorce? [num]

_____ years passed by

Only for those who selected 4 at F01.

F03 How many children alive do you have, including those not currently living together with you? If you have no children alive, select '0'. [num]

_____ children

F04 Are there currently any members of your family in need of nursing care? Please select all options which apply to you. [MA]

- 1 My parents, spouse's parents, or spouse living *with me*, for whom *I* am the main caretaker.
- 2 My parents, spouse's parents, or myself living *with me*, for whom *my spouse* is the main caretaker.
- 3 My parents, spouse's parents, or spouse living *separately*, for whom *I* am the main caretaker.
- 4 My parents, spouse's parents, or myself living *separately*, for whom *my spouse* is the main caretaker.
- 5 My parents, spouse's parents, or spouse living *in a nursing home*.
- 6 Family member in need of nursing care other than the above.
- 7 No family member is currently in need of nursing care.

F05 How do you work currently? If you have more than one job, please answer the most important one. [SA]

- 1 Chief executive, senior official, legislator
- 2 Regular employee/civil servant
- 3 Temporary/part-time worker
- 4 Dispatched/contracted employee
- 5 Self-employed, freelance, side work
- 6 Family worker
- 11 Not working but currently looking for jobs
- 12 Not working and not looking for jobs

F06 What is your position? [SA]

- 1 No title
- 2 Supervisor, head, and so on
- 3 Assistant manager
- 4 Manager
- 5 General manager
- 9 Don't know

Only for those who selected 2 at F05.

F07 How many workers does your company or organization has as a whole? Please include all workers such as yourself, family workers, and part-time workers. [SA]

- 1 1 person
- 2 2 - 4 persons
- 3 5 - 29 persons
- 4 30 - 99 persons
- 5 100 - 299 persons
- 6 300 - 999 persons
- 7 1,000 and above persons
- 8 Government and municipal offices
- 9 Don't know

Only for those who selected 1 to 6 at F05.

F08 What kind of work do you do? Please describe your job specifically. For example, primary school teacher, crop farmer, bus driver, repairing motor vehicles, numerical clerk at bank, computer programmer, door to door sales person, and so on. [Open-ended]

Only for those who selected 1 to 6 at F05.

F09 When did you leave your last job? If you have no experience to work, just fill in '0'. [**num**, **each question**]

_____ years and _____ months ago

Only for those who selected 11 or 12 at F05.

F10 How does your spouse work currently? If he/she has more than one job, please answer the most important one. [**SA**]

- 1 Chief executive, senior official, legislator
- 2 Regular employee/civil servant (incl. temporally on leave due to illness, childcare, etc.)
- 3 Temporary/part-time worker
- 4 Dispatched/contracted employee
- 5 Self-employed, freelance, side work
- 6 Family worker
- 11 Not working but currently looking for jobs
- 12 Not working and not looking for jobs (housewife/husband, student, retired, etc.)

Only for those who selected 1 at F01.

F11 What is your spouse's position? [**SA**]

- 1 No title
- 2 Supervisor, head, and so on
- 3 Assistant manager
- 4 Manager
- 5 General manager
- 9 Don't know

Only for those who select 1 at F01 and select 2 at F10.

F12 How many workers does your spouse's company or organization has as a whole? Please include all workers such as your spouse him/herself, family workers, and part-time workers.

[**SA**]

- 1 1 person
- 2 2 - 4 persons
- 3 5 - 29 persons
- 4 30 - 99 persons
- 5 100 - 299 persons
- 6 300 - 999 persons
- 7 1,000 and above persons
- 8 Government and municipal offices
- 9 Don't know

Only for those who select 1 at F01 and select 1 to 6 at F10.

F13 What kind of work does your spouse do? Please describe your spouse's job specifically. For example, primary school teacher, crop farmer, bus driver, repairing motor vehicles, numerical clerk at bank, computer programmer, door to door sales person, and so on. [**Open-ended**]

Only for those who select 1 at F01 and select 1 to 6 at F10.

F14 Type of residential area. [**After coding by local team**]

- 1 Urban area
- 2 Rural area

F15 Region of the place of residence. [**After coding by local team**]

Appropriate categories in each country.

F16 Please select your gender. [**SA**]

- 1 Male
- 2 Female

F17 Please tell us the year in which the following persons were born. [**num, each question**]

- Yourself: _____
Your spouse: _____ *Only for those who select 1 at F01.*
Your father: _____, -9 Don't know
Your mother: _____, -9 Don't know

F18 Please tell us how many years you have lived in your current municipality. If you left and then returned to the area, give your total combined years of residence. [**num**]

_____ years

F19 How many generations has your family lived in your current municipality? [**SA**]

- 1 From my generation
- 2 From my parent's generation
- 3 From my grandparent's generation
- 4 From before my grandparent's generation

F20 How did your parents work when you were 15 years old? If he/she had more than one job, please answer the most important one. [SA, each question]

	Chief executive, senior official, legislator	Regular employee/civil servant	Temporary/part-time worker	Dispatched/contracted employee	Self-employed, freelance, side work	Family worker	Not working	Not present when I was 15 years old	Don't know
Your father	1	2	3	4	5	6	12	-8	-9
Your mother	1	2	3	4	5	6	12	-8	-9

F21 What kind of work did your parents do? Please describe your parent's job specifically. For example, primary school teacher, crop farmer, bus driver, repairing motor vehicles, numerical clerk at bank, computer programmer, door to door sales person, and so on. [Open-ended]

Your father: _____, -9 Don't know

Your mother: _____, -9 Don't know

Only for those who selected 1 to 6 at F20.

F22 How much time do the following people spend on the following activities on average at their current jobs? [num, each question]

Your daily commute time (one-way)

_____ hours and _____ minutes

Your weekly working hours (incl. overtime and holiday work, etc.)

_____ hours and _____ minutes

Your spouse's daily commute time (one-way)

Only for those who selected 1 at F01.

_____ hours and _____ minutes, -9 Don't know

Your spouse's weekly working hours (incl. overtime and holiday work, etc.)

Only for those who selected 1 at F01.

_____ hours and _____ minutes, -9 Don't know

F23 How much time do you and your spouse spend a day on average doing the following? If working, average out for working and non-working days. If not doing at all, answer "0 hrs. 0 mins." [num, each question]

[Yourself]

Preparing dinner

_____ hours and _____ minutes

Laundry

_____ hours and _____ minutes

Housecleaning

_____ hours and _____ minutes

Childcare

Only for those who answered 1 and more children at F03.

_____ hours and _____ minutes

Caring for family members

Only for those who selected 1 to 6 at F04.

_____ hours and _____ minutes

[Your spouse]

Only for those who selected 1 at F01.

Preparing dinner

_____ hours and _____ minutes

Laundry

_____ hours and _____ minutes

Housecleaning

_____ hours and _____ minutes

Childcare

Only for those who answered 1 and more children at F03.

_____ hours and _____ minutes

Caring for family members

Only for those who selected 1 to 6 at F04.

_____ hours and _____ minutes

F24 How many are living together in your family, including yourself? [num]

_____ people

F25 Other than yourself, which of the following people currently live with you in your home?

Please select all which apply to you. [MA]

- 1 Spouse
- 2 Your children, or spouse's children
- 3 Your niece or nephew, or spouse's niece or nephew
- 4 Your grandchildren, or spouse's grandchildren
- 5 Your siblings, or spouse's siblings
- 6 Your parents
- 7 Spouse's parents
- 8 Your aunt or uncle, or spouse's aunt or uncle
- 9 Your grandparents, or spouse's grandparents
- 10 Other relatives
- 11 Other non-relatives

F26 Who is the primary breadwinner of the family currently living in your house? [SA]

- 1 You
- 2 Your spouse
- 3 Your son
- 4 Your daughter
- 5 Your father or spouse's father
- 6 Your mother or spouse's mother
- 7 Your grandparents or spouse's grandparents
- 8 Other (_____)

F27 Describe your current housing situation. [SA]

- 1 Owner (single-family home)
- 2 Owner (apartment or housing complex)
- 3 Rental, company housing, etc. (private single-family home)
- 4 Rental, company housing, etc. (private apartment or housing complex)
- 5 Rental, company housing, etc. (public single-family home)
- 6 Rental, company housing, etc. (public apartment or housing complex)
- 7 Other (_____)

F28 Which of the following do you personally read or use on a daily basis? Please select all options which apply to you. [MA]

- 1 Newspaper
- 2 Computer
- 3 Fixed-line telephone
- 4 Mobile phone
- 5 Private vehicle
- 6 None of the above

F29 What is your religion? Select the most important one for you. [SA]

- 1 Buddhism
- 2 Christianity (Roman Catholic)
- 3 Christianity (Protestant)
- 4 Islam
- 5 Hindu
- 6 Nature worship (*Shinto*, etc.)
- 7 Other (_____)
- 8 None

F30 What is the highest level of education for the following people? [SA, each question]

	Junior high school	High school or secondary school	Vocational school	Junior college, vocational high school	Four-year university	Master's course, professional graduate school	Doctorate course	Don't know
Yourself	1	2	3	4	5	6	7	
Your spouse	1	2	3	4	5	6	7	
Your father	1	2	3	4	5	6	7	-9
Your mother	1	2	3	4	5	6	7	-9

“Your spouse” is only for those who selected 1 at F01.

F31 Please indicate your past year's income before tax. [SA]

The following options is for Japan survey. Each survey measures it in local currency.

- 1 Less than 500,000 yen
- 2 500,000-1,000,000 yen
- 3 1,000,000-1,500,000 yen
- 4 1,500,000-2,000,000 yen
- 5 2,000,000-2,500,000 yen
- 6 2,500,000-3,000,000 yen
- 7 3,000,000-3,500,000 yen
- 8 3,500,000-4,000,000 yen
- 9 4,000,000-4,500,000 yen
- 10 4,500,000-5,000,000 yen
- 11 5,000,000-5,500,000 yen
- 12 5,500,000-6,000,000 yen
- 13 6,000,000-6,500,000 yen
- 14 6,500,000-7,000,000 yen
- 15 7,000,000-7,500,000 yen
- 16 7,500,000-8,000,000 yen
- 17 8,000,000-8,500,000 yen
- 18 8,500,000-9,000,000 yen
- 19 9,000,000-9,500,000 yen
- 20 9,500,000-10,000,000 yen
- 21 10,000,000-11,000,000 yen
- 22 11,000,000-12,000,000 yen
- 23 12,000,000-15,000,000 yen
- 24 15,000,000-20,000,000 yen
- 25 20,000,000 yen or more

F32 Please indicate the past year's pre-tax income for your household (for family with shared finances). Include income from the rest of your family in your answer. [SA]

The following options is for Japan survey. Each survey measures it in local currency.

- 1 Less than 500,000 yen
- 2 500,000-1,000,000 yen
- 3 1,000,000-1,500,000 yen
- 4 1,500,000-2,000,000 yen
- 5 2,000,000-2,500,000 yen
- 6 2,500,000-3,000,000 yen
- 7 3,000,000-3,500,000 yen
- 8 3,500,000-4,000,000 yen
- 9 4,000,000-4,500,000 yen
- 10 4,500,000-5,000,000 yen
- 11 5,000,000-5,500,000 yen
- 12 5,500,000-6,000,000 yen
- 13 6,000,000-6,500,000 yen
- 14 6,500,000-7,000,000 yen
- 15 7,000,000-7,500,000 yen
- 16 7,500,000-8,000,000 yen
- 17 8,000,000-8,500,000 yen
- 18 8,500,000-9,000,000 yen
- 19 9,000,000-9,500,000 yen
- 20 9,500,000-10,000,000 yen
- 21 10,000,000-11,000,000 yen
- 22 11,000,000-12,000,000 yen
- 23 12,000,000-15,000,000 yen
- 24 15,000,000-20,000,000 yen
- 25 20,000,000 yen or more
- 99 Don't know

W: Social Well-Being

W01 How happy are you currently? Answer on a scale of 0 to 10, with 10 being “very happy” and 0 being “very unhappy.” [SA]

Very unhappy	←	←	←	←	·	→	→	→	→	Very happy
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

W02 How satisfied are you currently with the following? [SA, each question]

	Very unsatisfied	←	←	←	←	·	→	→	→	→	Very satisfied
Current life overall	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Family finances (income, expenses)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Employment and job stability	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Job satisfaction	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Family life	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Married life	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Relationships with friends and acquaintances	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Area of residence	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Amount of spare time	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Quality of spare-time usage	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Hobbies, social contributions, purposeful activities	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Current personal health	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

“Job satisfaction” is NOT asked for those who selected 11 or 12 at F05.

“Married life” is ONLY for those who selected 1 at F01.

W03 How do you think people are treated unfairly based on the following attributes in current Japanese society as a whole? [SA, each question]

	Not at all unfair	←	←	←	←	·	→	→	→	→	Extremely unfair	Don't know
Gender	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-9
Age	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-9
Educational background	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-9
Occupation	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-9
Income	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-9
Assets	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-9
family background	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-9
Race, ethnicity, or nationality	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-9
Area of residence	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-9
Region of origin	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-9
Religion	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-9

W04 How do you think the following attributes or attainments of yourself have given you an advantage or a disadvantage in your life so far? [SA, each question]

	Very disadvantageous	←	←	←	←	·	→	→	→	→	Very advantageous
Gender	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Age	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Educational background	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Occupation	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Income	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Assets	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
family background	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Race, ethnicity, or nationality	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Area of residence	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Region of origin	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Religion	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

W05 How do you agree to the following statements on current Japanese society? [SA, each question]

	Strongly disagree	←	←	←	←	·	→	→	→	→	Strongly agree	Don't know
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-9
Competition for achieving high status and income is fair	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-9
Opportunities for university education are equally available to all regardless of wealth disparity	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-9
The disabled can be socially active, regardless of their degree of disability	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-9
The income gap is currently too big	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-9
The income gap will likely be greater in 10 years	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-9

W06 The following are opinions on who should have high status and financial wealth. Please select the one option closest to your opinion. [SA]

- 1 People should receive more based on their achievements
- 2 People should receive more based on their effort
- 3 People should receive more based on their innate abilities
- 4 People should only receive as much as they need
- 5 Everyone should receive the same amount
- 9 Don't know

W07 What do you think the current average annual income (pre-tax) is for those that graduated from the last school you attended? [num]

Approx. _____ 10 thousand yen, 99999 I cannot imagine at all
Each survey measures it in local currency.

W08 How many amount of annual income (pre-tax) do you think is enough for you? If you fill in a higher amount than your current one, make sure it will be available if you do your best.

[num]

Approx. _____ 10 thousand yen
Each survey measures it in local currency.

W09 How did your own life circumstances change, or how do you think they will change? [SA, each question]

	Worsened (or will probably be worse)				Not changed (or will probably not change)				Improved (or will probably improve)		Don't know	
	←	←	←	←		→	→	→	→			
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
Your current circumstances compared to your situation when you were 15 years old												
Your current circumstances compared to your situation 5 years ago												
Your circumstances 5 years from now compared to your current circumstances												-9
Your circumstances in your old age compared to your current circumstances												-9

W10 Please imagine a ladder with steps numbered from 0 at the bottom to 10 at the top. Suppose we say that the top of the ladder represents the best possible life for you and the bottom of the ladder represents the worst possible life for you. On which step of the ladder would you say you personally feel you stand at this time, assuming that the higher the step the better you feel about your life, and the lower the step the worse you feel about it? Which step comes closest to the way you feel? [SA]

Worst life	←	←	←	←	·	→	→	→	→	Best life
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

C: Social Capital

C01 To what degree do you feel you can trust or not trust the following people? [SA, each question]

	Can trust a lot	Can trust	Can trust somewhat	Can hardly trust	Cannot trust at all	Not working or no co-workers
Most people	5	4	3	2	1	
Family and relatives	5	4	3	2	1	
Neighbors	5	4	3	2	1	
Friends and acquaintances	5	4	3	2	1	
Co-workers in your workplace	5	4	3	2	1	-8
Strangers	5	4	3	2	1	
Local government office staff, police and other civil servants	5	4	3	2	1	

C02 How often do you interact with the following people? [SA, each question]

	Nearly on a daily basis (multiple times per week)	Somewhat frequently (once a week, or several times a month)	Sometimes (once a month, or several times a year)	Rarely (once a year or every few years)	Not at all
Relatives	5	4	3	2	1
Friends and acquaintances outside school or work	5	4	3	2	1

C03 How social are you with your neighbors? [SA, each question]

[Degree of social interaction]

- 5 Feel the same as family with many
- 4 Consult with and share everyday items with some
- 3 Have daily interactions and conversations with neighbors
- 2 Have minimal interaction with neighbors, only greeting each other
- 1 Don't interact with neighbors at all

[Ratio of neighbors interacted with]

- 5 Know and interact with most all my neighbors
- 4 Know and interact with many of my neighbors
- 3 Know and interact with about half of my neighbors
- 2 Only know and interact with my immediate neighbors
- 1 Don't know the names of my neighbors

C04 In the past year, how active were you in the following neighborhood activities? [SA, each question]

	Once a week	Once a month	Few times a year	Have not done this year	Have never done	Not available in my area
Sports, hobbies, leisure activities (excl. neighborhood association activities)	5	4	3	2	1	-8
Community development (excl. neighborhood association activities)	5	4	3	2	1	-8
Elderly support (excl. neighborhood association activities)	5	4	3	2	1	-8
Childcare support (excl. neighborhood association activities)	5	4	3	2	1	-8
Crime prevention (excl. neighborhood association activities)	5	4	3	2	1	-8
Disaster prevention (excl. neighborhood association activities)	5	4	3	2	1	-8
Neighborhood association's activities (incl. meetings)	5	4	3	2	1	-8

C05 How involved are you in traditional festivals in your area in which many other members of your community participate? Festivals here refer to *Bon Odori* and other regular festivals held at nearby shrines. [SA]

Always attend	Attend as much as I can	Sometimes attend	Don't usually attend	Never attend	Not available in my area
5	4	3	2	1	-8

C06 Do you feel that you have to attend the weddings and funerals of the following people?
Please select all those for which you feel the need to attend. [MA, each question]

[Weddings]

- 1 Close family
- 2 Relatives
- 3 Friends and acquaintances
- 4 Neighbors
- 5 Co-workers and superiors
- 6 None of the above

[Funerals]

- 1 Close family
- 2 Relatives
- 3 Friends and acquaintances
- 4 Neighbors
- 5 Co-workers and superiors
- 6 None of the above

C07 How frequently do you attend memorials or services for those close to you or ancestors who have already died? Here memorials refer to praying at a Buddhist altar or household shrine or during visits to a shrine, temple or church; regular grave visits, death anniversary ceremonies and other such memorials. [SA]

- 6 Almost everyday
- 5 Weekly
- 4 Monthly
- 3 Few times a year
- 2 Once every few years
- 1 Not at all

C08 Do you think your children or descendants will hold memorials or services for you in the future after your passing? Here memorials refer to praying at a Buddhist altar or household shrine or during visits to a shrine, temple or church; regular grave visits, death anniversary ceremonies and other such memorials. [SA]

Definitely	Probably	Maybe	Probably not	Definitely not
5	4	3	2	1

R: Risk and Social Safety Network

R01 When did your household experience the following things *latest*? [SA, each question]

	Less than 1 year ago	Less than 5 years ago	Less than 10 years ago	More than 10 years ago	Never experienced
Threatened livelihood due to unemployment or low income of household members	5	4	3	2	1
Threatened livelihood due to unemployment or low income due to illness or injury of household members	5	4	3	2	1
Food insecurity	5	4	3	2	1
Threatened access to safe water	5	4	3	2	1
Threatened life due to poor means of transportation or road conditions, traffic accidents	5	4	3	2	1
War or armed conflict	5	4	3	2	1
Political oppression, denying of human rights	5	4	3	2	1
Someone in your household got involved in a crime	5	4	3	2	1
Someone in your household been a victim of corruption such as demanded a bribe from civil servants	5	4	3	2	1

R02 What people or organizations do you rely upon to help you deal with your personal daily problems and concerns (unemployment, low income, sickness, old age, everyday surroundings, etc.)? [SA, each question]

	Rely upon a lot	Rely upon	Somewhat rely upon	Hardly rely upon at all	Don't rely on at all
Local government office	5	4	3	2	1
School, hospital or other public facilities	5	4	3	2	1
Police	5	4	3	2	1
Firefighting organizations	5	4	3	2	1
Armed forces	5	4	3	2	1
Political parties and politicians	5	4	3	2	1
Regional groups (neighborhood association, etc.)	5	4	3	2	1
Volunteers, NPOs, civic groups, etc.	5	4	3	2	1
Temple, church or other religious group	5	4	3	2	1

Employer	5	4	3	2	1
Co-workers	5	4	3	2	1
Neighbors	5	4	3	2	1
Close family	5	4	3	2	1
Relatives	5	4	3	2	1
Friends and acquaintances	5	4	3	2	1

R03 Do you think that your neighbors can solve their disputes (trash disposal, noise, sunlight blockage, etc.) internally within the community? [SA]

Definitely	Probably	Maybe	Probably not	Definitely not
5	4	3	2	1

R04 Assume that a friend is in trouble and needs to borrow 100,000 yen (about a half of the average starting salary in each country). How much would they have to give you back in a year's time to make you consider it? [SA]

- 1 80,000 yen or less
- 2 90,000 yen
- 3 100,000 yen
- 4 110,000 yen
- 5 120,000 yen or more

Each survey measures it in local currency.

R05 Which of the following large disasters or damages apply in the following questions? [MA, each question]

[Disasters or damage you have personally experienced]

- 1 Typhoon, flood, severe cold, severe heat, etc.
- 2 Earthquake, volcanic eruption, landslide, etc.
- 3 Epidemic or endemic disease, insect or bird damage, etc.
- 4 Air pollution, water pollution, noise and vibrations, offensive odors, ground subsidence, etc.
- 5 Industrial injury or accident at factory, work site, etc.
- 6 Accident in train, bus, airplane, boat, etc.
- 7 War, etc.
- 8 Accident due to sloppy design or construction, unfair administrative actions, groundless rumors, etc.
- 9 None of the above

[Experiences on these is handed down in the city or town in which you reside]

- 1 Typhoon, flood, severe cold, severe heat, etc.
- 2 Earthquake, volcanic eruption, landslide, etc.
- 3 Epidemic or endemic disease, insect or bird damage, etc.
- 4 Air pollution, water pollution, noise and vibrations, offensive odors, ground subsidence, etc.
- 5 Industrial injury or accident at factory, work site, etc.
- 6 Accident in train, bus, airplane, boat, etc.
- 7 War, etc.
- 8 Accident due to sloppy design or construction, unfair administrative actions, groundless rumors, etc.
- 9 None of the above

R06 Which people or groups would you rely upon if a large natural disaster or accident occurred in your residential area? [SA, each question]

	Rely upon a lot	Rely upon	Somewhat rely upon	Hardly rely upon at all	Don't rely on at all
Local government office	5	4	3	2	1
School, hospital or other public facilities	5	4	3	2	1
Police	5	4	3	2	1
Firefighting organizations	5	4	3	2	1
Armed forces	5	4	3	2	1
Political parties and politicians	5	4	3	2	1
Regional groups (neighborhood association, etc.)	5	4	3	2	1
Volunteers, NPOs, civic groups, etc.	5	4	3	2	1
Temple, church or other religious group	5	4	3	2	1
Employer	5	4	3	2	1
Co-workers	5	4	3	2	1
Neighbors	5	4	3	2	1
Close family	5	4	3	2	1
Relatives	5	4	3	2	1
Friends and acquaintances	5	4	3	2	1

A.2 主な設問の基礎集計

ここでは、SoWSA の共通設問群のうち、「ソーシャル・ウェルビーイング」、「社会関係資本」、「リスクと社会的安全網」の中の主要な設問について、各国での記述統計を示す。

- すべての記述統計において、無回答や非該当などの欠損値は集計対象から除外している。
- 設問を各国の実情に合わせて一部変更している場合、たとえば複数の対象を含む設問を対象ごとに分離して尋ねている場合はそれらの平均をとるなど、適宜加工して提示する。

W Social Well-Being

W01 How happy are you currently? Answer on a scale of 0 to 10, with 10 being “very happy” and 0 being “very unhappy.”

(平均、0～10、数値の高いほど幸せ)

ID	JP	KR	PH	TH	TW	VN
7.67	6.25	5.93	7.00	7.62	6.14	7.63

W02 How satisfied are you currently with the following?

(平均、0～10、数値の高いほど満足)

	ID	JP	KR	PH	TH	TW	VN
(a) Current life overall	8.04	5.87	5.70	6.84	7.58	6.31	7.37
(b) Family finances	6.64	5.04	5.23	5.74	6.56	5.81	6.47
(c) Employment and job stability	6.79	5.53	5.28	6.00	6.39	6.32	6.46
(d) Job satisfaction	1.51	1.37	2.45	0.88	3.94	3.97	4.20
(e) Family life	8.33	6.14	6.33	7.67	8.21	6.62	7.50
(f) Married life	3.82	1.18	1.33	3.41	2.02	-0.49	2.83
(g) Relationships with friends and acquaintances	7.96	6.23	6.46	7.43	8.02	6.62	7.42
(h) Area of residence	7.66	6.21	6.40	7.29	8.11	6.54	7.35
(i) Amount of spare time	7.04	5.96	6.10	6.33	7.37	6.37	6.82
(j) Quality of spare-time usage	7.15	6.00	5.77	6.37	7.37	6.23	6.76
(k) Hobbies, social contributions, purposeful activities	7.31	5.77	5.38	6.16	7.04	6.34	6.62
(l) Current personal health	7.38	5.80	6.06	7.31	7.34	6.32	7.26

W03 How do you think people are treated unfairly based on the following attributes in current Japanese society as a whole?

(平均、0～10、数値の高いほど不公平)

	ID	JP	KR	PH	TH	TW	VN
(a) Gender	3.20	6.14	6.10	4.55	6.57	5.25	4.63
(b) Age	3.19	6.34	6.49	4.56	6.43	5.42	4.53
(c) Educational background	3.67	6.44	6.99	4.70	6.30	5.62	4.89
(d) Occupation	3.92	6.56	7.07	4.76	6.10	5.73	4.92
(e) Income	4.07	7.14	7.43	4.81	5.79	5.82	5.24
(f) Assets	4.12	7.00	7.37	4.72	5.83	5.92	5.36
(g) Family background	3.75	6.05	6.83	4.65	6.94	5.75	4.93
(h) Race, ethnicity, or nationality	3.33	5.97	6.44	4.54	7.50	5.48	4.39
(i) Area of residence	3.02	5.63	6.07	4.43	7.53	5.40	4.43

(j) Region of origin	2.86	4.87	6.08	4.29	7.69	5.17	4.33
(k) Religion	2.75	4.59	5.34	4.26	8.09	4.86	4.19

W04 How do you think the following attributes or attainments of yourself have given you an advantage or a disadvantage in your life so far?

(平均、0~10、数値の高いほど得をした)

	ID	JP	KR	PH	TH	TW	VN
(a) Gender	6.91	5.35	5.26	7.83	5.96	5.94	6.18
(b) Age	6.83	5.04	4.72	7.55	5.87	5.15	5.93
(c) Educational background	6.53	5.26	5.11	7.32	5.74	5.82	5.64
(d) Occupation	6.73	5.41	5.18	7.66	5.79	5.72	5.85
(e) Income	6.60	5.00	4.88	7.45	5.66	5.23	5.57
(f) Assets	6.52	4.85	4.73	6.64	5.78	5.06	5.48
(g) Family background	6.71	4.98	5.17	7.17	6.60	5.39	6.05
(h) Race, ethnicity, or nationality	6.51	5.26	5.35	7.09	7.14	5.64	6.20
(i) Area of residence	7.08	5.10	5.31	7.40	7.14	5.77	6.36
(j) Region of origin	6.97	5.12	5.28	7.25	7.11	5.74	6.30
(k) Religion	7.57	4.97	5.27	7.55	7.43	5.74	6.05

W05 How do you agree to the following statements on current *Japanese* society?

(平均、0~10、数値の高いほど同意)

	ID	JP	KR	PH	TH	TW	VN
(a) Competition for achieving high status and income is fair	7.05	4.50	4.38	6.58	6.15	4.24	7.21
(b) Opportunities for university education are equally available to all regardless of wealth disparity	7.91	3.82	4.24	7.73	7.37	5.52	7.64
(c) The disabled can be socially active, regardless of their degree of disability	7.56	3.44	3.74	7.61	8.03	5.30	6.68
(d) The income gap is currently too big	6.94	6.44	8.06	6.95	7.85	7.80	8.04
(e) The income gap will likely be greater in 10 years	7.04	7.24	8.20	7.20	7.57	8.11	8.01

W06 The following are opinions on who should have high status and financial wealth. Please select the one option closest to your opinion.

(%)

	ID	JP	KR	PH	TH	TW	VN
1 People should receive more based on their achievements	15.1	37.4	25.2	7.3	15.7	20.5	--
2 People should receive more based on their effort	65.9	38.1	60.2	58.7	51.5	54.7	--
3 People should receive more based on their innate abilities	14.1	2.4	6.0	24.0	3.7	3.5	--
4 People should only receive as much as they need	2.9	15.0	5.0	2.0	5.9	17.8	--
5 Everyone should receive the same amount	1.9	7.1	3.6	7.9	23.2	3.5	--

W09 How did your own life circumstances change, or how do you think they will change?

(平均、0～10、数値の高いほど同意)

	ID	JP	KR	PH	TH	TW	VN
(a) Your current circumstances compared to your situation when you were 15 years old	7.38	5.59	5.61	6.58	7.09	5.98	7.24
(b) Your current circumstances compared to your situation 5 years ago	7.10	5.00	5.33	6.46	6.70	5.60	6.93
(c) Your circumstances 5 years from now compared to your current circumstances	8.31	4.86	6.05	16.79	6.82	5.95	7.16
(d) Your circumstances in your old age compared to your current circumstances	8.46	4.08	5.74	7.39	5.96	5.29	6.94

W10 Please imagine a ladder with steps numbered from 0 at the bottom to 10 at the top. Suppose we say that the top of the ladder represents the best possible life for you and the bottom of the ladder represents the worst possible life for you. On which step of the ladder would you say you personally feel you stand at this time, assuming that the higher the step the better you feel about your life, and the lower the step the worse you feel about it? Which step comes closest to the way you feel?

(平均、0～10、数値の高いほどよい人生)

ID	JP	KR	PH	TH	TW	VN
6.92	5.65	5.54	6.67	7.29	5.54	7.02

C Social Capital

C01 To what degree do you feel you can trust or not trust the following people?

(平均、1～5、数値の高いほど信頼)

	ID	JP	KR	PH	TH	TW	VN
(a) Most people	3.07	2.71	2.81	3.00	2.39	3.09	2.68
(b) Family and relatives	4.36	3.78	3.66	3.99	4.47	3.74	4.42
(c) Neighbors	3.45	2.80	2.79	3.20	3.45	2.92	3.38
(d) Friends and acquaintances	3.45	3.35	3.34	3.43	3.07	3.43	3.44
(e) Co-workers in your workplace	3.44	2.95	2.98	3.40	2.86	3.01	3.23
(f) Strangers	1.92	2.10	1.91	1.97	1.34	2.29	1.68
(g) Local government office staff, police and other civil servants	2.98	2.69	2.48	2.99	2.72	2.63	3.46

C02 How often do you interact with the following people?

(平均、1～5、数値の高いほど高頻度)

	ID	JP	KR	PH	TH	TW	VN
(a) Most people	4.18	2.62	2.68	3.26	4.29	3.23	4.08
(b) Family and relatives	3.73	2.98	3.20	3.36	4.23	3.37	3.98

C03 How social are you with your neighbors?

(平均、1～5、数値の高いほど高密度)

	ID	JP	KR	PH	TH	TW	VN
(a) Degree of social interaction	3.54	2.30	2.63	3.13	3.50	2.60	3.27
(b) Ratio of neighbors interacted with	4.27	2.33	2.17	3.24	3.81	2.44	3.63

C04 In the past year, how active were you in the following neighborhood activities?

(平均、1～5、数値の高いほど高頻度)

	ID	JP	KR	PH	TH	TW	VN
(a) Sports, hobbies, leisure activities	3.45	2.27	3.18	2.28	2.46	2.46	2.50
(b) Community development	3.27	1.59	2.63	2.28	2.41	1.81	2.31
(c) Elderly support	2.52	1.38	1.75	2.12	2.02	1.66	2.30
(d) Childcare support	2.88	1.46	1.73	2.18	1.71	1.72	2.32
(e) Crime prevention	2.49	1.40	1.55	2.05	1.69	1.61	2.25
(f) Disaster prevention	2.21	1.46	1.64	2.14	1.74	1.69	2.54
(g) Neighborhood association's activities	3.50	1.92	1.80	2.18	2.90	1.79	2.76

C05 How involved are you in traditional festivals in your area in which many other members of your community participate? Festivals here refer to *Bon Odori* and other regular festivals held at nearby shrines.

(平均、1～5、数値の高いほど高頻度)

ID	JP	KR	PH	TH	TW	VN
3.97	2.09	2.58	2.95	3.63	2.10	3.04

C06 Do you feel that you have to attend the weddings and funerals of the following people? Please select all those for which you feel the need to attend.

(選択率、%)

	ID	JP	KR	PH	TH	TW	VN
(a) Weddings							
Close family	99.6	89.0	95.8	81.2	90.5	77.9	96.3
Relatives	94.9	75.9	89.5	88.4	92.2	63.0	96.8
Friends and acquaintances	87.5	68.1	88.8	69.6	80.6	79.0	90.6
Neighbors	93.2	4.07	21.8	43.9	76.4	14.2	67.8
Co-workers and superiors	57.8	37.2	21.8	15.8	38.0	45.8	--
None of the above	0.1	7.1	1.2	0.0	1.3	4.2	0.2
(b) Funerals							
Close family	99.5	91.5	95.6	84.4	94.1	79.0	95.8
Relatives	95.6	86.7	92.0	94.7	94.3	67.1	96.2
Friends and acquaintances	89.7	76.5	89.2	82.2	85.3	65.3	91.3
Neighbors	94.1	38.1	28.5	63.6	83.6	14.2	66.6
Co-workers and superiors	58.7	52.9	74.4	20.9	41.8	36.4	--
None of the above	0.2	5.2	1.3	0.0	2.8	4.5	0.6

C07 How frequently do you attend memorials or services for those close to you or ancestors who have already died? Here memorials refer to praying at a Buddhist altar or household shrine or during visits to a shrine, temple or church; regular grave visits, death anniversary ceremonies and other such memorials.

(平均、1～6、数値の高いほど高頻度)

ID	JP	KR	PH	TH	TW	VN
3.51	2.93	2.66	2.29	2.91	2.72	3.04

C08 Do you think your children or descendants will hold memorials or services for you in the future after your passing? Here memorials refer to praying at a Buddhist altar or household shrine or during visits to a shrine, temple or church; regular grave visits, death anniversary ceremonies and other such memorials.

(平均、1～5、数値の高いほど高期待)

ID	JP	KR	PH	TH	TW	VN
4.36	2.52	2.68	4.27	4.32	2.83	4.28

R Risk and Social Safety Network

R01 When did your household experience the following things *latest*?

(平均、1~5、数値の高いほど高頻度)

	ID	JP	KR	PH	TH	TW	VN
(a) Threatened livelihood due to unemployment or low income of household members	2.01	2.03	2.93	3.25	2.62	2.12	2.28
(b) Threatened livelihood due to unemployment or low income due to illness or injury of household members	1.53	1.59	2.32	3.13	1.98	1.91	2.55
(c) Food insecurity	1.38	1.26	1.58	2.60	1.30	1.36	1.36
(d) Threatened access to safe water	1.48	1.29	1.49	2.29	1.31	1.52	1.47
(e) Threatened life due to poor means of transportation or road conditions, traffic accidents	1.28	1.52	1.86	2.57	2.03	1.59	1.50
(f) War or armed conflict	1.04	1.09	1.27	1.71	1.19	1.18	1.14
(g) Political oppression, denying of human rights	1.07	1.15	1.50	1.88	1.31	1.32	1.09
(h) Someone in your household got involved in a crime	1.05	1.21	1.39	1.29	1.14	1.23	1.06
(i) Someone in your household been a victim of corruption such as demanded a bribe from civil servants	1.10	1.09	1.32	1.31	1.18	1.19	1.06

R02 What people or organizations do you rely upon to help you deal with your personal daily problems and concerns (unemployment, low income, sickness, old age, everyday surroundings, etc.)?

(平均、1~5、数値の高いほど高信頼)

	ID	JP	KR	PH	TH	TW	VN
(a) Local government office	2.55	2.65	2.16	3.13	2.75	2.01	2.87
(b) School, hospital or other public facilities	3.45	2.79	2.68	3.43	3.42	2.26	3.18
(c) Police	2.97	2.71	2.40	3.26	2.44	2.11	2.78
(d) Firefighting organizations	3.03	2.7	2.73	3.55	2.49	2.10	2.14
(e) Armed forces	2.89	2.49	2.12	3.36	2.28	1.72	2.17
(f) Political parties and politicians	1.96	1.89	1.60	2.96	1.63	1.56	2.64
(g) Regional groups (neighborhood association, etc.)	3.71	2.24	1.98	3.24	3.40	1.91	2.68
(h) Volunteers, NPOs, civic groups, etc.	2.58	2.22	2.19	3.36	2.41	2.03	2.13
(i) Temple, church or other religious group	3.57	1.89	2.27	3.81	2.63	2.04	2.04
(j) Employer	2.42	2.20	2.28	3.59	1.76	2.17	2.17

(k) Co-workers	3.05	2.30	2.53	3.47	2.13	2.25	2.42
(l) Neighbors	3.50	2.27	2.17	3.37	3.29	1.99	3.25
(m) Close family	4.48	3.87	3.82	4.03	4.49	3.40	4.16
(n) Relatives	4.16	3.02	2.86	4.05	4.08	2.56	3.74
(o) Friends and acquaintances	3.36	2.97	3.05	3.52	3.24	2.73	3.40

R03 Do you think that your neighbors can solve their disputes (trash disposal, noise, sunlight blockage, etc.) internally within the community?

(平均、1~5、数値の高いほど高機能)

ID	JP	KR	PH	TH	TW	VN
4.06	2.73	2.91	3.53	3.16	3.10	3.76

R05 Which of the following large disasters or damages apply in the following questions?

(選択率、%)

	ID	JP	KR	PH	TH	TW	VN
(a) Disasters or damage you have personally experienced:							
Typhoon, flood, severe cold, severe heat, etc.	31.9	48.8	42.0	87.2	65.5	44.6	57.7
Earthquake, volcanic eruption, landslide, etc.	29.0	47.7	6.4	57.6	8.2	33.4	0.3
Epidemic or endemic disease, insect or bird damage, etc.	7.8	3.9	15.8	13.8	18.7	17.5	11.3
Air pollution, water pollution, noise and vibrations, offensive odors, ground subsidence, etc	25.8	9.9	24.0	23.0	38.5	22.0	15.0
Industrial injury or accident at factory, work site, etc.	7.2	3.7	8.3	4.0	23.0	6.2	6.1
Accident in train, bus, airplane, boat, etc.	18.0	9.1	10.1	5.2	9.6	15.5	25.8
War, etc.	3.8	0.3	1.8	4.4	4.7	0.3	5.5
Accident due to sloppy design or construction, unfair administrative actions, groundless rumors, etc.	15.8	1.5	6.8	4.0	4.5	5.7	1.2
None of the above	34.0	35.3	41.7	--	--	38.6	26.3
(b) Experiences on these is handed down in the city or town in which you reside:							
Typhoon, flood, severe cold, severe heat, etc.	42.2	23.5	37.3	93.9	81	60.9	60.3
Earthquake, volcanic eruption, landslide, etc.	32.4	18.8	4.9	71.1	13.1	46.2	0.4
Epidemic or endemic disease, insect or bird damage, etc.	13.8	1.4	14.2	39.6	48.3	22.5	18.2
Air pollution, water pollution, noise and vibrations, offensive odors, ground subsidence, etc	29.4	3.2	17.8	39.1	60.8	31.3	15.7
Industrial injury or accident at	13.4	1.6	7.9	20.1	47.4	9.7	6.5

factory, work site, etc.							
Accident in train, bus, airplane, boat, etc.	25.3	2.3	9.3	21.3	42.8	21.6	46.4
War, etc.	14.4	4.1	0.8	16.2	17.1	0.3	7.6
Accident due to sloppy design or construction, unfair administrative actions, groundless rumors, etc.	19.4	0.9	5.1	18.0	31.7	8.7	1.5
None of the above	28.6	64.8	48.1	--	--	25.4	19.5

R06 Which people or groups would you rely upon if a large natural disaster or accident occurred in your residential area?

(平均、1~5、数値の高いほど高信頼)

	ID	JP	KR	PH	TH	TW	VN
(a) Local government office	3.38	3.25	2.86	3.59	3.32	2.98	3.44
(b) School, hospital or other public facilities	3.85	3.20	3.16	3.75	3.54	3.00	3.39
(c) Police	3.52	3.24	3.02	3.44	2.80	3.09	3.35
(d) Firefighting organizations	3.64	3.41	3.42	3.68	3.12	3.22	2.76
(e) Armed forces	3.43	3.44	2.75	3.51	2.80	2.75	2.76
(f) Political parties and politicians	2.25	2.13	1.80	3.14	1.86	2.04	3.04
(g) Regional groups (neighborhood association, etc.)	4.01	2.87	2.55	3.45	3.70	2.85	3.11
(h) Volunteers, NPOs, civic groups, etc.	3.14	2.85	2.87	3.61	2.75	3.02	2.56
(i) Temple, church or other religious group	3.87	2.17	2.66	3.92	2.81	2.62	2.36
(j) Employer	2.52	2.26	2.31	3.57	1.82	2.33	2.33
(k) Co-workers	2.98	2.33	2.56	3.44	2.23	2.45	2.61
(l) Neighbors	3.90	2.86	2.66	3.44	3.49	2.60	3.57
(m) Close family	4.48	3.92	4.03	4.09	4.57	3.68	4.25
(n) Relatives	4.25	3.24	3.23	4.11	4.21	3.07	3.91
(o) Friends and acquaintances	3.50	3.14	3.34	3.61	3.41	3.09	3.53

B. シンポジウム・コンファレンス・セミナーのプログラム

Symposium 1

ソーシャル・ウェルビーイングと経済発展

Date: 2014年12月6日(土) 14:00 - 17:30
Venue: 専修大学 神田キャンパス 7号館3階 731教室
Language: English and Japanese
総合司会: 金井雅之(専修大学)

問題提起 14:00 - 14:15

原田博夫(専修大学)

基調講演 14:15 - 15:15

Well-being and the Shadow Economy

Friedrich Schneider (ヨハネス・ケプラー大学リンツ)

研究報告 15:30 - 16:50

東南アジア諸国における社会関係資本

村上俊介(専修大学)

川崎市における市民の地域意識とソーシャル・ウェルビーイング

神原理(専修大学)

災害からの復元力(レジリエンス)

大矢根淳(専修大学)

パス図解析から窺えるもの

丸茂雄一(専修大学)

質疑応答 16:50 - 17:30

閉会 17:30

Symposium 2

「幸福」をつくる政策

Date: 2015年11月28日(土) 12:30 - 17:40

Venue: 専修大学神田キャンパス7号館3階731教室

Language: Japanese

総合司会: 嶋根克己(専修大学)

シンポジウムの趣旨と問題提起 12:30 - 12:50

原田博夫(専修大学)

基調講演 12:50 - 14:20

ソーシャル・キャピタルと幸福度

小塩隆士(一橋大学)

幸福度をはかる

白石小百合(横浜市立大学)

研究報告 14:30 - 16:00

日本調査の概要と主な知見

矢崎慶太郎(専修大学)

ソーシャル・キャピタルとソーシャル・ウェルビーイング

金井雅之(専修大学)

幸福度と地域要因

鷺見英司(新潟大学)

パネルディスカッション 16:10 - 17:40

司会: 原田博夫(専修大学)

パネリスト: 小塩隆士(一橋大学)、白石小百合(横浜市立大学)、金井雅之(専修大学)、
鷺見英司(新潟大学)

Seminar 1

The First Project Seminar of International Consortium for Social Well-being Studies

Date: February 17-19, 2016
Venue: Fuji-Yamanakako Seminar House of Senshu University
Language: English

Day 1: February 17, 2016 (19:10 - 20:00)

Seminar Part 1 19:10 - 20:00

Opening address

Hiroo Harada (Senshu University)

Ice Breaking Session Including Self-Introduction

Day 2: February 18, 2016 (8:15 - 18:00)

Seminar Part 2 8:15 - 12:00

Presider: Takeko Inuma (Senshu University)

Reports on SWB Japan Survey and Discussion 8:15 - 10:15

Keitaro Yazaki, Masayuki Kanai, Hiroo Harada, Shunsuke Murakami, Takeko Inuma, Katsumi Shimane, Yuichi Marumo, Jun Oyane (Senshu University)

Report on SWB Korea Survey and Discussion 10:30 - 12:00

Jaeyeol Yee (Seoul National University)

Seminar Part 3 13:00 - 16:15

Presider: Juichi Inada (Senshu University)

Report on SWB Vietnam Survey and Discussion

Dang Nguyen Anh (Vietnam Academy of Social Sciences)

Social Well-being in Thailand and SWB in ASEAN Community

Surichai Wun'gao, Vithaya Kulsomboon, Surangrut Jumnianpol (Chulalongkorn University)

Seminar Part 4 16:45 - 18:00

Takeko Inuma (Senshu University)

Overall Discussion on SWB Surveys and Related Topics

Discussion on the Future of SWB Consortium

Symposium 3

Social Well-being in Asia: Empirical Evidences and Theoretical Perspectives

Date: 9:30 - 17:00, June 25, 2016
Venue: Senshu University Satellite Campus
Language: English
Presider: Takeko Inuma (Senshu University)

Opening Remark 9:30 - 9:40

Hiroo Harada (Senshu University)

Part 1: Analyses of Questionnaire Surveys in Japan, Korea, and Viet Nam 9:40 - 13:50

Survey Design and Descriptive Outcomes of Japanese Survey

Masayuki Kanai (Senshu University)

Social Well-being in Japan: Analysis from Relative Income Hypothesis

Hiroo Harada, Yasuhiro Tanaka (Senshu University), Eiji Sumi (Niigata University)

Discussion for Japanese Survey

Survey Design and Descriptive Outcomes of Korean Survey

Jaeyool Yee, Hyun-Chin Lim, Eun-Young Nam, Do-Kyun Kim, Ee-Sun Kim (Seoul National University)

Dimensions of Social Wellbeing and Determinants in Korea: Personal, Relational, and Societal Aspects

Hearan Koo, Jaeyool Yee, Eun-Young Nam, Ee-sun Kim (Seoul National University)

Discussion for Korean Survey

Survey Design and Descriptive Outcomes of Vietnamese Survey

Nghiem Thi Thuy (Vietnam Academy of Social Sciences)

Social Well-Being in Vietnam: Level and Determinants

Dang Nguyen Anh (Vietnam Academy of Social Sciences)

Discussion for Vietnamese Survey

Social Well-Being and Quality of Life in the Philippines: Trends and Patterns

Emma Porio (Ateneo de Manila University)

Social Well-being Research and Policy in Thailand

Surichai Wun'gao (Chulalongkorn University)

Social Well-being: A Sociological Perspective

Paulus Wirutomo (University of Indonesia)

Social Well-being Research and Policy in Indonesia

Iwan Gardono Sudjatmiko (University of Indonesia)

Conducting Large-Scale Survey Research in China: A Brief Introduction, as well as a pre-Report on the Preparation of SWB Survey in China

Yin Yue (Shanghai University of Finance and Economics)

Part 3: Social Well-being on Asian Countries

Panel Discussion

Hiroo Harada (Senshu University), Jaeyeol Yee (Seoul National University), Dang Nguyen Anh (Vietnam Academy of Social Sciences), Emma Porio (Ateneo de Manila University), Surichai Wun'gao (Chulalongkorn University), Paulus Wirutomo (University of Indonesia), Yin Yue (Shanghai University of Finance and Economics)

Closing Remark

Surichai Wun'gao (Chulalongkorn University)

Conference 1

Social Well-being and Sustainable Development Goals in Asia

Date: 9:00 - 17:00, March 9, 2017

Venue: Jacques Amyot Meeting Room, 4th Floor, Visid Prachuabmoh Building, Social Research Institute, Chulalongkorn University

Language: English

Morning Sessions 9:30 - 12:00

Presider: Takeko Inuma (Senshu University)

Opening Remarks 9:30-9:40

Prapart Pintobtang (Chulalongkorn University)

Reports on 2016 Social Well-being Survey in Thailand 9:40-10:40

Surangrut Jumnianpol (Chulalongkorn University)

Social Well-being in the Philippines: Indicators and Patterns 11:00 - 12:00

Emma E. Porio and Justin Charles G. See (Ateneo de Manila University)

Afternoon Sessions 13:30 - 17:30

Presider: Masayuki Kanai (Senshu University)

Quantitative Analyses of SWB Surveys in Japan, Korea, and Vietnam 13:30 - 15:00

Comparative Study of Social Well-being in Japan, Korea, and Vietnam

Jaeyoul YEE, Hearan KOO and Eesun KIM (Seoul National University)

Patterns of Social Support Networks in Korea, Japan, and Vietnam

Seokho KIM and Jaeun LIM (Seoul National University)

Social Well-being in Japan, Korea, and Vietnam: A Gender Perspective

Takeko Inuma (Senshu University)

Social Well-being and SDGs in Southeast Asia 15:20 - 16:50

Policies, Social Exclusion, and Social Wellbeing in Indonesia and Malaysia

Francisia SSE Seda (University of Indonesia)

Post-conflict Development and Social Well-being: A Comparative Study of Cambodia and Timor Leste

Juichi Inada (Senshu University)

Social Well-being and Indonesian Mental Revolution

Paulus Wirutomo, Daisy Indira Jasmine, and Riena Julianisa (University of Indonesia)

Closing Remark 16:50 - 17:00

Hiroo Harada (Senshu University)

SWB Consortium Business Meeting 17:00 - 17:30

Presider: Masayuki Kanai (Senshu University)

Symposium

Social Well-being and SDGs in Asia: A Research-Policy Agenda

Date: 9:00 - 16:30, March 10, 2017

Venue: Main Auditorium Room 801 (7th Floor) Chaloe Rajakumari 60 Building (Chamchuri 10), Chulalongkorn University

Language: English

Morning Sessions 9:00 - 12:00

Moderator: Chantana Banpasirichote Wungao (Chulalongkorn University)

Opening remarks 9:00 - 9:20

Bundhit Eua-arporn (President, Chulalongkorn University)

Keynote Address 9:20 - 10:00

From SDGs to Social Wellbeing: Policy-Knowledge Linkages

Hans van Willenswaard (School for Wellbeing Studies and Research)

Video

Naoyuki Yoshino (The Asian Development Bank Institute and Keio University)

SDGs and Well-being in East and Southeast Asia: Engaging Stakeholders 10:15 - 12:00

SDGs and Social Well-Being in Asia: Implications for Knowledge Mobilization and Monitoring Progress

Emma E. Porio (Ateneo de Manila University)

Authoritarian State, Developmental Model and Social Welfare: A Comparative Analysis of Indonesia, Singapore, and Malaysia

Iwan Gardono Sujatmiko, Ganda Upaya, Indera Pattinasarany, Jauharul Anwar, Adrianus Jebatu, Surya Adiputra (University of Indonesia)

Youth, Well-being and Achieving the SDGs in East and Southeast Asia
Marco Roncarati (UNESCAP)

Benchmarking Child Well-being Indicators and SDGs in Malaysia - A Case Study
Victor Karunan (UNICEF Malaysia)

Afternoon Sessions 13:00 - 16:30

Moderator: Ratchada Jayagupta (Chulalongkorn University)

Keynote Address 13:00 - 13:40

From Wealth to Well-being: Economics as if Life Mattered

Apichai Puntasen (Rangsit University and Thailand Rural Reconstruction Movement: Foundation under Royal Patronage)

Well-being and SDGs, Death and Well-being: Connections and linkages 13:40 - 15:00

The Meaning of Social Bond with the Dead: How the Asians maintain the relationship with the Invisible People?

Katsumi Shimane (Senshu University)

Dying and Death in the Medicalised Thai Society

Pavika Sriratanaban (Chulalongkorn University)

Well-being and Well Dying: Reintegrating Life and Death for Sustainable Development

Narumon Hinshiranan (Chulalongkorn University)

Social Well-being and Multi-level Learning in East and Southeast Asia 15:15-16:00

Hiroo Harada (Senshu University), Surichai Wun'gaeo (Chulalongkorn University)

Closing Remark 16:00 - 16:30

Amara Pongsapich (Chulalongkorn University)

Conference 2

Social Well-being in the Context of Regional Integration: Searching for a Joint ASEAN Model

Date: 8:45 - 17:00, October 12, 2017

Venue: Meeting Room 3D (Level 3), 1 Lieu Giai, Hanoi, Vietnam Academy of Social Sciences

Language: English

Welcome remarks 8:45 - 9:00

Dang Nguyen Anh (Vietnam Academy of Social Science)

Hiroo Harada (Senshu University)

Session 1: Evaluation of Societies and Well-being 9:00 - 10:30

Chair: Masayuki Kanai (Senshu University)

Do Perceived Ingredients of Success Matter for the Well-being of Society? An Empirical Investigation

Hearan Koo (Seoul National University)

Social Unfairness and Life Satisfaction: The Findings from 2017 SWB Taiwan Survey

Yi-fu Chen (National Taipei University)

Search for Individual (and Collective) Evaluation on a Status of Society as an Outcome of Public Policy: Normative Criteria and Perceived Facts about Equality and Economic Growth

Koji Yamamoto (Hylab LLP)

Session2: Structure of Happiness and Relative Comparisons 10:45 - 12:15

Chair: Iwan Gardono Sujatmiko (University of Indonesia)

Are Happiness and Unhappiness Two Sides of the Same Coin?: A Case in Japan

Jun Kobayashi (Seikei University), Carola Hommerich (Hokkaido University)

Well-being in a Japanese Survey: From the Relative Income Hypothesis

Hiroo Harada (Senshu University), Eiji Sumi (Niigata University)

The Impact of Social Comparisons on Subjective Well-being: Cross-National Analyses of SWB Survey Data in Japan, Korea, Vietnam, the Philippines, and Thailand

Masayuki Kanai (Senshu University)

Special Session 1: Harmonizing SWB Data for Publication

13:30 - 14:45

Chair: Koji Yamamoto (Hylab LLP)

Harmonization of SWB Survey Data: Practical Guide for Data Cleaning and Utilization for Comparative Analysis

In Chol Shin and Jaeyeol Yee (Seoul National University)

Practical Issues in Data Processing of SWB Data

Keitaro Yazaki (Senshu University)

Special Session 2: Well-being Surveys in Mongolia

15:00 - 16:00

Chair: Hiroo Harada (Senshu University)

Social Cohesion and Subjective Well-Being Survey in Mongolia

Dolgion Aldar (the Independent Research Institute of Mongolia; IRIM)

Business Meeting

16:00 - 17:00

Chair: Masayuki Kanai (Senshu University)

Symposium

Social Well-being in the Context of Regional Integration: Searching for a Joint ASEAN Model

Date: 9:00 - 17:00, October 13, 2017

Venue: Meeting Room 3D (Level 3), 1 Lieu Giai, Hanoi, Vietnam Academy of Social Sciences

Language: English

Opening remarks

9:00 - 9:40

Dang Nguyen Anh (Vice President, Vietnam Academy of Social Sciences)

Hiroo Harada (Senshu University)

Video shows

Naoyuki Yoshino (Asia Development Bank Institute)

Tsuyoshi Yoshiwara (The Johnan Shinkin Bank)

Session 1: Regional Integration, Social Welfare, and Social Well-being

10:00 - 11:30

Chairs: Takeko Inuma (Senshu University) and Dang Nguyen Anh (Vietnam Academy of Social Sciences)

Social Determinant of Well-being: A Case Study of Thailand

Surichai Wun'gao and Surangrut Jumnianpol (Chulalongkorn University)

Social Welfare Policy, Socioeconomic Development, and Social Well-being: A Comparative Analysis of Indonesia, Malaysia, Thailand, The Philippines and Vietnam.

Iwan Gardono Sudjatmiko, Indera Ratna Irawati Pattinasarany, Lidya Triana Aly, Roy Ferdy, Gunawan, Tiara Wahyuningtyas, Rangga Ardan Rahim (University of Indonesia)

Strengthening Social Welfare Policy for Development: Opportunities and Challenges for ASEAN Countries

Dang Nguyen Anh (Vietnam Academy of Social Sciences)

Discussion 11:30 - 12:00

Session 2: Development Models and Regional Integration in ASEAN 13:30 - 14:45

Chairs: Nguyen Huy Hoang (Vietnam Academy of Social Sciences) and Surichai Wun'gao (Chulalongkorn University)

The Impact of Chinese Aid and Its Development Model: A Case of Cambodia and its Implications for ASEAN

Juichi Inada (Senshu University)

ASEAN integration and Development under the Rise of China

Le Kim Sa (Vietnam Academy of Social Sciences)

Development Cooperation for CLMV: Regional Integration and the Pursuit of Equitable Development

Takeko Inuma (Senshu University)

Discussion 14:45 - 15:15

Session 3: Transformation in Southeast and East Asian Societies 15:30 - 16:30

Chairs: Hearan Koo (Seoul National University) and Nguyen Duc Vinh (Vietnam Academy of Social Sciences)

Changes in the Viewpoint for the Development of Vietnam in Japan

Shunsuke Murakami (Senshu University)

Social Policy, Social Exclusion, and Social Wellbeing In The Context of Southeast Asia: A Case Study of Papua, Indonesia

Francisia SSE Seda, Lugina Setyawati, Yosef Hilarius Timu Pera, Rika Febriani, and Pebriansyah (University of Indonesia)

Ancestor Worship and Subjective Well-being: Cross-national Comparison between East and Southeast Asian Countries

Katsumi Shimane and Masayuki Kanai (Senshu University)

Discussion

16:30 - 16:45

Closing remark & Invitation to the next Conference

16:45 - 17:00

Dang Nguyen Anh (Vietnam Academy of Social Sciences)

Iwan Gardono Sujatmiko (University of Indonesia)

Conference 3

Social Well-Being, Social Policy, and Social Transformation

Date: March 4-5, 2018
Venue: Magelang, Plataran Hotel & Convention Center, Indonesia
Language: English

Day 1: March 4, 2018 (9:00 - 17:00)

Opening Remark 09:00 - 09:15

Paulus Wirutomo (University of Indonesia)

Hiroo Harada (Senshu University)

Naoyuki Yoshino (Asian Development Bank Institute; video message)

Special Session: Social Well-being Survey in Indonesia 9:15 - 10:30

Chair: Jaeyeol Yee (Seoul National University)

2017 SWB Survey in Indonesia

Paulus Wirutomo, Iwan Gardono Sudjatmiko, Francisia SSE Seda, Lugina Setyawati, Evelyn Suleeman, Daisy Indira Yasmine, Yosef Hilarius Timu Pera, and Roy Ferdy Gunawan (University of Indonesia)

Session 1: Social Capital and Social Exclusion 10:45 - 12:15

Chair: Hsiu-Jen Yeh (National Chung-Cheng University)

Happiness and Social Capital in Contemporary Japan: Study of Lifestyle and Values Using the Relative Income Hypothesis

Hiroo Harada (Senshu University) and Eiji Sumi (Niigata University)

How Social Diversity Affects Individual Well-being?: Conflicting Effects of Social Curiosity and Community Activity

Keitaro Yazaki (Senshu University)

Gender, Social Capital and Well-Being: Building Adaptive Capacities and Climate Resilience in Disaster Prone Communities in the Philippines

Emma Porio and Justin See (Ateneo de Manila University)

Session 2: Social Network and Measurement

13:15 - 14:15

Chair: Emma Porio (Ateneo de Manila University)

How Social Capital Counts in a Healthy Life: The Case of Taiwan

Hsiu-Jen Yeh (National Chung-Cheng University)

Search for Collective Preference on Statuses of Society: Aggregating Individual Evaluations Based on Equality and Economic Growth

Koji Yamamoto (Hylab LLP)

Session 3: Structure of Social Well-Being

14:30 - 16:00

Chair: Iwan Gardono Sudjatmiko (University of Indonesia)

How Does Social Capital Affect the Relationship between Economic Affluence and Subjective Well-Being?

Hiroko Osaki (Tokyo Institute of Technology)

Dimensions of Social Well-Being among Asian Countries: Personal, Relational, and Societal Aspects

Jaeyool Yee, In-Cheol Shin, Hearan Koo, and Sang-Hee Park (Seoul National University)

Social Well-Being and SDGs: Learning for Inclusive Policy-Making in Southeast Asia

Surichai Wun'gao (Chulalongkorn University)

Business Meeting

16:15 - 17:00

Chair: Masayuki Kanai (Senshu University)

Day 2: March 5, 2018 (9:00 - 17:00)

Plenary Session

9:00 - 09:45

Keynote Speaker: Prof. Dr. Paulus Wirutomo (University of Indonesia) and Wiwin Widi (BAPPEDA Central Java)

Parallel Session 4a: Family in Transition

10:00 - 11:30

Chair: Jun Kobayashi (Seikei University)

Transformation of the Family and Funeral System during Modernization

Katsumi Shimane (Senshu University)

The Image of Happy Family among Undergraduate Students

Evelyn Suleeman (University of Indonesia)

Parallel Session 4b: Development and Well-Being

10:00 - 11:30

Chair: Dolgion Aldar (Independent Research Institute of Mongolia)

Model of Village Conservation: A 'Distorted' Social Transformation? Case Study: MKK Sukagalih, Cipeteuy Village, Halimun Salak National Park Corridor, Sukabumi
Sulastri Sardjo (University of Indonesia)

Leisure, Liberalism, and Socio-Economic Life: The Social Changing in Depok City
Ricardi S. Adnan (University of Indonesia)

Parallel Session 5a: Well-Being of Children

12:30 - 14:00

Chair: Keitaro Yazaki (Senshu University)

Safeguarding Children's Well-Being: The Case of Jidokan (children's hall) in Urban Japan
Raphaella Dewantari Dwianto (University of Indonesia)

Child Protection in Parent's Perspective
Endry Fatimaningsih (University of Indonesia)

Parallel Session 5b: Corruption, Democracy, and Support Networks

12:30 - 14:00

Chair: Koji Yamamoto (Hylab LLP)

Academic Corruption and Quality Assurance Policies
Kamanto Sunarto (University of Indonesia)

Social Poverty in Two Extreme Cases in Manggarai - East Nusa Tenggara Province
Robert M. Z. Lawang (University of Indonesia)

Do Social Support Networks Improve Happiness?
Seokho Kim (Seoul National University)

Session 6: Happiness in Indonesia

14:15 - 15:15

Chair: Francisia SSE Seda (University of Indonesia)

Happiness in a word: Text mining analyses of open-ended data in Indonesia and Japan
Jun Kobayashi (Seikei University) and Carola Hommerich (Hokkaido University)

Inequality and happiness in Indonesia
Indera Ratna Irawati Pattinasarany (University of Indonesia)

Chair: Surichai Wun'gao (Chulalongkorn University)

A Growing Trend in the Effect of Downward Mobility on Life Satisfaction in Japan

Masayuki Kanai (Senshu University)

Understanding Subjective Well-Being of the Poor in Post-Communist Mongolia

Bold Tsevegдорж, Долгion Aldar, and Byambasuren Yadmaa (Independent Research Institute of Mongolia)

Closing Remarks and Invitation to the Next Conference

16:30 - 17:00

Paulus Wirutomo (University of Indonesia)

Hiroo Harada (Senshu University)

Jaeyeol Yee (Seoul National University)

Conference 4

Social Well-Being in the Asian Context: From a Comparative Perspective

Date: June 29-30, 2018
Venue: SNUAC, Seoul National University
Language: English

Day 1: June 29, 2018 (9:00 - 17:15)

Opening remarks 9:00 - 9:20

SooJin Park (SNUAC director, Seoul National University)
Hyun-Chin Lim (Chairman, The Academy of Korean Studies),
read by Suk-Ki Kong (SNUAC, research fellow)
Hiroo Harada (Senshu University)

Session 1: Social Transformation and Social Well-being 9:20 - 10:45

Chair: Paulus Wirutomo (University of Indonesia)
Discussion: Suk-Ki Kong (SNUAC, research fellow)

Social Well-being, Development, and Multiple Modernities in Asia
Jaeyeol Yee (Seoul National University)

Understanding Nature of Social Wellbeing in Light of the Modernization
Batsugar Tsedendamba, Bold Tsevegdorj, Byambasuren Yadmaa, Dashzeveg Lkhagvanorov
(Independent Research Institute of Mongolia)

Inequality, Social Well-Being and the SDGs in Thailand and the region
Surichai Wun'gao (Chulalongkorn University)

Session 2: Detecting Social Well-Being in Asia 11:05 - 12:30

Chair: Ming Chang Tsai (Academia Sinica)
Discussion: Kyunghye Choi (SNUAC, research fellow)

Religion and Happiness (A comparison of Japan and Korea with Thailand and Indonesia)
Iwan Gardono Sujatmiko, Roy Ferdy Gunawan, Lidya Triana Aly, Tiara Wahyuningtias, Rangga
Ardan Rahim (University of Indonesia)

The Paradox of Relational Well-Being: Comparative Study between Southeast and East Asian Countries

Francisia SSE Seda, Lugina Setyawati Setiono, Yoseph Hilarius Timu Pera, Rika Febriani, Kevin Nobel Kurniawan, Muhammad R. Damm (University of Indonesia)

Happiness and Relative Income Hypothesis in Contemporary Japan: Study of Lifestyle and Values

Hiroo Harada, (Senshu University), Eiji Sumi, (Niigata University)

Session 3: Fairness, Inequality, and Well-being

14:00 - 15:25

Chair: Dang Nguyen Anh (Vietnamese Academy of Social Sciences)

Discussion: Bongoh Kye (Kookmin University, Dept. of Sociology)

Structure of Perceived Domain Unfairness and Its Impact on Subjective Wellbeing: Cross-National Comparison between Seven Asian Societies

Masayuki Kanai (Senshu University), Yi-fu Chen (National Taipei University)

Is Well-being Equal or Unequal?: Causes of Happiness, Satisfaction, and Health in Asian Societies

Jun Kobayashi (Seikei University), Dolgion Aldar (Independent Research Institute of Mongolia)

Is Japan a Fair and Equal Society? Findings and Interpretations from a Public Opinion Approach

Ming Chang Tsai (Academia Sinica)

Session 4: From Knowledge to Policy

15:45 - 17:10

Chair: Surichai Wun'gao (Chulalongkorn University)

Discussion: Suhong Chae (SNU, Dept. of Anthropology)

Social Well-Being and Social Inclusion in Viet Nam: Evidence from a Nationwide Survey

Dang Nguyen Anh (Vietnamese Academy of Social Sciences)

Social Capital and Well-Being: Interrogating Vulnerability, Adaptive Capacities and Resilience in Disaster Prone Communities in the Philippines

Emma Porio (Ateneo de Manila University), Justin See (University of La Trobe) and Arjay Dineros (Ateneo de Manila University)

Multiple Ways to Improve Life Satisfaction in Asian Countries

Hearan Koo (SNU), Dong-Kyun Im (University of Seoul), and Sang-hee Park (SNU)

Closing

17:10 - 17:15

Day 2: June 30, 2018 (9:00 - 16:10)

Session 5: Death, Fear, Suicide and Well-Being

9:00 - 10:25

Chair: Jaeyeol Yee (Seoul National University)

Discussion: Beop-rae Roh (Center for Social Sciences, SNU, researcher)

Death, Dying and Social Well-being in Society; A Comparative Study in East and Southeast Asia

Katsumi Shimane (Senshu University)

What is the Causes of the Shadow of Coming War?

Kiyohisa Shibai (Joint Support-Center for Data Science Research (DS) / Institute of Statistical Mathematics)

Authorities of Unhappiness: Networks, Actors and Policy on Suicide Prevention in 8 Asian Hyperlinked Societies

Fadlan Khaerul Anam (University of Indonesia)

Session 6: Social Capital and Well-Being

10:45 - 12:10

Chair: Emma Porio (Ateneo de Manila University)

Discussion: Joon Han (Yonsei University, Dept. of Sociology)

Sympathy or Tolerance? Comparison of the Effect of Generalized Trust on Well-being in Asian Countries.

Keitaro Yazaki (Senshu University)

Comparative Analysis of the Effects of Income and Trust on Happiness in Asian Countries

Hiroko Osaki (University of Tokyo)

The Effects of Support Networks on Subjective-Wellbeing in Asian Countries

Seok-ho Kim (Seoul National University)

Session 7: Context Matters: Linking Micro and Macro

13:30-14:55

Chair: Hiroo Harada (Senshu University)

Discussion: Yun-Suk Lee (University of Seoul, Dept. of Urban Sociology)

The Condition of Societal Well-Being: a Comparison between Indonesia and South Korea

Paulus Wirutomo, Evelyn Suleman, Daisy Indira Yasmine, Riena J. Surayuda (University of Indonesia)

Happiness and Life Satisfaction among East and Southeast Asian Countries

Indera Ratna Irawati Pattinasarany (University of Indonesia)

Self-Reliant Taiwanese: Peculiarity, Characteristics, and Consequences

Yow-Suen Sen (National Taipei University)

Business Meeting

15:15 - 16:00

Chair: Masayuki Kanai

Closing Remarks and Invitation to Tokyo Conference

16:00 - 16:10

Jaeyeol Yee (Seoul National University)

Hiroo Harada (Senshu University)

Conference 5

Balancing the Outcomes of Globalization: Roles of Social Well-Being

Date: November 23-24, 2018
Venue: Hall *Sōyoku*, Building 3, Ikuta Campus, Senshu University, Kawasaki
Language: English

Day 1: November 23, 2018 (9:40 - 17:00)

Opening Remarks 9:40 - 10:00

Hiroo Harada (Senshu University)
Shigeto Sasaki (President, Senshu University)

Session 1: Economic Growth and Inequality 10:00 - 11:30

Presider: Takeko Iinuma (Senshu University)

Well-Being Inequality: Comparative Analyses of East and Southeast Asia

Jun Kobayashi (Seikei University) and Dolgion Aldar (Independent Research Institute of Mongolia)

Social Well-Being in Indonesia: Across Two Different Episodes of Economic Growth and Income Inequality

Indera Ratna Irawati Pattinasarany (University of Indonesia)

Social Well-Being and Inclusive Growth in Viet Nam

Nghiem Thi Thuy (Vietnam Academy of Social Sciences)

Session 2: Regional and Intergenerational Inequality 12:30 - 14:00

Presider: Xu Yirui (Senshu University)

Comparative Analysis of Income and Happiness between in Japan and Korea: Study of Lifestyle and Values

Hiroo Harada (Senshu University) and Eiji Sumi (Niigata University)

Social Well-Being, Fairness of Treatment and Inequality in Urban-Rural Philippines

Emma E. Porio and Noralene Uy (Ateneo de Manila University)

Development and Social Mobilization: Intergenerational Class Mobility and Subjective Social Well-being in Asia

Surangrut Jumnianpol, Montakarn Chimmamee, Surichai Wun'gaeo (Chulalongkorn University)

Presider: Jun Oyane (Senshu University)

The Findings from Mongolia's Subjective Well Being Survey 2017: Mining Sector Trust Level in Mongolian Gobi Region

Bold Tsevegdorj, Byambasuren Yadmaa, Dashzeveg Lkhagvanorov (Independent Research Institute of Mongolia)

Structural Problems Faced by Local Community Organization in Improving Social Well-Being

Daisy Indira Yasmine, Riena J. Surayuda, Evelyn Suleeman, Paulus Wirutomo (University of Indonesia)

New Means for Achieving Happiness: Hajj Saving in East Javanese Moslems and Funeral Insurance in Balinese Hindu

Iwan Gardono Sujatmiko, Roy Ferdy Gunawan, Tiara Wahyuningtyas, Rangga Ardan Rahim (University of Indonesia)

Business Meeting

16:10 - 17:00

Day 2: November 24, 2018 (9:00 - 17:00)

Session 4: New Perspectives for Well-Being Studies

9:00 - 10:00

Presider: Jaeyeol Yee (Seoul National University)

Strangers and Social Inclusion: A System-Theoretic Interpretation of Results from Social Well-being Survey

Keitaro Yazaki (Senshu University)

Social Psychological Anatomy of Social Well-being: A Need-Based Approach

Dong-Kyun Im (University of Seoul)

Session 5: Life Style and Family

11:00 - 12:00

Presider: Dolgion Aldar (Independent Research Institute of Mongolia)

Coreidence and happiness of single adults in Taiwan

Ying-Ting Wang (Yuan Ze University)

Homogamy and Quality of Family Life: A Comparative Study of Asian Societies

Ming-Chang Tsai (Academia Sinica)

Session 6: Religion and Well-Being in Comparative Perspectives

14:30 - 15:30

Presider: Iwan Gardono Sujatmiko (University of Indonesia)

Religion, Spirituality, and Wellbeing in Asian Societies: Comparative Analyses of Social Wellbeing Survey Data

Masayuki Kanai (Senshu University)

Unhappier God in Global Asia: Globalization, Religion and “Social Populicy” in Changing Happiness of 8 Asian Hyperlinked Societies

Fadlan Khaerul Anam (University of Indonesia)

Session 7: Social Function of Religion

15:50 - 16:50

Presider: Katsumi Shimane (Senshu University)

The Two Faces of Religion and Social Well-Being in Globalizing Indonesia

Evelyn Suleeman, Daisy Indira Yasmine, Riena J. Surayuda, Paulus Wirutomo (University of Indonesia)

Religious Capital and Relational Well Being in The Context of Globalization: A Comparative Study between Southeast Asian and East Asian Countries

Francisia S.S.E. Seda, Lugina Setyawati Setiono, Yosef Hilarius Timu Pera, Muhammad Damm, Kevin Nobel Kurniawan (University of Indonesia)

Closing Remark & Invitation to the 2019 Conference in Taipei

16:50 - 17:00

Hiroo Harada (Senshu University)

Ming-Chang Tsai (Academia Sinica)

Symposium
**アジアにおける「豊かさ」の新しい形：
ソーシャル・ウェルビーイングに着目して**

Date: 2018年11月25日(日) 10:00 - 18:00
Venue: 専修大学神田校舎 7号館 3階 731教室
Language: English and Japanese

総合司会：金井雅之（専修大学）

開会挨拶 10:00 - 10:15

原田博夫（専修大学）
日高義博（専修大学理事長）

基調講演 1 10:15 - 11:00

相対所得、相対意識と幸福度
大竹文雄（大阪大学大学院）

基調講演 2 11:15 - 12:00

ウェルビーイングの為のレッスン：ブータンにおける GNH を目指す教育哲学と実践を手がかりに
細田満和子（星槎大学）

発表 1 東南アジア諸国におけるソーシャル・ウェルビーイングの役割 13:30 - 14:30

ソーシャル・ウェルビーイングの視点で読み解く洞窟に閉じ込められた少年たちの救出劇
Surichai Wun'gao（チュラロンコン大学）

災害多発地区における社会関係資本、ジェンダー、そして社会基盤としての人間関係
Emma E. Porio（アテネオ・デ・マニラ大学）

持続可能な貧困削減
Dang Nguyen Anh（ベトナム社会科学院）

「精神革命」を通じたソーシャル・ウェルビーイングの改善
Paulus Wirutomo（インドネシア大学）

発表 2 北東アジア諸国におけるソーシャル・ウェルビーイングの役割 14:45 - 15:30

豊かさのパラドックスを超えて
Jaeyeol Yee（ソウル国立大学）

経済成長が終わるとき：台湾における「ささやかな幸せ」の追求

Ming-Chang Tsai（台湾中央研究院）

貧困と不平等を解決するために：モンゴルにおけるソーシャル・ウェルビーイングのための諸政策

Batsugar Tsedendamba（モンゴル独立研究所）

パネルディスカッション：豊かさのアジアモデルを目指して

15:50 - 17:50

司会：原田博夫（専修大学），嶋根克己（専修大学）

閉会挨拶

17:50 - 18:00

原田博夫（専修大学）

C. 論集の目次

C.1 英文論集 *The Senshu Social Well-being Review*

No. 1, 2015

Annual Report

Harada, Hiroo. 2015. "Raising Issues at the International Symposium 2014." *The Senshu Social Well-being Review* 1: 11-22.

Schneider, Friedrich. 2015. "GDP, Well-being, Happiness and the Shadow Economy: Some Results for Japan." *The Senshu Social Well-being Review* 1:23-42.

Articles

Harada, Hiroo. 2015. "The Great East Japan Earthquake and Fiscal Measures." *The Senshu Social Well-being Review* 1:45-68.

Marumo, Yuichi and Satoshi Kambara. 2015. "The Citizens' Perception of Community and Local Capabilities for Disaster Management in Kawasaki-shi: Results of Web-Based Questionnaire Analysis." *The Senshu Social Well-being Review* 1:69-104.

Kambara, Satoshi. 2015. "The Citizens' Perception of Community in Kawasaki City Centered around Community Association Members: Results of Questionnaire Survey Conducted through Voluntary Organizations for Disaster Management." *The Senshu Social Well-being Review* 1:105-25.

Kambara, Satoshi. 2015. "Community Changes and Social Capital : Organizing Issues based on Previous Studies." *The Senshu Social Well-being Review* 1:127-43.

Phuong, Dang Thi Viet. 2015 "Social Exchange and the Participation of Voluntary Associations in Lifecycle Events." *The Senshu Social Well-being Review* 1:145-55.

Research Notes

Murakami, Shunsuke. 2015. "The Social Capital of Vietnamese People in Germany." *The Senshu Social Well-being Review* 1:159-86.

Communications

Murakami, Shunsuke. 2015. "Introduction for discussion with Thai Colleagues." *The Senshu Social Well-being Review* 1:189.

Murakami, Shunsuke. 2015. "Commentary on Social Capital in Thailand: Unraveling the Myths of Rural-Urban Divide." *The Senshu Social Well-being Review* 1:191-93.

Wun' Gaeo, Surichai, Jumnianpol Surangrut, Charoenratana Sayamol, Nuangjamnong Nithi. 2015. "Reply to Murakami's Commentary on "Social Capital in Thailand :Unraveling the Myths of Rural-Urban Divide." *The Senshu Social Well-being Review* 1:195-97.

No. 2, 2016

Articles

- Harada, Hiroo. 2016. "The Significance and Availability of Happiness Study." *The Senshu Social Well-being Review* 2:9-39.
- Kanai, Masayuki. 2016. "Contextual Effects of Bridging Social Capital on Subjective Well-being." *The Senshu Social Well-being Review* 2: 41-50.
- Marumo, Yuichi. 2016. Empirical Analysis of Community Bonding Social Capital: Impacts in Emergency and Normal Times in Japan." *The Senshu Social Well-being Review* 2:51-83.
- Sumi, Eiji. 2016. "Subjective Well-being and Income Inequality." *Social Well-being Review* 2:85-98.
- Yazaki, Keitaro. 2016. "Basic Descriptive Statistics of Japan Social Well-being Survey." *The Senshu Social Well-being Review* 2:99-109.

No. 3, 2016

Articles

- Harada, Hiroo. 2016. "Happiness in Japan: From the Viewpoint of Age, Sex and Relative Wealthiness." *The Senshu Social Well-being Review* 3:1-17.
- Marumo, Yuichi. 2016. Visualization of Cognitive Process about Income Gap in Japan: Model Constructions Using SEM and Mutual Relations among Respondents' Attributes." *The Senshu Social Well-being Review* 3: 19-36.
- Koo, Hearan, Jaeyeol Yee, Eun Young Nam, and Ee Sun Kim. 2016. "Dimensions of Social Well-being and Determinants in Korea: Personal, Relational, and Societal Aspects." *The Senshu Social Well-being Review* 3:37-58.
- Yee, Jaeyeol, Hyun-Chin Lim, Eun Young Nam, Do-Kyun Kim, and Ee Sun Kim. 2016. "Survey Design and Descriptive Outcomes of Korean Survey." *The Senshu Social Well-being Review* 3:59-74.
- Sudjatmiko, Iwan Gardono, Indera Ratna Irawati, Pattinasarany, Ganda Upaya, and Risa Wardatun Nihayah. 2016. "Social Well-being Research and Policy in Indonesia." *The Senshu Social Well-being Review* 3:75-92.
- Wirutomo, Paulus. 2016. "Dealing with Brawls in Jakarta's Slum Area: Pursuing Social Development through Social Engagement." *The Senshu Social Well-being Review* 3:93-109.
- Oyane, Jun. 2016. "Community Reconstruction from Flooding in Quang Phuoc Commune, Central Vietnam." *The Senshu Social Well-being Review* 3:111-45.
- Suzuki, Naomi. 2016. "History and Forthcoming Challenges of Family Care Leave Related Systems in Japan." *The Senshu Social Well-being Review* 3:147-81.

Articles

- Kim, Seokho and Jaeun Lim. 2017. "Patterns of Social Support Networks in Japan and Korea." *The Senshu Social Well-being Review* 4: 3-19.
- Seda, Francisia SSSE, Lugina Setyawati, Yosef Hilarius Timu Pera, Timoti Tirta, and Pebriansyah. 2017. "Policies, Social Exclusion, and Social Wellbeing in Indonesia and Malaysia." *The Senshu Social Well-being Review* 4: 21-35.

Special Issue on 2017 ISA RC55 Mid-term Conference

- Mueller, Georg P. 2017. "Gender Inequality under Different National Welfare Regimes: An Empirical Evaluation with Entropy Measures from Information Theory." *The Senshu Social Well-being Review* 4: 39-51.
- Lelièvre, Eva, Sophie Le Coeur, Léonard Moulin, and Nicolas Robette. 2017. "Happiness, Health, and Well-Being in a Life Course Perspective: Quantitative Data Collection and Analysis of Sequences of Subjective Indicators." *The Senshu Social Well-being Review* 4: 53-64.
- Veenhoven, Ruut. 2017. "Happiness Research: Past and Future." *The Senshu Social Well-being Review* 4:65-73.

Commentaries

- Wun'gao, Surichai, Surangrut Jumnianpol, Nithi Nuangjamnong, Pinwadee Srisupan, and Montakarn Chimmamee. 2017. "Social Well-Being in Thailand 2016: Survey Report." *The Senshu Social Well-being Review* 4: 75-93.
- Porio, Emma and Justin See. 2017. "Social Well-Being in the Philippines: Indicators and Patterns." *The Senshu Social Well-being Review* 4: 95-116.
- Anh, Dang Nguyen. 2017. "Social Well-Being in Vietnam: Designing and Preliminary Results from a Sampling Survey." *The Senshu Social Well-being Review* 4: 117-23.

Articles

- Shibai, Kiyohisa. 2018. "Behind the Shadow of Coming War: An Experimental Test for Antiwar Sentiments." *The Senshu Social Well-being Review* 5: 3-19.
- Yazaki, Keitaro. 2018. "Sympathy or Tolerance? A Comparison of the Effects of Trusting Most People and Trusting Strangers in Asian Societies." *The Senshu Social Well-being Review* 5:21-36.
- Wirutomo, Paulus, Evelyn Suleeman, Daisy Indira Yasmine, and Riena J. Surayuda. 2018. "The Condition of Societal Well-Being: A Comparison of Indonesia and South Korea." *The Senshu Social Well-being Review* 5: 37-49.
- Osaki, Hiroko. 2018. "Does Trust Moderate the Effect of Relative Income on Happiness?" *The Senshu Social Well-being Review* 5: 51-61.
- Harada, Hiroo, and Eiji Sumi. 2018. "The Happiness and Relative Income Hypothesis in Contemporary Japan: A Study of Lifestyle and Values." *The Senshu Social Well-being Review* 5: 63-74.
- Kobayashi, Jun, and Dolgion Aldar. 2018. "Inequality of Well-being in Asia: A Comparative Analysis of Happiness in Eight Countries." *The Senshu Social Well-being Review* 5: 75-82.
- Seda, Francisia S.S.E., Lugina Setyawati Setiono, Yoseph Hilarius Timu Pera, Rika Febriani, Muhammad R. Damm, and Kevin Nobel Kurniawan. 2018. "The Paradox of Relational Well-Being: A Comparative Study of South-East and East Asian Countries." *The Senshu Social Well-being Review* 5: 83-91.
- Sudjtmiko, Iwan Gardono, Lidya Triana Aly, Roy Ferdy Gunawan, Tiara Wahyuningtyas, and Rangga Ardan Rahim. 2018. "Social Well-being, Religion, and Suicide: A Comparison of Japan and Korea with Thailand and Indonesia." *The Senshu Social Well-being Review* 5: 93-103.

Commentaries

- Tsai, Ming-Chang, Yow-Suen Sen, Yi-fu Chen, Tsui-o Tai, Hsiu-Jen Yeh, and Chin-Hui Liao. 2018. "International Comparative Survey on Lifestyle and Values: A Report on the Taiwan Survey." *The Senshu Social Well-being Review* 5: 105-16.
- Wirutomo, Paulus, Iwan Gardono Sudjtmiko, Francisia S.S.E. Seda, Lugina Setyawati, Evelyn Suleeman, Daisy Indira Yasmine, Yosef Hilarius Timu Pera, and Roy Ferdy Gunawan. 2018. "The Social Well-Being Survey in Indonesia." *The Senshu Social Well-being Review* 5: 117-35.

C.2 和文論集『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』

No. 1, 2015

論文

- 金井雅之, 2015, 「ソーシャル・ウェルビーイング研究の課題」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』1:7-22.
- 神原理, 2015, 「川崎市民の地域意識と生活満足度」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』1: 23-38.
- 李栄・宮川英一[訳], 2015, 「中国における幸福感の研究状況」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』1:39-47.

研究ノート

- 矢崎慶太郎, 2015, 「ウェルビーイングの一指標としての芸術」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』1: 51-61.
- 矢崎慶太郎, 2015, 「<翻訳資料>ジンメル『芸術展について』、ヴェーバー『技術と文化について』」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』1:63-77

活動記録

- 原田博夫, 2015, 「1. 2014 年度活動報告」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』1: 81-4.
- 2015, 「2. 国際シンポジウム (2014 年 12 月)」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』1: 85-178.
- 2015, 「3. 研究会開催」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』1:179-81.
- 2015, 「4. 研究活動 (国内)」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』1:182-83.
- 2015, 「5. 研究活動 (海外)」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』1:184-86.

No. 2, 2016

論文

- 原田博夫, 2016, 「『幸福』研究の意義と可能性」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』2:7-18.
- 小塩隆士, 2016, 「ソーシャル・キャピタルと幸福度: 理解をさらに深めるために」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』2:19-33.
- 白石小百合・白石賢, 2016, 「幸福の経済学: 現状と課題から次のステップへ」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』2:35-53.
- 稲田 十一, 2016, 「ベトナムにおけるソーシャル・セーフティネット(SSN) ——『共同体的扶助制度』と『市場化の波』の南北比較」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』2:55-73.

活動記録

- 原田博夫, 2016, 「1. 2015 年度活動報告」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』2:77-9.
- 原田博夫, 2016, 「2. シンポジウム(2015年11月28日) (シンポジウム, 「幸福」をつくる政策, 専修大学神田キャンパス7号館3階731教室, 2015年11月28日開催)」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』2:81-91.
- 2016, 「3. キャンプセミナー」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』2:93-5.
- 2016, 「4. 研究会開催」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』2:96-7.
- 2016, 「5. 研究活動(国内)」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』2:98-9.
- 2016, 「6. 研究活動(海外)」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』2:100-2.
- 2016, 「7. 学術連携」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』2:103.

No. 3, 2017

論文

- 矢崎慶太郎, 2017, 「信頼: 社会学の基礎前提とソーシャル・ウェルビーイング調査結果の検討」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』3:9-31.
- フリードリッヒ・シュナイダー/原田博夫[訳], 2017, 「GDP, ウェルビーイング, 幸福とシャドーエコノミー——日本についての考察」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』3:33-51.
- 金井雅之, 2017, 「日本・韓国・ベトナムにおける幸福度の比較——ソーシャル・ウェルビーイング研究の現場から(1)」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』3:53-67.

活動記録

- 原田博夫, 2017, 「1. 2016 年度活動報告」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』3:71-73.
- 2017, 「2. シンポジウム(2016年6月25日) (シンポジウム, アジアにおけるソーシャル・ウェルビーイング: アンケート調査を踏まえて, 専修大学サテライトキャンパス, 2016年6月25日開催)」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』3:75-86.
- 2017, 「3. コンファレンス」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』3:87-90.
- 2017, 「4. 研究会開催」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』3:91-2.
- 2017, 「5. 研究活動」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』3:93-4.
- 2017, 「6. 研究成果一覧(図書)・研究成果一覧(雑誌論文)・研究成果一覧(学会発表)」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』3:95-110.
- 2017, 「7. 学術連携」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』3:111.

論文

- 丸茂雄一, 2018, 「いくつかの論点におけるソーシャル・ウェルビーイングの日韓比較」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』4:9-29.
- 小林盾・カローラ ホメリヒ, 2018, 「どのような言葉が人を幸せにするのか——自由回答のテキスト・マイニング分析を用いた混合研究法アプローチ」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』4:31-47.
- 中村知子, 2018, 「<調査報告>2017年モンゴル国調査報告——都市開発, 社会福祉サービスの現状を中心に」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』4:49-64.
- 矢崎慶太郎, 2018, 「書評: ジンメル『カントの義務論と幸福論』——ソーシャル・ウェルビーイング調査への応用」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』4:65-72.
- ゲオルク・ジンメル/矢崎慶太郎[訳]・中林練[訳]「カントの義務論と幸福論」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』4:73-9.
- 金井雅之, 2018, 「<研究の現場から>相対的比較と幸福度: アジア7ヶ国・地域の比較」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』4:81-98.

活動記録

- 原田博夫, 2018, 「1. 2017年度活動報告」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』4:101-4.
- 2018, 「2. コンファレンス」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』4:105-30.
- 2018, 「3. 研究会開催」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』4:131-4.
- 2018, 「4. 研究活動」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』4:135-6.
- 2018, 「5. 研究成果一覧」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』4:137-63.
- 2018, 「6. 学術連携」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』4:165.

論文

- 丸茂雄一, 2019, 「日本人の職業満足度の決定要因」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』5:9-27.
- 小林盾・西村謙一・川端健嗣, 2019, 「主観的ウェル・ビーイングにおける美容資本の役割はなにか——2018年インドネシアの地方自治意識調査の計量分析」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』5:29-46.
- 矢崎慶太郎, 2019, 「社会的システム理論における社会的包摂——盲点の観察としての芸術と学問」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』5:47-65.
- 飯沼健子, 2019, 「「拡大ASEANにおける格差是正——域内協力か隣国協力か」」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』5:67-87.
- 原田博夫, 2019, 「ソーシャル・ウェルビーイング研究の意義——GDP指標へのチャレンジ」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』5:89-109.

活動記録

- 原田博夫, 2019, 「1. 2018 年度活動報告」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』
5.
- 2019, 「2. コンファレンス」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』5.
- 2019, 「3. 研究会開催」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』5.
- 2019, 「4. 研究活動」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』5.
- 2019, 「5. 研究成果一覧」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』5.
- 2019, 「6. 学術連携」『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』5.

D. 研究業績一覧

D.1. 雑誌論文

◎英語論文： 著者名, 刊行年, タイトル, 掲載誌名, 巻(号), 該当ページ.

◎日本語論文： 著者名, 刊行年, タイトル, 『掲載誌名』 機関名, 巻(号), 該当ページ.

◎氏名の下線は当センター研究員および国内外コンソーシアムメンバーを示す。

1. Anh, Dang Nguyen, 2017, “Social Well-Being in Vietnam: Designing and Preliminary Results from a Sampling Survey”, *The Senshu Social Well-being Review* 4: 117-23.
2. Harada, Hiroo, 2015, “The Great East Japan Earthquake and Fiscal Measures”, *The Senshu Social Well-being Review* 1: 45-68. [査読有]
3. Harada, Hiroo, 2015, “Raising Issues at the International Symposium 2014”, *The Senshu Social Well-being Review* 1: 11-22. [査読有]
4. Harada, Hiroo, 2016, “The Significance and Availability of Happiness Study”, *The Senshu Social Well-being Review* 2: 9-39. [査読有]
5. Harada, Hiroo, 2016, “Happiness in Japan: From the Viewpoint of Age, Sex and Relative Wealthiness”, *The Senshu Social Well-being Review* 3: 1-17. [査読有]
6. Harada, Hiroo and Eiji Sumi, 2018, “The Happiness and Relative Income Hypothesis in Contemporary Japan: A Study of Lifestyle and Values”, *The Senshu Social Well-being Review* 5: 63-74. [査読有]
7. Iinuma, Takeko, 2015, “Civicness in Question: The Case of Women’s Activities in Rural Vietnam”, *The Monthly Bulletin of Social Science* 624: 19-37.
8. Inada, Juichi, 2015, “Social Safety Net (SSN) in Vietnam: Comparative Analysis of Two Villages in the North and South in Terms of Community-Based Social Safety Net and the Market Economy Wave”, *The Monthly Bulletin of Social Science* 624: 38-54.
9. Kambara, Satoshi, 2015, “Community Changes and Social Capital: Organizing Issues Based on Previous Studies”, *The Senshu Social Well-being Review* 1: 127-43. [査読有]
10. Kambara, Satoshi, 2015, “The Citizens’ Perception of Community in Kawasaki City Centered around Community Association Members: Result of Questionnaire Survey Conducted through Voluntary Organizations for Disaster Management”, *The Senshu Social Well-being Review* 1: 105-25. [査読有]
11. Kanai, Masayuki, 2016, “Contextual Effects of Bridging Social Capital on Subjective Well-being”, *The Senshu Social Well-being Review* 2: 41-50. [査読有]
12. Kim, Seokho and Jaeun Lim, 2017, “Patterns of Social Support Networks in Japan and Korea”, *The Senshu Social Well-being Review* 4: 3-19. [査読有]
13. Kobayashi, Jun and Dolgion Aldar, 2018, “Inequality of Well-being in Asia: Comparative Analysis of Happiness in Eight Countries”, *The Senshu Social Well-being Review* 5: 75-82. [査読有]
14. Koo, Hwaran, Jaeyeol Yee, Eun Young Nam, and Ee Sun Kim, 2016, “Dimensions of Social Well-being and Determinants in Korea: Personal, Relational, and Societal Aspects”, *The Senshu Social Well-being Review* 3: 37-58. [査読有]
15. Lelièvre, Eva, Sophie Le Coeur, Léonard Moulin, and Nicolas Robette, 2017, “Happiness, Health, and Well-Being in a Life Course Perspective: Quantitative Data Collection and

- Analysis of Sequences of Subjective Indicators”, *The Senshu Social Well-being Review* 4: 53-64. [査読有]
16. Marumo, Yuichi and Satoshi Kambara, 2015, “The Citizens' Perception of Community and Local Capabilities for Disaster Management in Kawasaki-shi: Result of Web-Based Questionnaire Analysis”, *The Senshu Social Well-being Review* 1: 69-104. [査読有]
 17. Marumo, Yuichi, 2016, “Empirical Analysis of Community Bonding Social Capital—Impacts in Emergency and Normal Times in Japan—”, *The Senshu Social Well-being Review* 2: 51-83. [査読有]
 18. Marumo, Yuichi, 2016, “Visualization of Cognitive Process about Income Gap in Japan: Model Constructions Using SEM and Mutual Relations among Respondents’ Attributes”, *The Senshu Social Well-being Review* 3: 19-36. [査読有]
 19. Mueller, Georg P., 2017, “Gender Inequality under Different National Welfare Regimes: An Empirical Evaluation with Entropy Measures from Information Theory”, *The Senshu Social Well-being Review* 4: 39-51. [査読有]
 20. Murakami, Shunsuke, 2015, “The Social Capital of Vietnamese People in Germany”, *The Senshu Social Well-being Review* 1: 159-86. [査読有]
 21. Murakami, Shunsuke, 2015, “Introduction for discussion with Thai Colleagues Commentary on Social Capital in Thailand: Unraveling the Myths of Rural-Urban Divide”, *The Senshu Social Well-being Review* 1: 189-93. [査読有]
 22. Ohashi, Hideo, 2015, “China’ s External Economic Policy in Shifting Development Pattern”, *Public Policy Review* 11(1): 141-73. [査読有]
 23. Osaki, Hiroko, 2018, “Does Trust Moderate the Effect of Relative Income on Happiness?,” *The Senshu Social Well-being Review* 5: 51-61. [査読有]
 24. Oyane, Jun, 2016, “Community Reconstruction from Flooding in Quang Phuoc Commune, Central Vietnam”, *The Senshu Social Well-being Review* 3: 111-45. [査読有]
 25. Phuong, Dang Thi Viet, 2015, “Social Exchange and the Participation of Voluntary Associations in Lifecycle Events”, *The Senshu Social Well-being Review* 1: 145-55. [査読有]
 26. Porio, Emma and Justin See, 2017, “Social Well-Being in the Philippines: Indicators and Patterns”, *The Senshu Social Well-being Review* 4: 95-116.
 27. Schneider, Friedrich, 2015, “GDP, Well-being, Happiness and the Shadow Economy: Some Results for Japan”, *The Senshu Social Well-being Review* 1: 23-42. [査読有]
 28. Seda, Francisia S.S.E., Lugina Setyawati, Yosef Hilarius Timu Pera, Timoti Tirta, and Pebriansyah, 2017, “Policies, Social Exclusion, and Social Wellbeing in Indonesia and Malaysia”, *The Senshu Social Well-being Review* 4: 21-35. [査読有]
 29. Seda, Francisia S.S.E., Lugina Setyawati, Yosef Hilarius Timu Pera, Muhammad Damm, and Kevin Nobel Kurniawan, 2018, “The Paradox of Relational Well-Being: A Comparative Study of South-East and East Asian Countries”, *The Senshu Social Well-being Review* 5: 83-91. [査読有]
 30. Seda, Francisia S.S.E., Lugina Setyawati, Yosef Hilarius Timu Pera, Rika Febriani, and Pebriansyah, 2018, “Social Policies, Social Exclusion, & Social Well-being in South East

- Asia: A Case Study of Papua, Indonesia”, *Economics and Sociology* 11(3): 147-60. [査読有]
31. Shibai, Kiyohisa, 2018, “Behind the Shadow of Coming War: An Expeimental Test for Antiwar Sentiments”, *The Senshu Social Well-being Review* 5: 3-19. [査読有]
 32. Shimane, Katsumi, 2014, “Funeral Ceremony as an Embedded Social Capital”, *The Monthly Bulletin of Social Science* 613: 43-56.
 33. Shimane, Katsumi, 2018, “Các vấn đề về tang lễ hiện đại hóa: So sánh đối chiếu Việt Nam và Nhật Bản”, *Vietnam Review of Northeast Asian Studies* 3(205): 30-40. [査読有]
 34. Shimane, Katsumi, 2018, “Social bonds with the dead: how funerals transformed in the twentieth and twenty-first centuries”, *Philosophical Transactions of the Royal Society B: Biological Sciences* 373(1754): 1-7. [査読有]
 35. Sudjatmiko, Iwan Gardono, Indera Ratna Irawati Pattinasarany, Ganda Upaya, and Risa Wardatun Nihayah, 2016, “Social Well-being Research and Policy in Indonesia”, *The Senshu Social Well-being Review* 3: 75-92. [査読有]
 36. Sudjatmiko, Iwan Gardono, Lidya Triana Aly, Roy Ferdy Gunawan, Tiara Wahyuningtyas, and Rangga Ardan Rahim, 2018, “Social Well-being, Religion and Suicide: A Comparison of Japan and Korea with Thailand and Indonesia”, *The Senshu Social Well-being Review* 5: 93-103. [査読有]
 37. Sumi, Eiji, 2016, “Subjective Well-being and Income Inequality”, *The Senshu Social Well-being Review* 2: 85-98. [査読有]
 38. Suzuki, Naomi, 2016, “History and Forthcoming Challenges of Family Care Leave Related Systems in Japan”, *The Senshu Social Well-being Review* 3: 147-81. [査読有]
 39. Tsai, Ming-Chang, Yow-Suen Sen, Yi-fu Chen, Tsui-o Tai, Hsiu-Jen Yeh, and Chin-Hui Liao, 2018, “International Comparative Survey on Lifestyle and Values: A Report on the Taiwan Survey”, *The Senshu Social Well-being Review* 5: 105-16.
 40. Veenhoven, Ruut , 2017, “Happiness Research: Past and Future”, *The Senshu Social Well-being Review* 4: 65-73. [査読有]
 41. Wirutomo, Paulus , 2016, “Dealing with Brawls in Jakarta’s Slum Area: Pursuing Social Development through Social Engagement”, *The Senshu Social Well-being Review* 3: 93-109. [査読有]
 42. Wirutomo, Paulus, Evelyn Suleeman, Daisy Indira Yasmine, and Riena J. Surayuda, 2018, “The Condition of Societal Well-Being: A Comparison between Indonesia and South Korea”, *The Senshu Social Well-being Review* 5: 37-49. [査読有]
 43. Wirutomo, Paulus, Iwan Gardono Sudjatmiko, Francisia S.S.E. Seda, Lugina Setyawati, Evelyn Suleeman, Daisy Indira Yasmine, Yosef Hilarius Timu Pera, and Roy Ferdy Gunawan, 2018, “The Social Well-Being Survey in Indonesia”, *The Senshu Social Well-being Review* 5: 117-35.
 44. Wun’gao, Surichai, Surangrut Jumnianpol, Sayamol Charoenratana, and Nithi Nuangjamnong, 2015, “Reply to Murakami’s Commentary on “Social Capital in Thailand: Unraveling the Myths of Rural-Urban Divide””, *The Senshu Social Well-being Review* 1: 195-97. [査読有]

45. Wun'gao, Surichai, Surangrut Jumnianpol, Nithi Nuangjamnong, Pinwadee Srisupan, and Montakarn Chimmamee, 2017, "Social Well-Being in Thailand 2016: Survey Report", *The Senshu Social Well-being Review* 4: 75-93.
46. Yazaki, Keitaro, 2016, "Basic Descriptive Statistics of Japan Social Well-being Survey", *The Senshu Social Well-being Review* 2: 99-109. [査読有]
47. Yazaki, Keitaro, 2018, "Sympathy or Tolerance? A Comparison between the Effects of Trusting Most People and Trusting Strangers in Asian Societies", *The Senshu Social Well-being Review* 5: 21-36. [査読有]
48. Yee, Jaeyeol, Hyun-Chin Lim, Eun Young Nam, Do-Kyun Kim, and Ee Sun Kim, 2016, "Survey Design and Descriptive Outcomes of Korean Survey", *The Senshu Social Well-being Review* 3: 59-74. [査読有]
49. Yee, Jaeyeol and Sang-Hee Park, 2017, "Theoretical Reconstruction of the Concept of Social Well-being", *Health and Social Science* 44: 5-43. [査読有]
50. 大橋 英夫, 2016, 「日中両国の経済貿易結構と双辺経済関係——基于全球價值鏈(GVC)視角的分析」, 『日本研究』 遼寧大学日本研究所 159: 1-11. [依頼論文]
51. 張 光雲, 2017, 「日本刑法中の法条競合」, 『師大・西部法治論壇』 (2): 47-60. [依頼論文]
52. 張 光雲訳, 2018, 「危険社会中的過失犯論」, 『師大・西部法治論壇』 (3): 44-56. [依頼論文]
53. 傅 恒・張 光雲, 2015, 「論兼具『法条競合与想象競合色彩』の個案之処断原則」, 『西南民族大学学報』 2015(8): 106-11. [査読有]
54. 飯沼 健子, 2014, 「飯田・下伊那における地域規模と地域振興」, 『専修大学社会科学研究所月報』 611・612: 98-109.
55. 飯沼 健子, 2017, 「地域統合下のタイ・ラオス・ベトナム国境地域の連結性」, 『専修大学社会科学研究所月報』 642・643: 26-41.
56. 飯沼 健子, 2019, 「拡大 ASEAN における格差是正——域内協力か隣国協力か——」, 『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』 5: 67-87.
57. 稲田 十一, 2016, 「ベトナムにおけるソーシャル・セーフティネット(SSN)ー『共同体的扶助制度』と『市場化の波』の南北比較ー」, 『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』 2: 55-73. [査読有]
58. 大崎 裕子・坂野 達郎, 2016, 「道徳的信頼の形成における制度的公正と社会的平等の役割」, 『計画行政』 日本計画行政学会 39(2): 56-64. [査読有]
59. 大崎 裕子, 2017, 「ソーシャル・キャピタルは主観的ウェル・ビーイングにおける経済的豊かさの限界を補完するか: 満足と信頼の分析」, 『理論と方法』 数理社会学会 32(1): 35-48. [査読有]
60. 大崎 裕子, 2019, 「一般的信頼の形成に関する規範的制度アプローチ: ミクロマクロ構造から見えるもの」, 『理論と方法』 数理社会学会 34(1): in press. [依頼論文]
61. 大橋 英夫, 2014, 「転換期の中国経済における『2つの罨』」, 『Erina report』 環日本海経済研究所 117: 41-44.
62. 大橋 英夫, 2014, 「発展方式の転換と対外経済政策(特集 中国: 新指導部における経済政策を中心に)」, 『フィナンシャル・レビュー』 財務省財務総合政策研究所 119:

- 112-35. [査読有]
63. 大橋 英夫, 2016, 「新常态下の中国経済」, 『東亜』 霞山会 584: 10-18.
 64. 大橋 英夫, 2016, 「TPP と中国の『一带一路』構想」, 『国際問題』 日本国際問題研究所 652: 29-39.
 65. 大橋 英夫, 2016, 「中国の改革開放からみた自由貿易試験区」, 『アジ研ワールド・トレンド』 アジア経済研究所 249: 8-11.
 66. 大橋 英夫, 2017, 「深刻な過剰設備 鉄鋼の非稼働率は3割 過剰解消のハードルは高い(中国ショック2017)」, 『週刊エコノミスト』 95(7): 26-27.
 67. 大橋 英夫, 2017, 「米中経済関係の新たな焦点(特集 トランプ維新への疑問と現実)」, 『世界経済評論』 国際貿易投資研究所 61(2): 32-39.
 68. 大橋 英夫, 2017, 「ON THE RECORD 米中経済関係のゆくえ(特集 トランプ政権のアジア経済戦略)」, 『東亜』 霞山会 600: 10-19.
 69. 大橋 英夫, 2018, 「転換期・中国の経済運営と米中経済(特集 米中“新時代”のアジア)」, 『東亜』 霞山会 610: 30-38.
 70. 大橋 英夫, 2018, 「301 条発動に見る米国の不安」, 『週刊エコノミスト』 96(21): 30-31.
 71. 大橋 英夫, 2018, 「中国型発展モデルの普遍性」, 『外交』 都市出版 50: 74-79.
 72. 大橋 英夫, 2018, 「新たな段階を迎えた国有企業改革(中国経済の中長期展望: 重要課題分析)」, 『日中経協ジャーナル』 日中経済協会 296: 6-9.
 73. 大矢根 淳, 2014, 「地域レジリエンスの向上と事前復興」, 『労働の科学』 大原記念労働科学研究所 69(4): 206-09.
 74. 大矢根 淳, 2014, 「書評 田中重好 高橋誠 イルファン・ジックリ著『大津波を生き抜く』(明石書店・2012年)」, 『地域社会学会年報』 26: 163-64.
 75. 大矢根 淳, 2016, 「サステナブル(sustainable)な防災社会構築のための新基軸～コミュニティにおけるレジリエント(resilient)な取組事例をめぐって～」, 『専修大学社会科学研究所月報』 641: 3-13.
 76. 大矢根 淳, 2017, 「被災地ローカル各紙統合スクラップ帳の意義と課題ー復興ロジックの探索・再構築に向けてー」, 『法学研究』 慶應義塾大学法学研究会 90(1): 229-59.
 77. 大矢根 淳, 2017, 「ベトナム中部村落における水害からの復興の履歴と枠組み」, 『専修人間科学論集』 7: 89-108.
 78. 大矢根 淳, 2017, 「マルチステークホルダーの参画する防災まちづくりの物語創成」, 『労働の科学』 大原記念労働科学研究所 72(12): 4-7.
 79. 小笠原 強・宮川 英一, 2016, 「関東大震災時の中国人虐殺資料を読む(二)ー中央研究院近代史研究所所蔵『日本震災惨殺華僑案』第四冊ー」, 『専修史学』 61: 63, 80-120.
 80. 小笠原 強・宮川 英一, 2017, 「関東大震災時の中国人虐殺資料を読む(三)ー中央研究院近代史研究所所蔵『日本震災惨殺華僑案』第四冊ー」, 『専修史学』 63: 114-75.
 81. 小笠原 強・宮川 英一, 2019, 「関東大震災時の中国人虐殺資料を読む(四)ー中央研究院近代史研究所所蔵『日本震災惨殺華僑案』第四冊ー」, 『専修史学』 65: 104,

- 122-144.
82. 金井 雅之, 2015, 「ソーシャル・ウェルビーイング研究の課題」, 『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』 1: 7-22. [査読有]
 83. 金井 雅之, 2017, 「日本・韓国・ベトナムにおける幸福度の比較—ソーシャル・ウェルビーイング研究の現場から (1)—」, 『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』 3: 53-67. [査読有]
 84. 金井 雅之, 2017, 「過去との比較が主観的ウェルビーイングに与える影響——過去の影響は時間の経過と共に薄れるか」, 『理論と方法』 数理社会学会 32(1): 127-39.
 85. 金井 雅之, 2018, 「相対的比較と幸福度——アジア7ヶ国・地域の比較——」, 『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』 4: 81-98.
 86. 金井 雅之, 2018, 「ソーシャル・ウェルビーイング・アジア調査」, 『よろん』 122: 25-29.
 87. 神原 理, 2014, 「川崎市における市民のコミュニティ意識とソーシャル・キャピタル(特集 社会開発と公益)」, 『公益学研究』 日本公益学会 14(1): 11-22. [査読有]
 88. 神原 理, 2015, 「地域活動におけるブレインストーミングの活用方法: 創造的な思考と関係性を生み出すための手法」, 『専修商学論集』 100: 93-105.
 89. 神原 理・中間 大維, 2015, 「社会的消費に関する意識調査: Web アンケートの分析結果(商学部創立 50 周年記念号)」, 『専修商学論集』 101: 101-16.
 90. 神原 理, 2015, 「川崎市民の地域意識と生活満足度」, 『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』 1: 23-38. [査読有]
 91. 小池 隆生, 2016, 「拡大する高齢者の貧困」, 『ゆたかなくらし』 全国老人福祉問題協議会 405: 6-9.
 92. 小池 隆生, 2017, 「現代日本における相対的貧困-困窮の諸相に見る『貧困の幅』」, 『専修大学社会科学研究所月報』 645: 38-50.
 93. 小池 隆生, 2018, 「貧困認識と規定要因としての『農村的生活様式』—岩手県内自治体住民に対する意識調査結果から」, 『専修大学社会科学研究所月報』 663: 1-27.
 94. 小塩 隆士, 2016, 「ソーシャル・キャピタルと幸福度: 理解をさらに深めるために」, 『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』 2: 19-33. [査読有]
 95. 小林 盾・カローラ ホメリヒ, 2018, 「どのような言葉が人を幸せにするのか——自由回答のテキスト・マイニング分析を用いた混合研究法アプローチ」, 『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』 4: 31-47.
 96. 小林 盾・西村 謙一・川端 健嗣, 2019, 「主観的ウェル・ビーイングにおける美容資本の役割はなにか——2018 年インドネシアの地方自治意識調査の計量分析——」, 『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』 5: 29-46.
 97. 嶋根 克己, 2015, 「失われる記憶と編集される記憶—ユダヤ人虐殺にかかわる展示から—」, 『日仏社会学会年報』 26: 17-32. [査読有]
 98. 嶋根 克己, 2016, 「書評 森謙二著『墓と葬送の社会史』『墓と葬送のゆくえ』(吉川弘文堂・2014 年)」, 『法社会学』 日本法社会学会 82: 282-89. [査読有]
 99. 嶋根 克己, 2016, 「近代化する葬儀の諸課題: ベトナムと日本の比較から」, 『専修大学社会科学研究所月報』 641: 23-33.
 100. 嶋根 克己, 2017, 「Katu 族の棺」, 『専修大学社会科学研究所月報』 642・643: 51-

- 56.
101. 徐 一睿, 2015, 「『一帯一路』からみる中国国内における地域政策の変化と財政的課題:ローカルハブの構築に向けて」, 『Erina report』 環日本海経済研究所 127: 53-62.
 102. 徐 一睿, 2016, 「平成大合併に対する再考:長野県小川村を事例に」, 『専修大学社会科学研究所月報』 630・631: 630-31.
 103. 徐 一睿, 2018, 「中国の統計水増し問題 相次いだ地方政府の『自白』補助金制度の変革が引き金に」, 『週刊エコノミスト』 96(16): 82-84.
 104. 所澤 新一郎・佐藤 慶一・大矢根 淳, 2018, 「<調査報告>復興ステークホルダーの探索的再構築に関する研究実践:被災地・石巻での聞き取り調査から」, 『専修大学社会科学研究所月報』 660: 1-32.
 105. 白石 小百合・白石 賢, 2016, 「幸福の経済学-現状と課題から次のステップへ」, 『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』 2: 35-53. [査読有]
 106. 鷺見 英司, 2015, 「地方財政健全化法下での地方自治体の財政健全化行動の実証分析」, 『日本地方財政学会研究叢書』 22: 130-56. [査読有]
 107. 鷺見 英司, 2016, 「地方財政健全化法による地方自治体の効率化効果に関する実証分析」, 『日本地方財政学会研究叢書』 23: 31-54. [査読有]
 108. 鷺見 英司, 2017, 「首長選挙における無投票当選の発生要因(特集 まちづくりの公共選択)」, 『公共選択』 公共選択学会 (68): 85-102. [依頼論文]
 109. 鷺見 英司, 2018, 「地方自治体の将来負担と効率性に関する実証分析」, 『日本地方財政学会研究叢書』 25: 29-55. [査読有]
 110. 張 光雲, 2016, 「中国における DV 法的規制と DV 反撃殺傷行為の刑事法上の課題」, 『日本法學』 日本大学法学会 82(2): 493-533. [査読有]
 111. 中島 正裕・川副 早央里・塩田 光・大矢根 淳, 2015, 「宮城県石巻市における仮設住宅団地の生活実態—東日本大震災発生から 1 年半後のコミュニティに着目して—」, 『農村計画学会誌』 34(2): 167-76. [査読有]
 112. 中村 知子, 2018, 「2017 年モンゴル国調査報告——都市開発、社会福祉サービスの現状を中心に——」, 『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』 4: 49-64.
 113. 原田 博夫, 2014, 「幸福感と社会関係資本 特集:『幸福度』再考」, 『計画行政』 日本計画行政学会 37(2): 23-28. [依頼論文]
 114. 原田 博夫, 2016, 「『幸福』研究の意義と可能性」, 『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』 2: 7-18. [査読有]
 115. 原田 博夫訳, 2017, 「フリードリッヒ・シュナイダー著 GDP, ウェルビーイング, 幸福とシャドーエコノミー—日本についての考察—」, 『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』 3: 33-51. [査読有]
 116. 原田 博夫, 2017, 「ダナン市の経済開発と外資導入」, 『専修大学社会科学研究所月報』 642・643: 42-45.
 117. 原田 博夫, 2019, 「川崎市税制の特徴と推移」, 『専修大学社会科学研究所月報』 669: 1-20.
 118. 原田 博夫, 2019, 「ソーシャル・ウェルビーイング研究の意義——GDP 指標へのチャレンジ——」, 『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』 5: 89-109.
 119. 丸茂 雄一, 2017, 「日本人の生活満足度の決定要因に関する実証的分析」, 『公益学

- 研究』 日本公益学会 16(1): 21-30.
120. 丸茂 雄一, 2018, 「いくつかの論点におけるソーシャル・ウェルビーイングの日韓比較」, 『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』 4: 9-29.
 121. 丸茂 雄一, 2019, 「日本人の職業満足度の決定要因」, 『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』 5: 9-27.
 122. 宮下 量久・鷺見 英司, 2016, 「地方交付税の合併算定替と合併自治体の効率性に関するパネル・データ分析」, 『財政研究』 日本財政学会 12: 170-86. [査読有]
 123. 宮下 量久・鷺見 英司, 2017, 「合併自治体の財政調整基金に関する実証分析」, 『日本地方財政学会研究叢書』 24: 125-49. [査読有]
 124. 村上 俊介, 2015, 「望月市民社会論再考」, 『専修大学社会科学研究所月報』 620: 1-29.
 125. 村上 俊介, 2015, 「社会科学研究所 2014 年度春季合宿研究会 (ベトナム南部・中部) 行程」, 『専修大学社会科学研究所月報』 625・626: 1-11.
 126. 村上 俊介, 2016, 「古代日本史における『史観』の変遷—百舌鳥・古市古墳群を歩いて—」, 『専修大学社会科学研究所月報』 637・638: 59-75.
 127. 村上 俊介, 2016, 「日本におけるベトナム研究の視座の変遷」, 『専修大学社会科学研究所月報』 641: 14-22.
 128. 村上 俊介, 2017, 「経済発展 (開発) の中のベトナム中央高原」, 『専修大学社会科学研究所月報』 642・643: 90-99.
 129. 矢崎 慶太郎, 2015, 「ウェルビーイングの一指標としての芸術」, 『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』 1: 51-61. [査読有]
 130. 矢崎 慶太郎, 2017, 「信頼: 社会学の基礎前提とソーシャル・ウェルビーイング調査結果の検討」, 『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』 3: 9-31. [査読有]
 131. 矢崎 慶太郎, 2018, 「書評: ジンメル『カントの義務論と幸福論』——ソーシャル・ウェルビーイング調査への応用——」, 『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』 4: 65-72.
 132. 矢崎 慶太郎・中林 練訳, 2018, 「ゲオルク ジンメル著 カントの義務論と幸福論」, 『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』 4: 73-79.
 133. 矢崎 慶太郎, 2019, 「社会的システム理論における社会的包摂——盲点の観察としての芸術と学問——」, 『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』 5: 47-65.
 134. 山崎 義広・鷺見 英司・長尾 雅信, 2015, 「小千谷市民による地域・コミュニティ評価に関する分析」, 『新潟大学経済論集』 99: 143-58.
 135. 李栄・宮川 英一訳, 2015, 「中国における幸福感の研究状況」, 『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』 1: 39-47. [査読有]

D.2. 図書

◎書籍の著・編・訳の場合

著者 or 編者 or 訳者, 刊行年, 著者 or 編者 or 訳者『書籍タイトル』, 出版社名

◎編集書中の特定章の著・編・訳を担当している場合

著者 or 編者 or 訳者, 刊行年, 著者 or 編者 or 訳者『書籍タイトル』, 対象章番号「タイトル」, 出版社名

*日本語以外の図書の場合、書籍タイトルをイタリック体、章タイトルをアポストロフィー内にて記載。

◎氏名の下線は当センター研究員および国内外コンソーシアムメンバーを示す。

1. Aldar, Dolgion, Bold Tsevegdorj, Byambasuren Yadmaa, Dashzeveg Lkhagvanorov, and Batsugar Tsendendamba, 2018, *The Social Well-Being Survey of Mongolia*, The Independent Research Institute of Mongolia.
2. Cho, Byung-Hee, Jaeyeol Yee et al., 2018, *Beyond Suffering Society: Integrative Approach of Social Well-being Research and Practice*, 21st Century Books.
3. Harada, Hiroo, 2016, “Public Choice”, Gianpietro Mazzoleni ed., *The International Encyclopedia of Political Communication*, John Wiley & Sons, 1289-93. [査読有]
4. Hommerich, Carola, and Tim Tiefenbach, 2018, “The Structure of Happiness: Why Young Japanese Might be Happy After All”, Patrick Heinrich and Christian Galan eds., *Being Young in Super-Aging Japan*, Routledge, 132-49. [査読有]
5. Iinuma, Takeko, 2017, “Les relations économiques, politiques et culturelles entre l'Union européenne et le Japon”, Jacques Bourrinet ed., *Les Frontières extérieures de l'Union européenne*, UIEM/CERIC, 155-60.
6. Ko, Dong Hyun, Jaeyeol Yee, Myung Sun Moon, and Soul Han, 2016, *Social Economy and Social Value: Ancient Future of Capitalism*, Hanul Academy.
7. Ohashi, Hideo, 2015, “A Mixed Effect of Globalization on China's Economic Growth”, Toshiaki Hirai ed., *Capitalism and the World Economy: The Light and Shadow of Globalization*, Routledge, 234-52. [査読有]
8. Shimane, Katsumi, 2014, “Xã hội vô cảm và giai đoạn cuối đời trong thời đại ít trẻ em- già hóa dân số ở Nhật Bản”, *Quan hệ Việt Nam-Nhật Bản 40 năm nhìn lại và định hướng tương lai*, Nhà xuất bản Khoa học xã hội. [査読有]
9. Shimane, Katsumi, 2018, “Các vấn đề về tang lễ hiện đại hóa: So sánh đối chiếu Việt Nam và Nhật Bản”, Trần Quang Minh and Ngô Hương Lan eds., *Building a Sustainable Development Society: Vietnam-Japan Cooperation*, National University Press, Hanoi.
10. Xu, Yirui, 2016, “Extended Official Responsibility and the Red Card Rule in China”, Masashi Yamamoto and Eiji Hosoda eds., *The Economics of Waste Management in East Asia*, Routledge.
11. Yee, Jaeyeol, 2016, “Social Quality, Competition and Happiness”, Jaeyeol Yee and Hyunchin eds., *Connected Asia: Intellectual Map of Flows and Relations*, Chinijin. [査読有]
12. Yee, Jaeyeol, 2017, “From System Failure to Hidden Complexity: Changing Nature of Disasters in Korea”, Sang-Jin Han ed., *Beyond Risk Society: Ulrich Beck and the Korean Debate*, Seoul National University Press. [査読有]
13. Yee, Jaeyeol, 2018, “Transition and Social Innovation”, Myung-Kyu Park and Jaeyeol Yee eds., *Social Value and Social Innovation: Toward a Symbiotically Sustainable Community*, Hanul Academy, 358-405.
14. Yee, Jaeyeol et al., 2018, *Reflections of the Social Change in Korea*, Jinjin.
15. Yee, Jaeyeol et al., 2018, *Korean Social Trend 2018*, Statistics Korea.
16. Yee, Jaeyeol, 2018, “Sewol Ferry Tragedy: System Theoretic Diagnosis and Prescription”, Jaeyeol Yee et al., *The Sewol Ferry Disaster: Social Science Perspectives*, Orom.
17. 張光雲訳, 2015, 日高義博著, 『違法性的基礎理論』, (中国) 法律出版社.
18. 飯沼 健子, 2018, 「ラオスにおける民間部門のための人材育成」, 内野明編, 『メコ

- ン地域におけるビジネス教育』, 白桃書房, 217-38.
19. 稲田 十一, 2017, 『社会調査からみる途上国開発——アジア 6 カ国の社会変容の実像』, 明石書店.
 20. 稲田 十一, 2018, 「開発の政治経済学のいくつかの視角」, 「脆弱国家論」, 木村宏恒監修、稲田十一・小山田英治・金丸裕志・杉浦功一編, 『開発政治学を学ぶための 61 冊: 開発途上国のガバナンス理解のために』, 明石書店, 25-30・99-110. [査読有]
 21. 大橋 英夫, 2014, 「貿易政策——輸出振興策の調整」, 中兼和津次編, 『中国経済はどう変わったか——改革開放以後の経済制度と政策を評価する』, 国際書院, 177-205. [査読有]
 22. 大橋 英夫, 2014, 「直接投資」, 中国研究所編, 『中国年鑑 2014』, 毎日新聞社, 177-80.
 23. 大橋 英夫, 2015, 「直接投資」, 中国研究所編, 『中国年鑑 2015』, 毎日新聞社, 189-92.
 24. 大橋 英夫, 2016, 「中国企業の対米投資——摩擦・軋轢の争点は何か」, 加藤弘之・梶谷懐編, 『二重の罍を超えて進む中国型資本主義——「曖昧な制度」の実証分析』, ミネルヴァ書房, 228-47.
 25. 大橋 英夫, 2016, 「直接投資」, 中国研究所編, 『中国年鑑 2016』, 明石書店, 187-90.
 26. 大橋 英夫, 2016, 「中国経済のパラダイム転換——「新常态」の衝撃」, 21 世紀中国総研編, 『中国情報ハンドブック [2016 年版]』, 蒼蒼社, 29-53.
 27. 大橋 英夫, 2017, 「中国の過剰生産能力と国有企業改革」, 日本国際問題研究所編, 『国際秩序動揺期における米中の動勢と米中関係: 中国の国内情勢と対外政策』 日本国際問題研究所 研究報告書, 日本国際問題研究所, 47-62.
 28. 大橋 英夫, 2017, 「『国家資本主義』をめぐる米中経済関係」, 日本国際問題研究所編, 『国際秩序動揺期における米中の動勢と米中関係: 米中関係と米中をめぐる国際関係』 日本国際問題研究所 研究報告書, 日本国際問題研究所, 73-86.
 29. 大橋 英夫, 2017, 「新たな段階を迎えた対外開放」, 大西康雄編, 『習近平政権の課題と展望』 日本貿易振興機構アジア経済研究所 調査研究報告書, 日本貿易振興機構アジア経済研究所, 64-87.
 30. 大橋 英夫, 2017, 「直接投資」, 中国研究所編, 『中国年鑑 2017』, 明石書店, 175-78.
 31. 大橋 英夫, 2017, 「トランプ米新政権の通商政策と中国の対応」, 21 世紀中国総研編, 『中国情報ハンドブック [2017 年版]』, 蒼蒼社, 36-59.
 32. 大橋 英夫, 2018, 「対外貿易と直接投資」, 梶谷懐・藤井大輔編, 『現代中国経済論 [第 2 版]』, ミネルヴァ書房, 241-57.
 33. 大橋 英夫, 2018, 「米中経済摩擦の構造」, 亜細亜大学アジア研究所編, 『揺れる国際秩序とアジア』, 亜細亜大学アジア研究所, 61-100.
 34. 大橋 英夫, 2018, 「直接投資」, 中国研究所編, 『中国年鑑 2018 年版』, 明石書店, 187-90.
 35. 大橋 英夫, 2018, 「トランプ米政権の対中通商政策の展開 (2017-2018 年)」, 21 世紀中国総研編, 『中国情報ハンドブック [2018 年版]』, 蒼蒼社, 47-61.
 36. 大矢根 淳, 2014, 「生活再建・コミュニティ復興に寄り添う——長期にわたる社会学的被災地研究——」, 木村周平編, 『災害フィールドワーク論』, 古今書院, 115-29.

37. 大矢根 淳, 2015, 「現場で組み上げられる再生のガバナンス—既定復興を乗り越える実践例から—」, 清水展編, 『新しい人間,新しい社会—復興の物語を再創造する—』(災害対応の地域研究第5巻), 京都大学学術出版会, 51-78.
38. 大矢根 淳, 2015, 「小さな浜のレジリエンス—東日本大震災・牡鹿半島小浜の経験から—」, 清水展編, 『新しい人間,新しい社会—復興の物語を再創造する—』(災害対応の地域研究第5巻), 京都大学学術出版会, 267-97.
39. 大矢根 淳, 2017, 「ベトナムの都市化と居住環境構制—ドラスティックな変容の実相を読み解く視角—」, 佐藤康一郎編, 『変容するベトナムの社会構造—ドイモイ後の発展と課題—』社会科学叢書 19, 専修大学出版局, 153-83.
40. 大矢根 淳, 2017, 「震災復興とレジリエンス」, 石原慎士他編著, 『産業復興の経営学—大震災の経験を踏まえて—』, 同友館, 2-21.
41. 大矢根 淳, 2018, 「アルメニア・スピタク地震の復興・生活再建の諸相」, 専修大学人文科学研究所編, 『災害 その記録と記憶』, 専修大学出版局, 111-64.
42. 小林 盾, 2017, 『ライフスタイルの社会学: データからみる日本社会の多様な格差』, 東京大学出版会.
43. 嶋根 克己, 2017, 「変貌するベトナムの葬送文化」, 佐藤康一郎編, 『変容するベトナムの社会構造—ドイモイ後の発展と課題—』社会科学叢書 19, 専修大学出版局, 121-51.
44. 徐 一睿, 2016, 「地方統制—政治選抜トーナメント方式について」, 「地方財政の土地開発利益依存と脱却への模索」, 大西広他, 『中成長を模索する中国「新常态」への政治と経済の揺らぎ』, 慶應義塾大学出版会.
45. 徐 一睿, 2018, 「新常态における中国の政府間財政関係」, 四方理人・宮崎雅人・田中聡一郎編著, 『収縮経済下の公共政策』, 慶應義塾大学出版会, 155-74.
46. 徐 一睿, 2018, 「アジアにおける発展途上国の選択」, 朱永浩編著, 『アジア共同体構想と地域協力の展開』, 文眞堂, 180-94.
47. 徐 一睿, 2018, 「地域公共財から見るインフラ投資への日中協力の構築」, 進藤栄一・周瑋生編著, 『一带一路からユーラシア新世紀の道』, 日本評論社, 70-76.
48. 張 光雲, 2014, 「窃盗罪の実行の着手」, 板倉宏監修, 『現代の判例と刑法理論の展開』, 八千代出版, 235-47. [査読有]
49. 張 光雲, 2018, 「中国刑法における違法性論」, 高橋則夫他編, 『日高義博先生古稀祝賀論文集 上巻』, 成文堂, 69-86. [査読有]
50. 原田 博夫, 2018, 「経済成長の前提・成果と課題: ウェルビーイングの観点から」, 進藤栄一・周瑋生編著, 『一带一路からユーラシア新世紀の道』, 日本評論社, 212.
51. 村上 俊介, 2017, 「ドイツのベトナム人—旧東ドイツの契約労働者たちの軌跡—」, 佐藤康一郎編, 『変容するベトナムの社会構造—ドイモイ後の発展と課題—』社会科学叢書 19, 専修大学出版局, 209-43.
52. 矢崎 慶太郎, 2016, 『抑圧と余暇のはざままで: 芸術社会学の視座と後期東ドイツ文学』, 専修大学出版局.

D.3. 学会発表

◎発表者, 発表年, 学会名, 開催地, 開催場所, 発表日.

◎氏名の下線は当センター研究員および国内外コンソーシアムメンバーを示す。

1. Adnan, Ricardi S, 2018, Leisure, Liberalism, and Socio-Economic Life: The Social Changing in Depok City, 2018 The Third Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Magelang (Indonesia), Plataran Heritage Hotel & Convention Center, 2018.3.5.
2. Aldar, Dolgion, 2017, Social Cohesion and Subjective Well-Being Survey in Mongolia, 2017 The Second Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Hanoi (Vietnam), Vietnam Academy of Social Sciences, 2017.10.12.
3. Aldar, Dolgion, 2018, The Social Well-Being Survey of Mongolia, “Think-Tank Gathering Event on Social Well-Being Survey of Mongolia” organized by IRIM (Independent Research Institute of Mongolia), Ulaanbaatar (Mongolia), ADB Mongolia Office, 2018.12.12.
4. Anam, Fadlan Khaerul, 2018, Authorities of Unhappiness: Networks, Actors, and Policy on Suicide Prevention in 8 Asian Hyperlinked Societies, 2018 The Fourth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Seoul (Korea), Seoul National University Asia Center, 2018.6.30.
5. Anam, Fadlan Khaerul, 2018, Unhappier God in Global Asia: Globalization, Religion and “Social Populicy” in Changing Happiness of 8 Asian Hyperlinked Societies, 2019 The Fifth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Ikuta Campus, 2018.11.24.
6. Anh, Dang Nguyen, 2016, Report on SWB Vietnam Survey, The First Camp Seminar of International Consortium for Social Well-being Studies, Yamanashi (Japan), Fuji-Yamanakako Seminar House of Senshu University, 2016.2.18.
7. Anh, Dang Nguyen, 2016, Social Well-being in Vietnam: Level and Determinants, 2016 Symposium of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Satellite Campus, 2016.6.25.
8. Anh, Dang Nguyen, 2017, Strengthening Social Welfare Policy for Development: Opportunities and Challenges for ASEAN Countries, 2017 The Second Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Hanoi (Vietnam), Vietnam Academy of Social Sciences, 2017.10.13.
9. Anh, Dang Nguyen, 2018, Quality of Life in Viet Nam: The Important Roles of Gender and Social Capital, 16th ISQOLS Annual Conference (International Society for Quality-of-Life Studies), Hong Kong (China), Hong Kong Polytechnic University, 2018.6.14. [査読有]
10. Anh, Dang Nguyen, 2018, Social Well-being and Social Inclusion in Viet Nam: Evidence from a Nationwide Survey, 2018 The Fourth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Seoul (Korea), Seoul National University Asia Center, 2018.6.29.
11. Anh, Dang Nguyen, 2018, Sustainable Poverty Alleviation, シンポジウム「アジアにおける『豊かさ』の新しい形」 専修大学社会知性開発研究センター／ソーシャル・ウェルビーイング研究センター, 東京, 専修大学神田校舎, 2018.11.25.

12. Breznau, Nate and Carola Hommerich, 2018, The Limits of (In)Equality: Liberalization, Solidarity and Support for Welfare Policy, XIX ISA World Congress of Sociology (International Sociological Association), Toronto (Canada), Metro Toronto Convention Center, 2018.7.19. [査読有]
13. Chen, Yi-fu, 2017, Social Unfairness and Life Satisfaction: The Findings from 2017 SWB Taiwan Survey, 2017 The Second Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Hanoi (Vietnam), Vietnam Academy of Social Sciences, 2017.10.12.
14. Dwianto, Raphaella Dewantari, 2018, Safeguarding Children's Well-being: The Case of Jidokan(children's hall) in urban Japan, 2018 The Third Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Magelang (Indonesia), Plataran Heritage Hotel & Convention Center, 2018.3.5.
15. Fatimaningsih, Endry, 2018, Child Protection in Parent's Perspective, 2018 The Third Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Magelang (Indonesia), Plataran Heritage Hotel & Convention Center, 2018.3.5.
16. Harada, Hiroo, 2014, Social Capital of Seven Countries/Areas in East Asia: From the Questionnaire Approach, XVIII ISA World Congress of Sociology (International Sociological Association), Kanagawa (Japan), Pacifico Yokohama, 2014.7.17. [査読有]
17. Harada, Hiroo, 2014, Social Well-Being/Capital in Asia: From the Questionnaire Approach in Well-being and Quality of Life in Asia (2), 2014 ANPOR Annual Conference (Asian Network for Public Opinion Research), Niigata (Japan), Toki Messe Niigata, 2014.11.29. [査読有]
18. Harada, Hiroo, 2015, D4 session: Social Well-being/Capital in East Asia: From the Questionnaire Method, Moderator and Presenter, Comparison of Social Well-being/Capital in East Asia, 9th ISTR Asia Pacific Conference (International Society for Third-sector Research) , Tokyo (Japan), Nihon University Suidobashi Campus, 2015.8.27. [査読有]
19. Harada, Hiroo, 2016, Social Well-being in Japan: From the Viewpoint of Age, Sex, Residence and Relative Wealthiness of A Questionnaire Survey, JEP A 2016 International Conference (Japan Economic Policy Association), Hokkaido (Japan), Onuma International Seminar House , 2016.10.30. [査読有]
20. Harada, Hiroo, 2016, Opening Address, The First Camp Seminar of International Consortium for Social Well-being Studies, Yamanashi (Japan), Fuji-Yamanakako Seminar House of Senshu University, 2016.2.18.
21. Harada, Hiroo, 2016, Organizer, 2016 Symposium of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Satellite Campus, 2016.6.25.
22. Harada, Hiroo, Yasuhiro Tanaka, and Eiji Sumi, 2016, Social Well-being in Japan: Analysis from Relative Income Hypothesis, 2016 Symposium of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Satellite Campus, 2016.6.25.

23. Harada, Hiroo, 2016, Happiness in Japan: From the Viewpoint of Age, Sex and Relative Wealthiness, 3rd ISA Forum of Sociology (International Sociological Association), Vienna (Austria), University of Vienna, 2016.7.11. [査読有]
24. Harada, Hiroo, 2016, Social Well-being in Japan: From the Viewpoint of Age, Sex, Residence and Relative Wealthiness of a Survey, IPSA 24th World Congress of Political Science (International Political Science Association), Poznań (Poland), Poznań Congress Center, 2016.7.25. [査読有]
25. Harada, Hiroo and Surichai Wun'gaeo, 2017, Social Well-being and Multi-level Learning in East and Southeast Asia, 2017 The First Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Bangkok (Thailand), Chulalongkorn University, 2017.3.10.
26. Harada, Hiroo, 2017, Well-being/Happiness in Japan: From a Questionnaire Survey on Lifestyle and Values, 2017 ISA RC55 Mid-term Conference (Research Committee on Social Indicators of the International Sociological Association), Taipei (Taiwan), Academia Sinica, 2017.4.21. [査読有]
27. Harada, Hiroo, 2017, Well-being in Japan: From a Questionnaire Survey on 2015, 10th Annual INAS Conference (International Network of Analytical Sociologists), Oslo (Norway), University of Oslo, 2017.6.9. [査読有]
28. Harada, Hiroo, 2017, Well-being in Japan: From a Questionnaire Survey on 2015, The 3rd Biennial IAJS Conference (International Association for Japan Studies), Haifa (Israel), University of Haifa, 2017.6.11. [査読有]
29. Harada, Hiroo, 2017, Well-being in Japan: From a Questionnaire Survey on 2015, 15th ISQOLS Annual Conference (International Society for Quality-of-Life Studies), Innsbruck (Austria), University of Innsbruck, 2017.9.28. [査読有]
30. Harada, Hiroo and Eiji Sumi, 2017, Well-being in a Japanese Survey: From the Relative Income Hypothesis, 2017 The Second Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Hanoi (Vietnam), Vietnam Academy of Social Sciences, 2017.10.12.
31. Harada, Hiroo, 2017, Opening Remarks, "Searching for Alternatives in Future Society", Conference organized by SNUAC (Seoul National University Asian Center) Civil Society Program and ASPOS (Association for the Study of Political Science), Busan (Korea), Pukyong National University, 2017.11.24.
32. Harada, Hiroo and Eiji Sumi, 2018, Happiness and Social Capital in Contemporary Japan: Study of Lifestyle and Values Using the Relative Income Hypothesis, 2018 The Third Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Magelang (Indonesia), Plataran Heritage Hotel & Convention Center, 2018.3.4.
33. Harada, Hiroo and Eiji Sumi, 2018, Happiness and Relative Income Hypothesis in Contemporary Japan: Study of Lifestyle and Values, 2018 The Fourth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Seoul (Korea), Seoul National University Asia Center, 2018.6.29.

34. Harada, Hiroo and Eiji Sumi, 2018, Comparison of Happiness and Relative Income Hypothesis between in Japan and Korea: Study of Lifestyle and Values, The 14th APSA Conference (Asia Pasific Sociological Association), Kanagawa (Japan), Seisa University Hakone Campus, 2018.10.5. [査読有]
35. Harada, Hiroo, 2018, Opening Remarks, “International Conference on East Asia in the 21st Century: Searching for the Alternatives”, organized by ASPOS (Association for the Study of Political Science) and SNUAC (Seoul National University Asian Center), Kyoto (Japan), Research Institute for Humanity and Nature, 2018.10.26.
36. Harada, Hiroo and Eiji Sumi, 2018, Comparative Analysis of Income and Happiness between in Japan and Korea: Study of Lifestyle and Values, 2018 The Fifth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Ikuta Campus, 2018.11.23.
37. Hommerich, Carola and Koki Shimizu, 2018, The Structure of Happiness across Age: A Method-Mix Approach with Focus on Japan's “Happy Youth”, XIX ISA World Congress of Sociology (International Sociological Association), Toronto (Canada), Metro Toronto Convention Center, 2018.7.18. [査読有]
38. Iinuma, Takeko, 2017, Social Well-being in Japan, Korea, and Vietnam: A Gender Perspective, 2017 The First Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Bangkok (Thailand), Chulalongkorn University, 2017.3.9.
39. Iinuma, Takeko, 2017, Les relations économiques union européenne-Japon, Le 10e Anniversaire des Universités internationales d'été du Mercantour, Saint-Martin Vésubie (France), Saint-Martin Vésubie (France), 2017.9.7. [招待講演]
40. Iinuma, Takeko, 2017, Development Cooperation for CLMV: Regional Integration and the Pursuit of Equitable Development, 2017 The Second Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Hanoi (Vietnam), Vietnam Academy of Social Sciences, 2017.10.13.
41. Im, Dong-Kyun, 2018, Social Psychological Anatomy of Social Well-being: A Need-Based Approach, 2019 The Fifth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Ikuta Campus, 2018.11.24.
42. Inada, Juichi, 2015, Perception of Risks and Social Safety Net in East Asia: Cases of Indochina Countries , International Symposium organized by GFJ (The Global Forum of Japan), Tokyo (Japan), The Prince Park Tower Tokyo, 2015.12.10. [招待講演]
43. Inada, Juichi, 2017, The Impact of Chinese Aid and Its Development Model: A Case of Cambodia and its Implications for ASEAN, 2017 The Second Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Hanoi (Vietnam), Vietnam Academy of Social Sciences, 2017.10.13.
44. Inada, Juichi, 2017, Post-conflict Development and Social Well-being: A Comparative Study of Cambodia and Timor Leste, 2017 The First Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University,

- Bangkok (Thailand), Chulalongkorn University, 2017.3.9.
45. Inada, Juichi, 2018, The Impact of Chinese Aid and the “Beijing Consensus”: A Case of Cambodia and its Implications to Developing Countries, IPSA 25th World Congress of Political Science (International Political Science Association), Brisbane (Australia), Brisbane Convention Center, 2018.7.22.
 46. Inagaki, Yusuke, 2018, Differences in the Semantic Contents of Happiness: A Cross-National Comparison, 16th ISQOLS Annual Conference (International Society for Quality-of-Life Studies), Hong Kong (China), Hong Kong Polytechnic University, 2018.6.14. [査読有]
 47. Jumnianpol, Surangrut, 2017, Reports on 2016 Social Well-being Survey in Thailand, 2017 The First Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Bangkok (Thailand), Chulalongkorn University, 2017.3.9.
 48. Jumnianpol, Surangrut, Montakarn Chimmamee, and Surichai Wun'gaeo, 2018, Development and Social Mobilization: Intergenerational Class Mobility and Subjective Social Well-Being in Asia, 2018 The Fifth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Ikuta Campus, 2018.11.23.
 49. Kambara, Satoshi, 2014, Community Awareness and Life Satisfaction of Citizens in Kawasaki City, 2014 ANPOR Annual Conference (Asian Network for Public Opinion Research), Niigata (Japan), Toki Messe Niigata, 2014.11.29. [査読有]
 50. Kanai, Masayuki, 2014, Social Network, Family Policy, and Fertility Decision, 2014 ANPOR Annual Conference (Asian Network for Public Opinion Research), Niigata (Japan), Toki Messe Niigata, 2014.11.29. [査読有]
 51. Kanai, Masayuki, 2015, What Type of Civil Engagement and Trust Contributes to Subjective Well-being? The Linkage between Social Capital and Social Well-being, 9th ISTR Asia Pacific Conference (International Society for Third-sector Research), Tokyo (Japan), Nihon University Suidobashi Campus, 2015.8.27. [査読有]
 52. Kanai, Masayuki, 2016, The Effect of Perceived Relative Income on Subjective Well-being Compared to Objective Income, 9th Annual INAS Conference (International Network of Analytical Sociologists), Utrecht (Netherlands), Utrecht University, 2016.6.4. [査読有]
 53. Kanai, Masayuki, 2016, Survey Design and Descriptive Outcomes of Japanese Survey, 2016 Symposium of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Satellite Campus, 2016.6.25.
 54. Kanai, Masayuki, 2016, Coexisting Mechanisms from Bonding/Bridging Social Capital to Subjective Well-being, 3rd ISA Forum of Sociology (International Sociological Association), Vienna (Austria), University of Vienna, 2016.7.12. [査読有]
 55. Kanai, Masayuki, 2016, Perception of Inequality and Social Well-being, IPSA 24th World Congress of Political Science (International Political Science Association), Poznań (Poland), Poznań Congress Center, 2016.7.25. [査読有]
 56. Kanai, Masayuki, 2016, Who is the Reference Point in Judging One's Well-being?

- Comparison between Three Types of Relative Deprivation Measure, The 6th Joint Japan-US Conference on Mathematical Sociology and Rational Choice, Seattle (USA) , Sheraton Seattle Hotel, 2016.8.19. [査読有]
57. Kanai, Masayuki, 2016, Dual Deprivation of Well-being by One's Origin: The Effect of Three Kinds of Relative Deprivations on Subjective Well-being, 2016 ISA RC28 Summer Meeting (Research Committee on Social Stratification and Mobility of the International Sociological Association), Bern (Switzerland), University of Bern, 2016.8.31. [査読有]
 58. Kanai, Masayuki, 2017, The Effect of Subjective Mobility on Life Satisfaction: Comparison between Japan and Korea, 2017 ISA RC55 Mid-term Conference (Research Committee on Social Indicators of the International Sociological Association), Taipei (Taiwan), Academia Sinica, 2017.4.21. [査読有]
 59. Kanai, Masayuki, 2017, How and Why Perceived Unfairness Lowers Wellbeing? Based on Empirical Evidences from Asian Countries , 10th Annual INAS Conference (International Network of Analytical Sociologists) , Oslo (Norway), University of Oslo, 2017.6.9. [査読有]
 60. Kanai, Masayuki, 2017, Latent Transition from Modern to Post-modern Values in Contemporary Japan: Changing Roles of Bonding and Bridging Social Capital , The 3rd Biennial IAJS Conference (International Association for Japan Studies), Haifa (Israel), University of Haifa, 2017.6.11. [査読有]
 61. Kanai, Masayuki, 2017, Social Capital and Well-being in Plural Modernizations: Comparison between Japan, Korea, and Vietnam, ICAS 10 (International Convention of Asia Scholars), Chiangmai (Thailand), Chiang Mai International Exhibition and Convention Center, 2017.7.20. [査読有]
 62. Kanai, Masayuki, 2017, How Bonding and Bridging Social Capital Promote Well-being? Comparison between Japan and Korea, 15th ISQOLS Annual Conference (International Society for Quality-of-Life Studies), Innsbruck (Austria), University of Innsbruck, 2017.9.28. [査読有]
 63. Kanai, Masayuki, 2017, The Impact of Social Comparisons on Subjective Well-being: Cross-National Analyses of SWB Survey Data in Japan, Korea, Vietnam, the Philippines, and Thailand, 2017 The Second Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Hanoi (Vietnam), Vietnam Academy of Social Sciences, 2017.10.12.
 64. Kanai, Masayuki, 2018, A Growing Trend in the Effect of Downward Mobility on Life Satisfaction in Japan, 2018 The Third Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Magelang (Indonesia), Plataran Heritage Hotel & Convention Center, 2018.3.5.
 65. Kanai, Masayuki, 2018, Structure of Perceived Domain Unfairness and Its Impact on Subjective Wellbeing: Cross-National Comparison between Seven Asian Societies, 2018 The Fourth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Seoul (Korea), Seoul National University Asia Center, 2018.6.29.

66. Kanai, Masayuki, 2018, Emerging Effect of Mobility on Subjective Well-Being: Evidence from the SSM Surveys 1975-2015 in Japan, XIX ISA World Congress of Sociology (International Sociological Association), Toronto (Canada), Metro Toronto Convention Center, 2018.7.18. [査読有]
67. Kanai, Masayuki, 2018, Heterogeneous Effects of Income and Relative Comparison on Well-Being in East and Southeast Asian Societies, The 14th APSA Conference (Asia Pacific Sociological Association), Kanagawa (Japan), Seisa University Hakone Campus, 2018.10.5. [査読有]
68. Kanai, Masayuki, 2018, Religion, Spirituality, and Wellbeing in Asian Societies: Comparative Analyses of Social Wellbeing Survey Data, 2019 The Fifth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Ikuta Campus, 2018.11.24.
69. Kanai, Masayuki, 2018, Quality of Life in East and Southeast Asia: Findings of the Social Well-Being Survey in Asia (SoWSA), Does city living makes us happy? International conference on the well-being and quality of life in the city, Seoul (Korea), The Seoul Institute, 2018.12.6. [招待講演]
70. Kanai, Masayuki, 2019, Social Mechanism for Wellbeing Inequality: How Perceived Unfairness Lowers Wellbeing?, International Workshop: Frontiers of Computational Social Science and Analytical Sociology, Tokyo (Japan), Shibaura Campus of Shibaura Institute of Technology, 2019.2.12.
71. Kim, Ee-Sun, Hearan Koo, and Jaeyeol Yee, 2017, A Comparative Study of Social Well-being and its Determinants in Three Asian Countries: Korea, Japan, and Vietnam, ICAS 10 (International Convention of Asia Scholars), Chiangmai (Thailand), Chiang Mai International Exhibition and Convention Center, 2017.7.20.
72. Kim, Seokho, 2018, Do Social Support Networks Improve Happiness?, 2018 The Third Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Magelang (Indonesia), Plataran Heritage Hotel & Convention Center, 2018.3.5.
73. Kim, Seokho, 2018, The Effects of Support Networks on Subjective-Wellbeing in Asian Countries, 2018 The Fourth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Seoul (Korea), Seoul National University Asia Center, 2018.6.30.
74. Kim, Seokho, and Jaeun Lim, 2017, Patterns of Social Support Networks in Korea, Japan and Vietnam, 2017 The First Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Bangkok (Thailand), Chulalongkorn University, 2017.3.9.
75. Kim, Seokho and Jaeun Lim, 2017, Patterns of Social Support Networks and Their Impact on Social Well-being in Korea, Japan and Vietnam, ICAS 10 (International Convention of Asia Scholars), Chiangmai (Thailand), Chiang Mai International Exhibition and Convention Center, 2017.7.20.
76. Kobayashi, Jun and Carola Hommerich, 2017, Are Happiness and Unhappiness Two Sides

- of the Same Coin? A Case in Japan, 2017 The Second Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Hanoi (Vietnam), Vietnam Academy of Social Sciences, 2017.10.12.
77. Kobayashi, Jun and Carola Hommerich, 2018, Happiness in a Word: Text Mining Analyses of Open-Ended Data in Indonesia and Japan, 2018 The Third Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Magelang (Indonesia), Plataran Heritage Hotel & Convention Center, 2018.3.5.
 78. Kobayashi, Jun and Dolgion Aldar, 2018, Is Well-being Equal or Unequal? Causes of Happiness, Satisfaction, and Health in Asian Societies, 2018 The Fourth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Seoul (Korea), Seoul National University Asia Center, 2018.6.29.
 79. Kobayashi, Jun, 2018, Why Do Happiness and Satisfaction Not Coincide? Strict Comparison of Two Sub-Domains of Subjective Well-Being, XIX ISA World Congress of Sociology (International Sociological Association), Toronto (Canada), Metro Toronto Convention Center, 2018.7.17. [査読有]
 80. Kobayashi, Jun and Dolgion Aldar, 2018, Well-Being Inequality: Comparative Analyses of East and Southeast Asia, 2018 The Fifth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Ikuta Campus, 2018.11.23.
 81. Koo, Hwaran, 2017, Do Perceived Ingredients of Success Matter for the Well-being of Society? An Empirical Investigation, 2017 The Second Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Hanoi (Vietnam), Vietnam Academy of Social Sciences, 2017.10.12.
 82. Koo, Hwaran, Jaeyeol Yee, Eun-Young Nam, and Ee-sun Kim, 2016, Dimensions of Social Wellbeing and Determinants in Korea: Personal, Relational, and Societal Aspects, 2016 Symposium of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Satellite Campus, 2016.6.25.
 83. Koo, Hwaran, 2018, A Good Neighbor Is Better? The Role of Neighborhood Cohesion in Well-Being in Asian Countries, 16th ISQOLS Annual Conference (International Society for Quality-of-Life Studies), Hong Kong (China), Hong Kong Polytechnic University, 2018.6.14. [査読有]
 84. Koo, Hwaran, Dong-Kyun Im, and Sang-Hee Park, 2018, Multiple Ways to Improve Life Satisfaction in Asian Countries, 2018 The Fourth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Seoul (Korea), Seoul National University Asia Center, 2018.6.29.
 85. Lawang, Robert M. Z., 2018, Social Poverty in Two Extreme Cases in Manggarai - East Nusa Tenggara Province, 2018 The Third Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Magelang (Indonesia), Plataran Heritage Hotel & Convention Center, 2018.3.5.
 86. Marumo, Yuichi, 2015, Some Causal Models of Relationships between Social Well-being

- and Community Resilience by Structural Equation Modeling, 9th ISTR Asia Pacific Conference (International Society for Third-sector Research) , Tokyo (Japan), Nihon University Suidobashi Campus, 2015.8.27. [査読有]
87. Matsuzawa, Akemi, Eiko Horikoshi, Mai Yamaguchi, and Naomi Suzuki , 2017, Home Visiting Services and Outcomes for Informal Home Carers in Japan, 7th International Carers Conference (Carers Australia), Adelaide (Australia), Adelaide Convention Centre, 2017.10.4. [査読有]
 88. Murakami, Shunsuke, 2017, Changes in the Viewpoint for the Development of Vietnam in Japan, 2017 The Second Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Hanoi (Vietnam), Vietnam Academy of Social Sciences, 2017.10.13.
 89. Ohashi, Hideo, 2014, Getting There: Strategies for and Challenges of the Transition Period, “China’s New Development: Common Visions for Asian-European Co-operation”, International Conference organized by FES (the Friedrich-Ebert-Stiftung) and CAFIU (Chinese Association for International Understanding), Tutzing (Germany), Evangelische Akademie, 2014.6.18.
 90. Ohashi, Hideo, 2015, New Directions in Mega FTA of East Asia: A Japanese Perspective, Shanghai Forum 2015, Shanghai (China), Shanghai International Convention Center, 2015.5.23.
 91. Ohashi, Hideo, 2017, The Outlook for China’s Economic “New Normal”, “Battle Symposium on American Policy” Symposium organized by Miller Center, Charlottesville (USA), Miller Center, University of Virginia, 2017.11.19.
 92. Ohashi, Hideo, 2018, China’s Economic Growth and Industrial Transformation, “Mainland China's Reform and Opening up, 1978-2018: Prospect and Challenge”, International Conference organized by MAC (Mainland Affairs Council), Taipei (Taiwan), Shangri-la Far Eastern Plaza Hotel, 2018.10.19.
 93. Osaki, Hiroko and Tatsuro Sakano, 2016, Institutional Conditions for the Creation of Moralistic Trust, 3rd ISA Forum of Sociology (International Sociological Association), Vienna (Austria), University of Vienna, 2016.7.12. [査読有]
 94. Osaki, Hiroko, 2017, Trust and Life Satisfaction in Japan, Korea and Vietnam, ICAS 10 (International Convention of Asia Scholars), Chiangmai (Thailand), Chiang Mai International Exhibition and Convention Center, 2017.7.20.
 95. Osaki, Hiroko, 2018, How Does Social Capital Affect the Relationship between Economic Affluence and Subjective Well-being?, 2018 The Third Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Magelang (Indonesia), Plataran Heritage Hotel & Convention Center, 2018.3.4.
 96. Osaki, Hiroko, 2018, Comparative Analysis of the Effects of Income and Trust on Happiness in Asian Countries, 2018 The Fourth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Seoul (Korea), Seoul National University Asia Center, 2018.6.30.
 97. Pattinasarany, Indera Ratna Irawati, 2018, Social Well-Being in Indonesia: Across Two

- Different Episodes of Economic Growth and Income Inequality, 2018 The Fifth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Ikuta Campus, 2018.11.23.
98. Pattinasarany, Indera Ratna Irawati, 2018, Inequality and Happiness in Indonesia, 2018 The Third Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Magelang (Indonesia), Plataran Heritage Hotel & Convention Center, 2018.3.5.
 99. Pattinasarany, Indera Ratna Irawati, 2018, Happiness and Life Satisfaction among East and Southeast Asian Countries, 2018 The Fourth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Seoul (Korea), Seoul National University Asia Center, 2018.6.30.
 100. Porio, Emma, 2016, Social Well-Being and Quality of Life in the Philippines: Trends and Patterns, 2016 Symposium of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Satellite Campus, 2016.6.25.
 101. Porio, Emma and Justin See, 2017, Social Well-being in the Philippines: Indicators and Patterns, 2017 The First Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Bangkok (Thailand), Chulalongkorn University, 2017.3.9.
 102. Porio, Emma, 2017, SDGs and Social Well-being in Asia: Implications for Knowledge Mobilization and Monitoring Progress, 2017 The First Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Bangkok (Thailand), Chulalongkorn University, 2017.3.10.
 103. Porio, Emma and Justin See, 2018, Gender, Social Capital and Well-being: Building Adaptive Capacities and Climate Resilience in Disaster Prone Communities in the Philippines, 2018 The Third Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Magelang (Indonesia), Plataran Heritage Hotel & Convention Center, 2018.3.4.
 104. Porio, Emma and Justin See, 2018, Social Capital and Well-Being: Interrogating Vulnerability Adaptive Capacities in Disaster Prone Communities in the Philippines and Vietnam, 2018 The Fourth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Seoul (Korea), Seoul National University Asia Center, 2018.6.29.
 105. Porio, Emma, 2018, Climate and Disaster Risks, Resilience and Sustainability Challenges in Asian Cities, XIX ISA World Congress of Sociology (International Sociological Association), Toronto (Canada), Metro Toronto Convention Center, 2018.7.18. [査読有]
 106. Porio, Emma and Noralene Uy, 2018, Social Well-Being, Fairness of Treatment and Inequality in Urban-Rural Philippines, 2018 The Fifth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Ikuta Campus, 2018.11.23.
 107. Porio, Emma, 2018, Social Capital, Gender and Social Infrastructural Ties in Disaster Prone

- Communities, シンポジウム「アジアにおける『豊かさ』の新しい形」 専修大学社会知性開発研究センター／ソーシャル・ウェルビーイング研究センター, 東京, 専修大学神田校舎, 2018.11.25.
108. Sardjo, Sulastri, 2018, Model of Village Conservation: A ‘Distorted’ Social Transformation? Case Study: MKK Sukagalih, Cipeteuy Village, Halimun Salak National Park Corridor, Sukabumi, 2018 The Third Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Magelang (Indonesia), Plataran Heritage Hotel & Convention Center, 2018.3.5.
 109. Schneider, Friedrich, 2014, Well-being and the Shadow Economy, 国際シンポジウム「ソーシャル・ウェルビーイングと経済発展」 専修大学社会知性開発研究センター／ソーシャル・ウェルビーイング研究センター, 東京, 専修大学神田校舎, 2014.12.6.
 110. Seda, Francisia S.S.E., 2017, Policies, Social Exclusion, and Social Wellbeing in Indonesia and Malaysia, 2017 The First Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Bangkok (Thailand), Chulalongkorn University, 2017.3.9.
 111. Seda, Francisia S.S.E., Lugina Setyawati, Yosef Hilarius Timu Pera, Rika Febriani, and Pebriansyah, 2017, Social Policy, Social Exclusion, and Social Wellbeing In The Context of Southeast Asia: A Case Study of Papua, Indonesia, 2017 The Second Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Hanoi (Vietnam), Vietnam Academy of Social Sciences, 2017.10.13.
 112. Seda, Francisia S.S.E., Lugina Setyawati, Yosef Hilarius Timu Pera, Kevin Nobel Kurniawan, and Muhammad R. Damm, 2018, Social Exclusion, Religious Capital, and the Quality of Life: Multiple Case Studies of Indonesia and Thailand, 16th ISQOLS Annual Conference (International Society for Quality-of-Life Studies), Hong Kong (China), Hong Kong Polytechnic University, 2018.6.14. [査読有]
 113. Seda, Francisia S.S.E., Lugina Setyawati, Yosef Hilarius Timu Pera, Rika Febriani, Kevin Nobel Kurniawan, and Muhammad R. Damm, 2018, The Paradox of Relational Well-Being: Comparative Study between Southeast and East Asian Countries, 2018 The Fourth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Seoul (Korea), Seoul National University Asia Center, 2018.6.29.
 114. Seda, Francisia S.S.E., Lugina Setyawati, Yosef Hilarius Timu Pera, Muhammad Damm, and Kevin Nobel Kurniawan, 2018, Religious Capital and Relational Well Being in the Context of Globalization: A Comparative Study between Southeast Asian and East Asian Countries, 2019 The Fifth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Ikuta Campus, 2018.11.24.
 115. Sen, Yow-Suen, 2018, Self-Reliant Taiwanese: Peculiarity, Characteristics, and Consequences, 2018 The Fourth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Seoul (Korea), Seoul National University Asia Center, 2018.6.30.

116. Shibai, Kiyohisa, 2018, What is the Causes of the Shadow of Coming War?, 2018 The Fourth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Seoul (Korea), Seoul National University Asia Center, 2018.6.30.
117. Shimane, Katsumi, 2014, Social Rituals in South East Asia from the Aspect of Social Network, 2014 ANPOR Annual Conference (Asian Network for Public Opinion Research), Niigata (Japan), Toki Messe Niigata, 2014.11.30. [査読有]
118. Shimane, Katsumi and Keitaro Yazaki, 2015, How the Tie with Neighborhood Weaken? : From the Aspect of Participation to Marriage and Funeral Ceremony, 9th ISTR Asia Pacific Conference (International Society for Third-sector Research) , Tokyo (Japan), Nihon University Suidobashi Campus, 2015.8.27. [査読有]
119. Shimane, Katsumi, 2017, The Meaning of Social Bond with the Dead: How the Asians maintain the relationship with the Invisible People?, 2017 The First Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Bangkok (Thailand), Chulalongkorn University, 2017.3.10.
120. Shimane, Katsumi, 2017, The Social Bond with the Dead: How the Funeral Transformed Rapidly in Japan?, First Kyoto Workshop on Evolutionary Thanatology: An Integrative Approach to the Study of Death and Dying, Kyoto (Japan), Kyoto University, 2017.3.24.
121. Shimane, Katsumi, 2017, The Rights to be Cared in the End-of-Life and After-Life; Transformation of Aging and Dying in Japan, Karl Marx's Thought on Distributive Justice and Its Current Relevance (Marx 200), Hanoi (Vietnam), Vietnam Academy of Social Sciences, 2017.5.17.
122. Shimane, Katsumi and Masayuki Kanai, 2017, Ancestor Worship and Subjective Well-being: Cross-national Comparison between East and Southeast Asian Countries, 2017 The Second Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Hanoi (Vietnam), Vietnam Academy of Social Sciences, 2017.10.13.
123. Shimane, Katsumi, 2018, Transformation of the Family and Funeral System During Modernization, 2018 The Third Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Magelang (Indonesia), Plataran Heritage Hotel & Convention Center, 2018.3.5.
124. Shimane, Katsumi, 2018, Death, Dying and Social Well-being in Society: A Comparative Study in East and Southeast Asia, 2018 The Fourth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Seoul (Korea), Seoul National University Asia Center, 2018.6.30.
125. Shimane, Katsumi, 2018, Outsourcing of Death Treatment under Modernization: Comparative Studies for Funeral Ceremony, XIX ISA World Congress of Sociology (International Sociological Association), Toronto (Canada), Metro Toronto Convention Center, 2018.7.20. [査読有]
126. Shimane, Katsumi and Dang Thi Viet Phuong, 2018, Transformation of Ancestor Worship in Vietnam and Japan under Shrinking Family, The 14th APSA Conference (Asia Pasific

- Sociological Association), Kanagawa (Japan), Seisa University Hakone Campus, 2018.10.5.
[査読有]
127. Shin, In Chol and Jaeyeol Yee, 2017, Harmonization of SWB Survey Data: Practical Guide for Data Cleaning and Utilization for Comparative Analysis, 2017 The Second Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Hanoi (Vietnam), Vietnam Academy of Social Sciences, 2017.10.12.
 128. Sudjatmiko, Iwan Gardono, 2016, Social Well-being Research and Policy in Indonesia, 2016 Symposium of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Satellite Campus, 2016.6.25.
 129. Sudjatmiko, Iwan Gardono, Ganda Upaya, Indera Ratna Irawati Pattinasarany, Jauharul Anwar, Adrianus Jebatu, and Surya Adiptura, 2017, Authoritarian State, Developmental Model and Social Welfare: A Comparative Analysis of Indonesia, Singapore and Malaysia, 2017 The First Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Bangkok (Thailand), Chulalongkorn University, 2017.3.10.
 130. Sudjatmiko, Iwan Gardono, Indera Ratna Irawati Pattinasarany, Lidya Triana Aly, Roy Ferdy Gunawan, Tiara Wahyuningtyas, and Rangga Ardan Rahim, 2017, Social Welfare Policy, Socioeconomic Development, and Social Well-being: A Comparative Analysis of Indonesia, Malaysia, Thailand, The Philippines and Vietnam, 2017 The Second Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Hanoi (Vietnam), Vietnam Academy of Social Sciences, 2017.10.13.
 131. Sudjatmiko, Iwan Gardono, Roy Ferdy Gunawan, Lidya Triana Aly, Tiara Wahyuningtyas, and Rangga Ardan Rahim, 2018, Region and Social Well-being (A Comparison of Japan and Korea with Thailand and Indonesia), 2018 The Fourth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Seoul (Korea), Seoul National University Asia Center, 2018.6.29.
 132. Sudjatmiko, Iwan Gardono, Roy Ferdy Gunawan, Tiara Wahyuningtyas, and Rangga Ardan Rahim, 2018, New Means for Achieving Happiness: Haji Saving in East Javanese Moslems and Funeral Insurance in Balinese Hindu, 2018 The Fifth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Ikuta Campus, 2018.11.23.
 133. Suleeman, Evelyn, 2018, The Image of Happy Family among Undergraduate Students, 2018 The Third Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Magelang (Indonesia), Plataran Heritage Hotel & Convention Center, 2018.3.5.
 134. Suleeman, Evelyn, Daisy Indira Yasmine, Riena J. Surayuda, and Paulus Wirutomo, 2018, The Two Faces of Religion and Social Well-Being in Globalizing Indonesia, 2019 The Fifth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Ikuta Campus,

- 2018.11.24.
135. Sumi, Eiji, 2016, Subjective Well-being and Regional Characteristics, IPSA 24th World Congress of Political Science (International Political Science Association), Poznań (Poland), Poznań Congress Center, 2016.7.25. [査読有]
 136. Sunarto, Kamanto, 2018, Academic Corruption and Quality Assurance Policies, 2018 The Third Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Magelang (Indonesia), Plataran Heritage Hotel & Convention Center, 2018.3.5.
 137. Suzuki, Naomi, 2017, Subjective Happiness and Life Satisfaction among Japanese Family Caregivers , 19th ARAHE Biennial International Congress (Asian Regional Association for Home Economics), Tokyo (Japan), National Olympics Memorial Youth Center, 2017.8.7. [査読有]
 138. Takikawa, Hiroki, Yusuke Inagaki, and Shinya Obayashi, 2018, Online Randomized Experiment on Social Influences upon Behaviors in Web Forums, XIX ISA World Congress of Sociology (International Sociological Association), Toronto (Canada), Metro Toronto Convention Center, 2018.7.16. [査読有]
 139. Tanaka, Yasuhiro, Akihisa Kodate, and Timothy Bolt, 2018, Data Sharing System Based on Legal Risk Assessment, MISNC 2018 (Multidisciplinary International Social Networks Conference), St. Etienne (France), Jean Monnet University, 2018.7.17. [査読有]
 140. Thuy, Nghiem Thi, 2016, Survey Design and Descriptive Outcomes of Vietnamese Survey, 2016 Symposium of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Satellite Campus, 2016.6.25.
 141. Thuy, Nghiem Thi, 2018, Social Well-Being and Inclusive Growth in Viet Nam, 2018 The Fifth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Ikuta Campus, 2018.11.23.
 142. Tsai, Ming-Chang, 2018, Income and Subjective Well-Being in Japan: A Causal Mediation Analysis, 16th ISQOLS Annual Conference (International Society for Quality-of-Life Studies), Hong Kong (China), Hong Kong Polytechnic University, 2018.6.14. [査読有]
 143. Tsai, Ming-Chang, 2018, Is Japan a Fair and Equal Society? Findings and Interpretations from a Public Opinion Approach, 2018 The Fourth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Seoul (Korea), Seoul National University Asia Center, 2018.6.29.
 144. Tsai, Ming-Chang, 2018, Social Indicators Movement and Human Agency: Some Updates from Local and Global Approaches, XIX ISA World Congress of Sociology (International Sociological Association), Toronto (Canada), Metro Toronto Convention Center, 2018.7.16. [査読有]
 145. Tsai, Ming-Chang, 2018, Homogamy and Quality of Family Life: A Comparative Study of Asian Societies, 2019 The Fifth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan),

- Senshu University Ikuta Campus, 2018.11.24.
146. Tsai, Ming-Chang, 2018, When Economic Growth is Gone: The Pursuit of “Small Happiness” in Taiwan, シンポジウム「アジアにおける『豊かさ』の新しい形」 専修大学社会知性開発研究センター／ソーシャル・ウェルビーイング研究センター, 東京, 専修大学神田校舎, 2018.11.25.
 147. Tsedendamba, Batsugar, Bold Tsevegdorj, Byambasuren Yadmaa, and Dashzeveg Lkhagvanorov, 2018, Understanding Nature of Social Wellbeing in Light of the Modernization, 2018 The Fourth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Seoul (Korea), Seoul National University Asia Center, 2018.6.29.
 148. Tsedendamba, Batsugar, 2018, Addressing Poverty and Inequality: Social Well-Being Policies in Mongolia, シンポジウム「アジアにおける『豊かさ』の新しい形」 専修大学社会知性開発研究センター／ソーシャル・ウェルビーイング研究センター, 東京, 専修大学神田校舎, 2018.11.25.
 149. Tsevegdorj, Bold, Dolgion Aldar, and Byambasuren Yadmaa, 2018, Understanding Subjective Well-being of the Poor in Post-Communist Mongolia, 2018 The Third Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Magelang (Indonesia), Plataran Heritage Hotel & Convention Center, 2018.3.5.
 150. Tsevegdorj, Bold, Byambasuren Yadmaa, and Dashzeveg Lkhagvanorov, 2018, The Findings from Mongolia's Subjective Well Being Survey 2017: Mining Sector Trust Level in Mongolian Gobi Region, 2018 The Fifth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Ikuta Campus, 2018.11.23.
 151. Wang, Ying-Ting, 2018, Coresidence and Happiness of Single Adults in Taiwan, 2019 The Fifth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Ikuta Campus, 2018.11.24.
 152. Wirutomo, Paulus, 2016, Social Well-being: A Sociological Perspective, 2016 Symposium of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Satellite Campus, 2016.6.25.
 153. Wirutomo, Paulus, Daisy Indira Jasmine, and Riena J. Surayuda, 2017, Social Well-being and Indonesian Mental Revolution, 2017 The First Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Bangkok (Thailand), Chulalongkorn University, 2017.3.9.
 154. Wirutomo, Paulus, Iwan Gardono Sudjatmiko, Francisia S.S.E. Seda, Lugina Setyawati, Evelyn Suleman, Daisy Indira Yasmine, Yosef Hilarius Timu Pera, and Roy Ferdy Gunawan, 2018, 2017 SWB Survey in Indonesia, 2018 The Third Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Magelang (Indonesia), Plataran Heritage Hotel & Convention Center, 2018.3.4.

155. Wirutomo, Paulus, Evelyn Suleeman, Daisy Indira Yasmine, and Riena J. Surayuda, 2018, The Condition of Societal Well-Being: A Comparison between Indonesia and South Korea, 2018 The Fourth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Seoul (Korea), Seoul National University Asia Center, 2018.6.30.
156. Wirutomo, Paulus, 2018, Improving Social Well-Being through “Mental Revolution”, シンポジウム「アジアにおける『豊かさ』の新しい形」 専修大学社会知性開発研究センター／ソーシャル・ウェルビーイング研究センター, 東京, 専修大学神田校舎, 2018.11.25.
157. Wirutomo, Paulus, 2018, Searching for Societal Well-being in Jakarta City, Does city living makes us happy? International conference on the well-being and quality of life in the city, Seoul (Korea), The Seoul Institute, 2018.12.6. [招待講演]
158. Wun’gao, Surichai, Vithaya Kulsomboon, and Surangrut Jumnianpol, 2016, Social Well-being in Thailand and SWB in ASEAN Community, The First Camp Seminar of International Consortium for Social Well-being Studies, Yamanashi (Japan), Fuji-Yamanakako Seminar House of Senshu University, 2016.2.18.
159. Wun’gao, Surichai, 2016, Social Well-being Research and Policy in Thailand, 2016 Symposium of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Satellite Campus, 2016.6.25.
160. Wun’gao, Surichai, and Surangrut Jumnianpol, 2017, Social Determinant of Well-being: A Case Study of Thailand, 2017 The Second Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Hanoi (Vietnam), Vietnam Academy of Social Sciences, 2017.10.13.
161. Wun’gao, Surichai, 2018, Social Well-being and SDGs: Learning for Inclusive Policy-making in Southeast Asia, 2018 The Third Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Magelang (Indonesia), Plataran Heritage Hotel & Convention Center, 2018.3.4.
162. Wun’gao, Surichai, 2018, Social Well-Being and the Governance of SDG’s in Thailand, 16th ISQOLS Annual Conference (International Society for Quality-of-Life Studies), Hong Kong (China), Hong Kong Polytechnic University, 2018.6.14. [査読有]
163. Wun’gao, Surichai, 2018, Inequality, Social Well-Being and the SDGs in Thailand and the Region, 2018 The Fourth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Seoul (Korea), Seoul National University Asia Center, 2018.6.29.
164. Wun’gao, Surichai, 2018, The Thai Soccer Team Rescue and the Social Well-Being Lens, シンポジウム「アジアにおける『豊かさ』の新しい形」 専修大学社会知性開発研究センター／ソーシャル・ウェルビーイング研究センター, 東京, 専修大学神田校舎, 2018.11.25.
165. Yamamoto, Koji, 2017, Estimating Effect of Change in Policy Preference on Change in Voting Intention Over Time: Micro-foundation for Theories of Parties’ Move, EPSA 7th

- Annual Conference (European Political Science Association), Milan (Italy), Palazzo delle Stelline, 2017.6.23. [査読有]
166. Yamamoto, Koji, 2017, Search for Individual (and Collective) Evaluation on a Status of Society as an Outcome of Public Policy: Normative Criteria and Perceived Facts about Equality and Economic Growth, 2017 The Second Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Hanoi (Vietnam), Vietnam Academy of Social Sciences, 2017.10.12.
 167. Yamamoto, Koji, 2018, Search for Collective Preference on Statuses of Society: Aggregating Individual Evaluations Based on Equality and Economic Growth, 2018 The Third Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Magelang (Indonesia), Plataran Heritage Hotel & Convention Center, 2018.3.4.
 168. Yamamoto, Koji, 2018, Policy Preference Affected By Perceived Fact on Externality: Why Do People with Higher Socio-Economic Status Sometimes Prefer Stronger Income Equalization Policy?, XIX ISA World Congress of Sociology (International Sociological Association), Toronto (Canada), Metro Toronto Convention Center, 2018.7.18. [査読有]
 169. Yamamoto, Koji, 2018, Policy Preference and Perceived Fact on Externality: Why Do People with Higher Socio-economic Status Sometimes Prefer Stronger Income Equalization Policy?, 2018 ECPR General Conference, Hamburg (Germany). [査読有]
 170. Yamamoto, Koji, 2018, Concrete and Whole-Picture Type Indices to Measure Policy Preference over Income Redistribution Policy: A Report from Japanese Nationwide Survey Data, Seminar at the Center for Positive Political Economy, Waseda University. [招待講演]
 171. Yasmine, Daisy Indira, Riena J. Surayuda, Evelyn Suleeman, and Paulus Wirutomo, 2018, Structural Problems Faced by Local Community Organization in Improving Social Well-Being, 2018 The Fifth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Ikuta Campus, 2018.11.23.
 172. Yazaki, Keitaro, Masayuki Kanai, Hiroo Harada, Shunsuke Murakami, Takeko Inuma, Katsumi Shimane, Yuichi Marumo, and Jun Oyane, 2016, Reports on SWB Japan Survey, The First Camp Seminar of International Consortium for Social Well-being Studies, Yamanashi (Japan), Fuji-Yamanakako Seminar House of Senshu University, 2016.2.18.
 173. Yazaki, Keitaro, 2016, Basic descriptive statistics of Japan SWB survey and gender inequality, IPSA 24th World Congress of Political Science (International Political Science Association), Poznań (Poland), Poznań Congress Center, 2016.7.25. [査読有]
 174. Yazaki, Keitaro, 2017, Dilemma between Family and Civil Society: How Trust Promotes Well-being?, ICAS 10 (International Convention of Asia Scholars), Chiangmai (Thailand), Chiang Mai International Exhibition and Convention Center, 2017.7.20.
 175. Yazaki, Keitaro, 2017, Practical Issues in Data Processing of SWB Data, 2017 The Second Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Hanoi (Vietnam), Vietnam Academy of Social

- Sciences, 2017.10.12.
176. Yazaki, Keitaro, 2018, How Social Diversity Affects Individual Well-being?: Conflicting Effects of Social Curiosity and Community Activity, 2018 The Third Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Magelang (Indonesia), Plataran Heritage Hotel & Convention Center, 2018.3.4.
 177. Yazaki, Keitaro, 2018, How Social Diversity Affects Individual Well-being: Conflicting Effects of Social Curiosity and Community Activity, 16th ISQOLS Annual Conference (International Society for Quality-of-Life Studies), Hong Kong (China), Hong Kong Polytechnic University, 2018.6.14. [査読有]
 178. Yazaki, Keitaro, 2018, Sympathy or Tolerance? Comparison of the Effect of Generalized Trust on Well-being in Asian Countries, 2018 The Fourth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Seoul (Korea), Seoul National University Asia Center, 2018.6.30.
 179. Yazaki, Keitaro, 2018, Strangers and Social Inclusion: A System-Theoretic Interpretation of Results from Social Well-being Survey, 2019 The Fifth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Ikuta Campus, 2018.11.24.
 180. Yee, Jaeyeol, 2016, Report on SWB Korea Survey, The First Camp Seminar of International Consortium for Social Well-being Studies, Yamanashi (Japan), Fuji-Yamanakako Seminar House of Senshu University, 2016.2.18.
 181. Yee, Jaeyeol, Hyun-Chin Lim, Eun-Young Nam, Do-Kyun Kim, and Ee-Sun Kim, 2016, Survey Design and Descriptive Outcomes of Korean Survey, 2016 Symposium of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Satellite Campus, 2016.6.25.
 182. Yee, Jaeyeol, Hearan Koo, and Ee-Sun Kim, 2017, Comparative Study of Social Well-being in Japan, Korea, and Vietnam, 2017 The First Conference of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Bangkok (Thailand), Chulalongkorn University, 2017.3.9.
 183. Yee, Jaeyeol, 2017, Diagnosis of Korean Society and Prospect for Social Integration, 2017 Symposium for the Development of Civil Society and Social Integration, Seoul (Korea), 2017.3.31.
 184. Yee, Jaeyeol, 2017, Why Social Value became an Important Issue in Contemporary Society, 2017 Incheon Forum Plenary Session, Seoul (Korea), 2017.8.21.
 185. Yee, Jaeyeol, 2017, Why Social Wellbeing Matters: Searching for New Model among Society, Mind, and Health, 2017 Annual Meeting of Korean Sociological Association, Seoul (Korea), Seoul National University, 2017.10.26.
 186. Yee, Jaeyeol, 2017, Critical Transformation and Social Value, “Social Value: Institutionalization of Cooperation, Innovation, and Responsibility” Conference organized by Korea Sociological Association, Seoul (Korea), Seoul National University, 2017.11.9.
 187. Yee, Jaeyeol, In-Cheol Shin, Hearan Koo, and Sang-Hee Park, 2018, Dimensions of Social

- Well-being among Asian Countries: Personal, Relational, and Societal Aspects, 2018 The Third Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Magelang (Indonesia), Plataran Heritage Hotel & Convention Center, 2018.3.4.
188. Yee, Jaeyeol, 2018, Social Well-being, Development, and Multiple Modernities in Asia, 2018 The Fourth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Seoul (Korea), Seoul National University Asia Center, 2018.6.29.
189. Yee, Jaeyeol, 2018, Hyper-Networked Age and Social Innovation, N-Forum 2018, Seoul (Korea), Yonsei University, 2018.7.26. [招待講演]
190. Yee, Jaeyeol, 2018, The Importance of Social Value in the Age of Sustainability: Experience of Korea, Bangkok Forum 2018, Bangkok (Thailand), Chulalongkorn University, 2018.10.24. [招待講演]
191. Yee, Jaeyeol, 2018, System Failure and the Structure of Man-Made Disaster, Dasan Conference 2018, Seoul (Korea), Walker-Hill Hotel, 2018.11.21. [招待講演]
192. Yee, Jaeyeol, 2018, Beyond the Paradox of Affluence, シンポジウム「アジアにおける『豊かさ』の新しい形」 専修大学社会知性開発研究センター／ソーシャル・ウェルビーイング研究センター, 東京, 専修大学神田校舎, 2018.11.25.
193. Yeh, Hsiu-Jen, 2018, How Social Capital Counts in a Healthy Life: The Case of Taiwan, 2018 The Third Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Center for Social Well-Being Studies, Senshu University, Magelang (Indonesia), Plataran Heritage Hotel & Convention Center, 2018.3.4.
194. Yue, Yin, 2016, Conducting Large-Scale Survey Research in China: A Brief Introduction, as well as a pre-Report on the Preparation of SWB Survey in China, 2016 Symposium of International Consortium for Social Well-being Studies, Center for Social Well-being Studies, Senshu University, Kanagawa (Japan), Senshu University Satellite Campus, 2016.6.25.
195. 張 光雲, 2016, 日本職務犯罪防控, 刑法創新論壇第 9 回, 四川省 (中国), 四川省蜀鼎法律事務所, 2016.10.23. [査読有]
196. 張 光雲, 2017, 日本の実質解釈論と形式解釈論之争, 刑法創新論壇第 10 回, 四川省 (中国), 四川大学, 2017.5.25.
197. 張 光雲, 2017, 客観解釈論的淵源, 刑法創新論壇第 11 回, 四川省 (中国), 四川大学, 2017.7.6.
198. 飯沼 健子, 2016, ラオス民間部門開発における教育・研修の役割, 専修大学商学研究 所主催 公開シンポジウム, 東京, 専修大学神田校舎, 2016.12.17.
199. 稲垣 佑典, 2018, 「ライフスタイルと価値観に関する国際比較調査」を用いた幸福 感と幸福観の日韓比較, 数理社会学会第 65 回大会, 東京, 成蹊大学, 2018.3.14.
200. 稲垣 佑典, 2018, 国際比較調査データを用いた「幸福観」の日韓比較, 統計数理研究 所オープンハウス「データサイエンスが切り拓く、ひとと社会の未来」, 東京, 統計 数理研究所, 2018.6.15.
201. 大崎 裕子, 2017, 一般的信頼は主観ウェル・ビーイングをどのように高めるか—媒 介効果の検討—, 数理社会学会第 63 回大会, 大阪, 関西大学, 2017.3.14. [査読有]

202. 大崎 裕子, 2018, 一般的信頼の形成に関する規範的制度アプローチ：ミクロマクロ構造から見えるもの, 数理社会学会第 66 回大会, 福島, 会津大学, 2018.8.30. [学会賞受賞講演] [招待講演]
203. 大竹 文雄, 2018, 相対所得、相対意識と幸福度, シンポジウム「アジアにおける『豊かさ』の新しい形」 専修大学社会知性開発研究センター／ソーシャル・ウェルビーイング研究センター, 東京, 専修大学神田校舎, 2018.11.25.
204. 大橋 英夫, 2016, 国際価値連鎖と日中経済関係, 中国共産党中央党校主催「持続可能な中日国家成長戦略学術交流会」, 北京 (中国), 中国共産党中央党校, 2016.10.14.
205. 大矢根 淳, 2014, 原発防災体制の構造的欠陥を乗り越えようとする減災サイクル論は成り立つか? ～「UPZ・30km 圏の避難(認知行動→生活)」をめぐる～, 地域社会学会第 39 回大会, 東京, 早稲田大学, 2014.5.11.
206. 大矢根 淳, 2014, 災害からの復元力 (レジリエンス), 国際シンポジウム「ソーシャル・ウェルビーイングと経済発展」 専修大学社会知性開発研究センター／ソーシャル・ウェルビーイング研究センター, 東京, 専修大学神田校舎, 2014.12.6.
207. 大矢根 淳, 2015, 「復興－防災」連関に参画する災害社会学の研究実践：岩手県大槌町安渡町内会における津波防災計画づくりをめぐる, 日本社会学会第 2 回東日本大震災研究交流会, 東京, 明治学院大学, 2015.3.15.
208. 大矢根 淳, 2016, サステナブル(sustainable)な防災社会構築のための新基軸 ～コミュニティにおけるレジリエント(resilient)な取組事例をめぐる～, ベトナム社会科学院東北アジア研究所主催 日越国際シンポジウム, ハノイ (ベトナム), ベトナム社会科学院会議室, 2016.9.28. [査読有] [招待講演]
209. 大矢根 淳, 2017, 「復興」‘研究実践’についての地域社会学的問題構制, 専修大学社会学会研究会, 神奈川, 専修大学.
210. 大矢根 淳, 2018, 東京(東アジアの都市圏の一つとして)のゲートシティーその認識論的發展経緯と課題一, 第 3 回東アジア門戸都市政策フォーラム, 天津市 (中国), 天津社会科学院, 2018.9.6.
211. 小笠原 強・宮川 英一, 2015, 関東大震災と人災: 専修大学関東大震災史研究会の取り組みを中心に, 四川師範大学日本研究中心災後重建歴史社会学研討会, 四川省 (中国), 四川師範大学日本研究中心, 2015.10.29.
212. 金井 雅之, 2015, 領域別不公平感の規定メカニズム再考, 数理社会学会第 59 回大会, 福岡, 久留米大学, 2015.3.14. [査読有]
213. 金井 雅之, 2015, 主観的幸福度に対する橋渡し型・結束型社会関係資本の複合効果, 数理社会学会第 60 回大会, 大阪, 大阪経済大学, 2015.8.29. [査読有]
214. 金井 雅之, 2015, ソーシャル・キャピタルとソーシャル・ウェルビーイング, シンポジウム「『幸福』をつくる政策」 専修大学社会知性開発研究センター／ソーシャル・ウェルビーイング研究センター, 東京, 専修大学神田校舎, 2015.11.28.
215. 金井 雅之, 2018, フィールド調査と地域文化・国際文化：サーベイデータの文脈依存性, 第 46 回日本行動計量学会, 東京, 慶應義塾大学, 2018.9.4.
216. 神原 理, 2014, 川崎市における市民のコミュニティ意識とソーシャルキャピタル, 日本公益学会 2014 年度研究大会, 東京, 専修大学, 2014.10.5. [査読有]
217. 神原 理, 2014, 川崎市における市民のコミュニティ意識－web 調査と自主防災組織

- への調査から一、地域活性学会第6回研究大会，北海道，東京農業大学オホーツクキャンパス，2014.7.5. [査読有]
218. 神原 理，2014，川崎市における市民の地域意識とソーシャル・ウェルビーイング，国際シンポジウム「ソーシャル・ウェルビーイングと経済発展」 専修大学社会知性開発研究センター／ソーシャル・ウェルビーイング研究センター，東京，専修大学神田校舎，2014.12.6.
 219. 神原 理，2017，コミュニティ意識や信頼にもとづく幸福度分析，地域活性学会第9回研究大会，島根，島根県立大学，2017.9.2. [査読有]
 220. 幸野 保典・宮川 英一・中村 慎一郎，2017，営業税（名）課税標準申告書綴からみる川越地域経済の変容：1917年、1920年、1924年の営業税データの記述統計を中心に，経営史学会関東部会大会，東京，法政大学，2017.7.22.
 221. 小塩 隆士，2015，ソーシャル・キャピタルと幸福度，シンポジウム「『幸福』をつくる政策」 専修大学社会知性開発研究センター／ソーシャル・ウェルビーイング研究センター，東京，専修大学神田校舎，2015.11.28.
 222. 小林 盾・Dolgion Aldar，2018，現代アジアのウェル・ビーイング格差—8か国比較による規定メカニズム解明—，数理社会学会第66回大会，福島，会津大学，2018.8.31.
 223. 嶋根 克己，2016，近代化する葬儀：ベトナムと日本の比較から，ベトナム社会科学院東北アジア研究所主催 日越国際シンポジウム，ハノイ（ベトナム），ベトナム社会科学院会議室，2016.9.28. [査読有] [招待講演]
 224. 徐 一睿，2018，ユーラシア輸送インフラと日中協力の道，国際アジア共同体学会2018年春季大会，東京，専修大学神田校舎，2018.6.24.
 225. 徐 一睿，2018，インフラ投資と日中協力，一帯一路構想に基づく日中協力国際シンポジウム，瀋陽市（中国），遼寧大学日本研究センター，2018.9.8. [招待講演]
 226. 徐 一睿，2018，インフラ投資と日中協力，一帯一路都市と地域発展日中シンポジウム，瀋陽市（中国），遼寧外国語大学，2018.9.10. [招待講演]
 227. 徐 一睿，2018，10年後の中国産業と中国財政，現代中国学会全国大会，東京，早稲田大学，2018.10.21.
 228. 徐 一睿，2018，中国におけるインフラ整備の地域的進展 一帯一路政策がもたらす影響，中国経済経営学会，東京，大東文化大学，2018.11.25.
 229. 徐 一睿，2018，環境政策決定と環境改善，安徽生態与経済発展研究センターシンポジウム，合肥市（中国），安徽大学，2018.12.3. [招待講演]
 230. 徐 一睿，2018，東北地域からみる一帯一路，国際アジア共同体学会2018年年次大会，東京，明治大学，2018.12.16.
 231. 白石 小百合，2015，幸福度ををはかる，シンポジウム「『幸福』をつくる政策」 専修大学社会知性開発研究センター／ソーシャル・ウェルビーイング研究センター，東京，専修大学神田校舎，2015.11.28.
 232. 鈴木 奈穂美，2017，介護者の幸福度研究は介護者支援施策につながるのか，経済統計学会第61回全国研究大会，東京，法政大学，2017.9.12. [査読有]
 233. 鷺見 英司，2015，地方財政健全化法による地方自治体の効率化効果に関する実証分析，日本地方財政学会第23回大会，神奈川，関東学院大学，2015.5.16. [査読有]
 234. 鷺見 英司，2015，大地の芸術祭と人々プロペンシティスコアマッチング法による

- ソーシャルキャピタルへの効果検証一，日本文化経済学会 2015 年度秋の講演会，新潟，新潟市トキメッセ，2015.10.24. [招待講演]
235. 鷺見 英司，2015，首長選挙の財政運営への影響に関する実証分析，日本公共選択学会第 19 回全国大会，千葉，明海大学，2015.11.21. [査読有]
236. 鷺見 英司，2015，幸福度と地域要因，シンポジウム「『幸福』をつくる政策」 専修大学社会知性開発研究センター／ソーシャル・ウェルビーイング研究センター，東京，専修大学神田校舎，2015.11.28.
237. 鷺見 英司，2016，主観的幸福度と所得格差，社会政策学会ソーシャル・キャピタルワークショップ：「ソーシャル・キャピタル研究における異分野間の学際的知見の共有」，東京，日本大学（法学部 10 号館），2016.3.12.
238. 鷺見 英司，2017，地方自治体の将来負担と効率性に関する実証分析，日本地方財政学会第 25 回大会，東京，和光大学，2017.5.20. [査読有]
239. 田中 康裕・宮川 英一，2014，中国福建省福州市におけるソーシャル・キャピタルと僑郷，政治社会学会第 5 回研究大会，東京，専修大学神田校舎，2014.11.2.
240. 田中 康裕，2018，社会データ活用とプライバシー・個人情報保護における法的課題に関する検討，日本世論調査協会 2018 年度研究大会，東京，同志社大学東京サテライトキャンパス，2018.11.9.
241. 原田 博夫，2014，社会関係資本研究センターによる川崎市アンケート調査結果の説明，川崎市自主防災組織総会，神奈川，川崎市総合福祉会館（エポック中原），2014.8.27.
242. 原田 博夫，2014，セッション「アジアにおけるソーシャル・キャピタル／ウェルビーイング：社会意識（アンケート）調査を通じて」コーディネーター（問題提起），政治社会学会第 5 回研究大会，東京，専修大学神田校舎，2014.11.2.
243. 原田 博夫，2014，問題提起，国際シンポジウム「ソーシャル・ウェルビーイングと経済発展」 専修大学社会知性開発研究センター／ソーシャル・ウェルビーイング研究センター，東京，専修大学神田校舎，2014.12.6.
244. 原田 博夫，2015，ワークショップ「ニューツーリズムの可能性—災害対応教育の実践と継承—」コーディネーター，日本計画行政学会第 38 回大会，愛知，名古屋工業大学，2015.9.19.
245. 原田 博夫，2015，趣旨説明，シンポジウム「『幸福』をつくる政策」 専修大学社会知性開発研究センター／ソーシャル・ウェルビーイング研究センター，東京，専修大学神田校舎，2015.11.28.
246. 原田 博夫・田中 康裕，2016，アジアにおける幸福（生活満足）調査：相対富裕度、性別、年齢別の視点から，社会政策学会ソーシャル・キャピタルワークショップ：「ソーシャル・キャピタル研究における異分野間の学際的知見の共有」，東京，日本大学（法学部 10 号館），2016.3.12.
247. 原田 博夫，2016，ワークショップ「ニューツーリズムにおける地域貢献の可能性」コーディネーター，日本計画行政学会第 39 回大会，兵庫，関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス，2016.9.10.
248. 原田 博夫，2017，日韓の幸福感：アンケート調査「ライフスタイルと価値観」から，統計研究会財政班・アジア成長研究所共催 コンファレンス，福岡，北九州市，

2017.1.20.

249. 細田 満和子, 2018, ウェルビーイングの為のレッスン: ブータンにおける GNH を目指す教育哲学と実践を手がかりに, シンポジウム「アジアにおける『豊かさ』の新しい形」 専修大学社会知性開発研究センター/ソーシャル・ウェルビーイング研究センター, 東京, 専修大学神田校舎, 2018.11.25.
250. 松澤 明美・堀越 栄子・山口 麻衣・鈴木 奈穂美, 2017, 在宅介護者へのアウトリーチ型支援による家族介護者への効果, 日本公衆衛生学会第 76 回大会, 鹿児島, かごしま県民交流センター, 2017.11.1. [査読有]
251. 丸茂 雄一, 2014, パス図解析から窺えるもの, 政治社会学会第 5 回研究大会, 東京, 専修大学神田校舎, 2014.11.2.
252. 丸茂 雄一, 2014, パス図解析から窺えるもの, 国際シンポジウム「ソーシャル・ウェルビーイングと経済発展」 専修大学社会知性開発研究センター/ソーシャル・ウェルビーイング研究センター, 東京, 専修大学神田校舎, 2014.12.6.
253. 宮川 英一, 2016, 「四川大地震」に関する日本語文献: 制度展開と住宅再建に関する研究を中心に, 四川師範大学日本研究中心災後重建歴史社会学研討会, 四川省 (中国), 四川師範大学日本研究中心, 2016.11.3.
254. 宮川 英一, 2017, 災害からの「中長期復興」と周年事業: 関東大震災の事例を中心に, 四川師範大学日本研究中心災後重建歴史社会学研討会, 四川省 (中国), 四川師範大学日本研究中心, 2017.11.2.
255. 宮川 英一, 2018, 日本における「四川大地震」への関心と研究文献: 近三年の動向を中心に, 四川師範大学日本研究中心災後重建歴史社会学研討会, 四川省 (中国), 四川師範大学日本研究中心, 2018.11.8.
256. 宮下 量久・鷺見 英司, 2015, 地方交付税の合併算定替と合併自治体の効率性に関するパネル・データ分析, 日本財政学会第 72 回大会, 東京, 中央大学, 2015.10.17. [査読有]
257. 宮下 量久・鷺見 英司, 2016, 地方交付税の合併算定替と合併自治体の効率性に関するパネル・データ分析, 日本地方財政学会第 24 回大会, 静岡, 静岡大学, 2016.5.22. [査読有]
258. 宮下 量久・鷺見 英司, 2016, 自治体合併前の積立金に関する実証分析, 日本財政学会第 73 回大会, 京都, 京都産業大学, 2016.10.22. [査読有]
259. 宮下 量久・鷺見 英司, 2017, 財政調整基金の決定要因に関する実証分析, 日本計画行政学会第 40 回大会, 東京, 青山学院大学, 2017.9.9. [査読有]
260. 村上 俊介, 2014, インドシナ半島の人々の生活意識, 政治社会学会第 5 回研究大会, 東京, 専修大学神田校舎, 2014.11.2.
261. 村上 俊介, 2014, 東南アジア諸国における社会関係資本, 国際シンポジウム「ソーシャル・ウェルビーイングと経済発展」 専修大学社会知性開発研究センター/ソーシャル・ウェルビーイング研究センター, 東京, 専修大学神田校舎, 2014.12.6.
262. 村上 俊介, 2016, 日本におけるベトナム研究の視座の変遷, ベトナム社会科学院東北アジア研究所主催 日越国際シンポジウム, ハノイ (ベトナム), ベトナム社会科学院会議室, 2016.9.28. [査読有] [招待講演]
263. 矢崎 慶太郎, 2015, 日本調査の概要と主な知見, シンポジウム「『幸福』をつくる政

- 策」 専修大学社会知性開発研究センター／ソーシャル・ウェルビーイング研究センター, 東京, 専修大学神田校舎, 2015.11.28.
264. 矢崎 慶太郎, 2016, ジェンダーギャップと幸福度：労働時間と家事労働の比較から, 社会政策学会ソーシャル・キャピタルワークショップ：「ソーシャル・キャピタル研究における異分野間の学際的知見の共有」, 東京, 日本大学（法学部 10 号館）, 2016.3.12.
265. 矢崎 慶太郎, 2017, 社会的多様性が主観的幸福に結びつく条件：コミュニティか社会的関心か, 第 90 回日本社会学会大会, 東京, 東京大学, 2017.11.4. [査読有]
266. 山本 耕資, 2015, 平等化政策志向の計測——具体的な程度を尋ねる調査項目の開発, 数理社会学会第 59 回大会, 福岡, 久留米大学, 2015.3.14. [査読有]
267. 山本 耕資, 2015, 政策選好を形成する価値判断基準と事実認識——なぜ時に大学進学者はより強い平等化政策を望むのか, 数理社会学会第 60 回大会, 大阪, 大阪経済大学, 2015.8.29. [査読有]
268. 山本 耕資, 2016, 連続型所得分布での近似による政策選好の把握——所得変換関数と最低所得水準, 数理社会学会第 61 回大会, 東京, 上智大学, 2016.3.18. [査読有]
269. 山本 耕資, 2016, 所得平等化政策に関する選好の計測と分析, 日本応用数理学会第 51 回数理政治学研究部会, 東京, 政策研究大学院大学, 2016.12.9. [招待講演]
270. 山本 耕資, 2019, ウェブ調査の ISCO 職業大分類コーディング：専修大学 SWB 日本調査データでの作業報告, 数理社会学会, 立命館大学. [査読有]